

商法(第一編第十一章)保險

目次

總論

第一編 總則

第一章

保險契約ノ定義及特性

四丁

第一節

保險契約ノ定義

全丁

第二節

保險契約ノ特質

七丁

第二章

被保險利益

一九丁

第三章

保險證券

三五丁

第一節

保險證券ノ種類

三六丁

第二節

保險證券ニ記載スヘキ條件

四〇丁

第三節

保險證券ノ解釋

四二丁

第四章

保險契約ノ取結及履行

四五丁

第五章

當事者並ニ代理人

四九丁

商法(保險)目次

一



第一節	當事者	四九丁
第二節	代理人	五〇丁
第六章	危險	五八丁
第七章	擔保陳示及ヒ默秘	六八丁
第一節	擔保	全丁
第二節	陳示	七〇丁
第三節	默秘	七三丁
第八章	保險ノ移轉	七九丁
第九章	重複保險、不足保險及超過保險	八四丁
第一節	重複保險	全丁
第二節	不足保險	八七丁
第三節	超過保險	九〇丁
第十章	保險料	全丁
第十一章	損失及賠償	一〇四丁

二

第十二章 保險營業

第二編 各論

第一章	海上保險	一〇九丁
第一節	保險契約ノ取結	一一四丁
第一款	海上保險ノ目的物	全丁
第二款	海上危險並ニ期間	全丁
第三款	擔保	一二六丁
第一項	明意ノ擔保	一三三丁
第二項	暗黙ノ擔保	全丁
第二節	保險者及ヒ被保險者ノ權利義務	一三四丁
第一款	保險者ノ負擔スヘキ損失	一四三丁
第二款	保險者ノ負擔セサル損失	全丁
第三款	保險料ノ増減	一四七丁
第三節	委棄	一五二丁
		一五四丁

商法(第一編第十一章)保險目次終

第一款 委棄ヲ爲シ得ヘキ場合	一五五丁
第二款 委棄ノ申込承諾及其期間	一六三丁
第三款 委棄ノ効果	一六四丁
第二章 火災及ヒ震災ノ保險	一六九丁
第一節 契約	全 丁
第二節 危險	一七一丁
第三節 損害並ニ賠償	一七三丁
第三章 土地ノ產物ノ保險	一七六丁
第四章 運送保險	一八〇丁
第五章 生命保險	一八三丁
第一節 生命保險ノ性質並ニ取結	全 丁

商法(第一篇第十一章)保險

法學士 馬場愿 治講義  
 卒業生 恩田熊壽郎編輯

總論

總論

保險法ハ我國ニ於テハ實ニ新規ノ法律ニシテ且ツ保險法ヲ學フモノモ甚々少ナキカ故ニ余ハ本論ニ入ルニ先テ保險法ノ概念ト其沿革トヲ略述セント欲ス抑モ保險ノ目的トスル所ハ不慮ノ事變若シクハ不測ノ事故ニ依ツテ生スル所ノ損失ヲ賠償スルニアリ從テ保險ノ目的物トナルモノハ極メテ廣クシテ何等ノ財產ニテモ亦何等ノ事業ニテモ何等ノ能力ニテモ苟モ金錢上ノ價ヲ有スルモノハ悉ク之レヲ保險ニ付スルコトヲ得可シ故チ以テ保險ノ種類ハ極メテ多ク單ニ我新商法ニ於テ名目ヲ掲ケ居ルモノ、ミニ止マラス豈ニ只ニ法理上其種類多キノミナラス現今歐米諸國ニ於テ實際行ハル、所ノ保險ヲ見ルモ我商法カ特ニ名目ヲ掲ケ居レル保險ハ論ヲ俟マス或ハ負債主ノ能力ニ關シ或ハ僕婢ノ忠直ニ關シ

商法(保險)

或ハ雇主ノ資力ニ關シテ保險契約ヲ取結フコトハ極メテ通例ノ事ナリ然リト雖モ或ル泰西ノ學者ハ尙且ツ保險ノ行ハル、區域甚ク狹隘ナリトシ今一層其區域ヲ擴張シ保險ヲ利用スルトキハ必ラス莫大ナル利益ヲ見ルヘシト云ヘリ我邦保險法ハ素トロエスレル氏ノ立案ニ基クト雖モ其實歐米諸國ノ法律ヲ移植シタルニ過キス然リ而シテ歐米諸國ニ於ケル保險ノ原則ハ決シテ立法者ノ考案ヨリ湧出シタルモノニアラス全ク商業ノ必要上自然ニ發達シタルモノニシテ確乎タル正義ノ基礎ニ基キ純白ナル公益ノ柱石ニ依リ一日モ文明社會ニ欠ク可カラサルモノナリ

保險法ノ沿革ヲ考フルニ其濫觴ハ決シテ古キモノニアラス太古商業盛ニ行ハレ海上權ヲ專ハラニセル國ニ乏シカラサリシ時期ニ際シテモ未タ保險法ナル有益ノ機關ヲ利用シテ商業ヲ保護シタルモノナシ元來保險法ナクシハ商業ハ十分ノ發達ヲ見ルコト能ハス然ルニ保險法ノ保護ナクシテ盛ンニ商業行ハレ逞マシク海上權ヲ利用スルコトハ今日ヨリ考フレハ實ニ奇々怪々ナルコト、云ハサル可カラス降テ中世ノ終リニ至ツテハ學術技藝ノ復古商業再興ノ時代アリシカ其當

時ニ於テモ保險法ハ未タ其萌芽ヲモ發セザリシ現ニ此時代ニ於ケル有名ナル「オレゴン」ノ法律及「インシヤテツク、アツツシエーション」ノ法律ヲ見ルニ一モ保險ニ關スル規定アルナシ果シテ然ラハ保險法ハ古代ニ起リタルモノニアラサルコトヲ明言スルモ大過ナカル可シト信ス降テ十五世紀ニ至リ漸ク保險ノコトヲ規定セル法典ヲ見ルニ至レリ即チ千四百三十五年ノ「バルスロース」ノ法令是レナリ歐洲ニ於テ通常人ノ唱道スル所ニ因レハ保險法ノ濫觴ハ第十四世紀ノ終リニ當リハルナツク海ノ一小島ニ於テ編成シタル「ウエスビー」ノ法律ナリト云ヒ居レリ然ルトモ此起源ニ付テハ異說紛々トシテ未タ其眞否ヲ知ルコト能ハス又佛蘭西ノ或ル學者ノ云フ所ニ因レハ中古宗教法ハ冒險貸借ヲ以テ高利ノ貸借ナリト見做シ之レヲ禁止セリ然ルニ千二百二十七年頃ヨリ千二百三十四年頃ノ間ニ於テ此禁制ヲ免カル、爲メ保險契約ヲ發明シタリト云ヒ居レリ

保險ニ關シテ今日ニ傳ハレル書籍中最モ古キモノハ「ルトギボン」ト稱スル佛蘭西法律書ナリ此著書ニ依リ見ルトキハ保險法ハ第十六世紀ニ在リテ已ニ立派ナル一科ノ學術トナリシコトハ明白ナル事實ナリ何トナレハ此著書ニ於テハ數多ノ

總則  
保險契約  
ノ定義及  
ヒ特質  
ノ定義

原則及ヒ數多ノ判決例ヲ載セタルノミナラス整然タル秩序ヲ具ヘ居レハナリ然  
レトモ是レ單ニ海上保險ニ付テ論斷ヲ下シタルノミナレハ其他ノ保險ニ至リテ  
ハ極メテ近世ノ創設ニ係ルモノニシテ且ツ其十分ノ發達ヲ見ルニ至リタルハ實  
ニ當世紀ニアリ歐米諸國ノ法律ヲ見ルモ概ネ海上保險ノコトノミナ規定シ他ノ  
保險ハ成文ヲ以テ規定セルモノ極メテ少ナシ蓋シ先ツ海上保險發達シ其他ノ保  
險ハ海上保險ニ倣フテ各個人カ取結フニ至リタルカ爲メナル可シ佛蘭西獨逸ノ  
法典及ヒ佛蘭西法典ニ倣フテ制定シタル各國ノ法典ハ皆單ニ海上保險ノコトノ  
ミナ規定セリ英國ニ於テモ海上保險ノ原則ヲ取捨折衷シテ其他ノ保險ニ適用セ  
リ唯僅カニ和蘭ト白耳義ノ新商法ノミ海上保險ト同シシ其他ノ保險ニ付テモ稍  
十分ナル規則ヲ設ケ居レリ蓋シ我商法ハ此點ニ付テハ和蘭白耳義等ノ法律ニ倣  
ヒタルモノナラン

第一篇 總則

第一章 保險契約ノ定義及ヒ特質

第一節 保險契約ノ定義

我商法ハ其第六百二十五條ヲ以テ一般保險契約ノ定義ヲ下セリ曰ク保險契約ハ  
保險者カ保險料ヲ受ケテ或ル物ニ關シ或ル時間ニ於テ不測又ハ不確定ノ事故ニ  
因リテ生スルコト有ル可キ喪失又ハ損害ニ付キ被保險者ニ賠償ヲ爲ス義務ヲ負  
フ契約タリト此定義ハ行文甚タ迂回ニシテ解シ易カラサレトモ今此定義ノ精神  
ヲ取リテ簡單ニ説明セハ保險契約ナルモノハ保險者カ保險料ヲ受ケ或ル不確定  
ノ事故ニ因テ被保險者ノ利益上ニ生スル所ノ損失ヲ賠償ス可キコトヲ約束スル  
契約ナリト云フテ可ナリ故ニ余ハ先ツ此定義ニ基キ保險契約ノ要素ヲ畧述セン  
ト欲ス

(第一) 結約者 凡ツ契約ニハ二人以上ノ對手人ナカラサル可カラサルハ論ヲ俟タ  
サル所ナレハ保險契約ニ於テモ亦二個ノ對手ヲ要スルヤ明ラカナリ即チ保險  
契約ニ於テ賠償ヲ約諾スルモノヲ保險者ト云ヒ其約諾ヲ受クルモノヲ被保險  
者ト云フ

(第二) 被保險利益 保險契約ニハ必ラス被保險利益ト稱スルモノ存在セサル可カ  
ラス元來保險ナルモノハ或ハ有体物ニ關係スルコトアリ或ハ無体物ニ關係ス

ルコトアリ家屋ヲ保險ニ付スルカ如キハ有体物ニ關スルモノニシテ將來得ヘキ船賃ヲ保險ニ付スルカ如キハ無体物ニ關スルモノナリ然リト雖モ有体物ナルト無体物ナルトヲ問ハス保險ノ真正ナル目的物ハ一ニ無形ノ利益ヲ指スモノナリ故ヲ以テ少シモ利益ヲ有セサルモノニ付テハ決シテ保險契約ヲ取結フコトヲ得ス

(第三)不確定ノ事故ニ因テ利益上ニ損失ヲ來スノ恐レアルコト 抑モ保險ナルモノハ不慮ノ事故ニ因テ生スル損害ヲ償フヲ以テ其目的トスルモノナリ從テ一定ノ時日ニ於テ必然生ス可キ事故又ハ必然生ス可カラサル事故ニ付テハ保險契約ヲ取結フコトヲ得ス不確定ノ事故トハ論理上又ハ經驗上何時起ル可キモノナルヤ否ヤ不明ナルカ將ヲ又其起ル可キコトハ必然定マリ居ルモ何時起ル可キヤ明ラカニ豫知スルコトヲ得サル事故ヲ云フ今法文ヲ見ルトキハ事故ヲ不測ト不確定トノ二様ニ區別セリ蓋シ不測トハ其事故ノ起ルヤ否ヤ必シ難キモノヲ云ヒ不確定トハ事故カ早晚發生スルニ相違ナキモ其發生ハ果シテ何レノ日ニ在ルヤ豫シメ期シ難キモノヲ云フ例ヘハ人ノ死亡ノ如キ是レナリ

保險契約ノ特質

(第四)保險料並ニ損失ヲ賠償スルコト 保險料トハ被保險者カ保險者ニ拂フ所ノ報償ヲ云ヒ損失賠償トハ保險者カ保險料ニ對シテ盡ス可キ所ノ報償ヲ云フ此事ニ關シテハ尙他日詳論スル所アルニ依リ茲ニ之レヲ省畧ス可シ

第二節 保險契約ノ特質

保險契約ハ普通ノ契約ニ比較スレハ左ノ特質ヲ具有スルモノトス

(第一)補償

抑モ保險法カ始メテ社會ニ現出シタルハ何カ爲メナルヤト云フニ實ニ補償ノ目的ヲ達センカ爲メナリ而シテ社會カ保險ヲ以テ必要欠ク可カラサルモノトスルモ必竟其ノ目的ノ補償ニアルカ故ナリ補償トハ被保險者カ受ケタル現實ノ損失ヲ賠償スルトノ意味ナリ思フニ補償ノ性質ハ獨リ保險契約ノ特質ナルノミナラス實ニ保險法ノ精神ナリ保險法ノ目的ナリ又タ保險法ノ効用モ此補償ノ二字ニ歸着ス果シテ然ラハ保險ノ特質精神ノ目的効用ハ寧テ補償ノ二字ニ歸着スルモノニシテ之レヲ離レテハ最早保險ナシト斷言シテ可ナリ若シ夫レ補償ノ目的ヲ離レテ保險ノ機關ヲ運用スルモノアラハ保險法ノ精神ヲ蹂躪スルモノナ

リト云ハサル可ガラス世ニ賭博保險ト稱スルモノアリト雖モ保險法カ之レヲ目  
 スルコト恰モ蛇蝎ノ如シ決シテ之レニ契約ノ効力ヲ付與セサルナリ然ラハ通常  
 ノ保險ト賭博保險トノ區別ハ何レニアルカト云フニ補償ノ性質ヲ備ヘ居ルヤ否  
 ヤノ一點ニ歸着ス補償ノ性質アルモノハ通常保險ニシテ顯然タル契約上ノ効力  
 ナ有スト雖モ補償ノ性質ナキモノハ賭博保險ニ屬シ契約上ノ効力ヲ有セス今此  
 區別ヲ明ラカナラシメノ爲メ一例ヲ舉示セシ余カ他人ノ家屋ヲ保險ニ付スル  
 トキハ賭博保險ナリ何トナレハ余ハ他人ノ家屋ニ付テ毫末モ利害ノ關係ヲ有セ  
 ス或ハ其家屋燒失スルモ或ハ風ノ爲メニ毀壞セラル、モ余ニ於テ全ク痛痒相關  
 セス從テ補償ノ性質ナキヲ以テナリ又タ余カ少シモ利害ノ關係ヲ有セサル競馬  
 ノ勝敗ニ付キ保險契約ヲ取結フトキハ其契約ハ賭博保險ナルコト素ヨリ論ヲ俟  
 タス何トナレハ其競馬ノ勝敗ハ余ニ於テ少シモ痛痒ヲ感セス從テ補償ノ性質ナ  
 ケレハナリ然リト雖モ若シ自己ノ馬ノ勝敗ニ付テ保險契約ヲ取結ヒタルトキハ  
 如何此場合ニ於テハ不幸ニシテ余ノ馬カ敗テ取レハ爲メニ其ノ市價ヲ減シ又幸  
 ニシテ勝テ制スルトキハ爲メニ其市價ヲ増スコトアルヤモ知ル可ラス故ニ其勝

敗ハ多少余ノ利害ニ關係アリト云フコトヲ得可キカ如シ然レトモ保險法ハ如此  
 モノヲ以テ矢張賭博保險ト見做シ保險タルノ効力ヲ付與セサルナリ其理由タル  
 ヤ競馬ノ勝敗ハ外形上余ノ利害ニ影響ヲ及ホスカ如キ觀アルモ實際ニ於テハ少  
 シモ余ノ利害ニ影響スルモノニアラス何トナレハ競馬ノ勝敗ハ一ニ其馬ノ能ク  
 走ルト否ラサルトニ原因スルモノニシテ其馬ノ價モ亦能ク走ルト否ラサルトニ  
 因リ高低アルモノナリ故ニ今若シ余ノ馬ニシテ敗テ取ルトキハ馬カ能ク走ラサ  
 ルニ因ルモノニテ之レカ爲メ市價ヲ減スルコトアルモ減價ニ非ラス反テ其價格  
 コソ真正ノ實價ナリ又余ノ馬ニシテ勝テ制スルトキハ馬カ其レ丈ノ走力ヲ有シ  
 タルモノニテ爲メニ市價ヲ増スモ單ニ實價ニ回復シタルニ外ナラス從ツテ賭博  
 保險タルヤ明白ナル可シ此補償ノ特質タルヤ保險契約上尤モ必要ナル性質ニシ  
 テ歐米諸國ノ法律カ均シク認ムル所ナリ唯獨リ英國ニ於テハ海上保險ニ付キ一  
 ノ例外ヲ認メタリ即チ英國人ノ財産ニアラスシテ外國人ノ財産ナルトキハ賭博  
 保險ノ契約ヲ取結フコトヲ得ルコト是レナリ然レトモ我商法ハ前ニ述ヘタル補  
 償ノ特質ヲ以テ保險法上唯一ノ主義トナセルコトハ第六百二十五條ニ於ケル保

險ノ定義ニ徴シテ明瞭ナリ茲ニ一ノ注意ス可キコトハ補償ノ精神ヲ適用スル程度ニ至リテハ各國同一ナラサルノミナラス又其保險ノ種類ニ因リテ程度ヲ異ニスルコト是レナリ尙詳細ハ後ニ述フル所アル可シ

(第二) 條件ノ附帶

凡ソ契約ニハ條件ヲ附帶スルモノト附帶セサルモノトノ二種類アリ保險契約ハ條件附帶ノモノナリ此理由ヲ説明セントセハ保險契約ハ如何ニシテ成立スルヤヲ述フルトキハ直チニ明白ナリ即チ保險契約ナルモノハ保險者カ損失ノ賠償ヲ爲サントノ約束ヲ爲シ被保險者ハ之レニ對シテ保險料ヲ支拂ハントノ約束ヲ爲シ此二個ノ約束カ相互ニ他ノ約束ノ報償トナリテ茲ニ始メテ一ノ保險契約ヲ成立ス而シテ此双方ノ約束ナルモノハ共ニ條件附帶ノ性質ヲ有ス詳言スレハ保險者カ損失ノ補償ヲ爲スノ約束即チ保險金額仕拂ノ義務ハ被保險物上ニ損害ヲ發生スルヲ以テ條件トス故ニ被保險物上ニ損害生セサレハ保險金額仕拂ノ義務生セス之レト同シク被保險者カ保險料ヲ仕拂フノ義務ハ被保險物カ危險ヲ冒カスコトノ條件ヲ負ヘルモノナリ從テ被保險物カ實際危險ヲ冒サレハ被保險者ハ

保險料仕拂ノ義務ナシ例ヘハ海上保險ノ場合ニ於テ東京ヨリ長崎迄ノ航海ヲ保險ニ付シタリトセハ其船舶カ現ニ東京ヲ出帆スルコアラサレハ未ダ危險ヲ冒シタルモノト云フヲ得ス從テ全ク航海ヲ中止スルカ如キ場合ニハ保險料支拂ノ義務ナシトス尤モ此點ニ付テハ學者間ニ於テ大ニ異論ノ存スル所ニシテ甲論乙駁其歸宿スル所ヲ知ラス蓋シ一度保險契約ヲ取結フトキハ嚴然茲ニ一保險契約ヲ成立ス可シ然ルニ航海ヲ中止スルトキハ保險料仕拂ノ義務ナシトセハ被保險者一己ノ隨意ニ因リ自由ニ保險契約ヲ存廢セシムルノ結果ヲ生スルニ因リ疑團ヲ湧出セシムルモノナリ英國法律ニ於テハ被保險者カ航海ヲ中止セハ保險契約ヲ取消スノ結果ヲ來スモノトセリ是レ英國習慣ノ多年認識シタル處ニシテ又如此セサレハ到底十分ニ商業ヲ保護スルコト能ハサルナリ然レトモ反之伊太利ノ學者ノ唱道スル所ニ因レハ保險契約ト雖モ決シテ通常契約ノ原則ニ反ス可キモノニアラス彼ノ買賣契約ハ決シテ買主一方ノ隨意ニ之レヲ取消シ又ハ代價ノ取戻等ヲ爲スコトヲ許サ、ルナリ然ルニ何故ニ保險者ハ自カラ少シモ關係ナシ又少シモ責任ヲ有セサル被保險者一己ノ所爲ノ爲メニ契約上ノ權利ヲ失ハサル可カ



ヲサレカ其理由ヲ發見スルコト能ハスト論シ居レリ我商法ハ如何ニ此點ヲ規定シタルヤト云フニ其第六百五十五條ノ前段ヲ見レハ「契約ハ保險シタル危險カ被保險者ニ對シテ生ス可キニ至ラサルトキハ被保險者ヲ羈束セス云々」トアリ故ニ此規定ニ因ルトキハ保險契約ハ條件附帶シ契約ニシテ保險料仕拂ノ義務ハ冒險ノ事實發生スルニアラサレハ生ス可キモノニアラサルコト明ラカナリ即チ英法ト其軌ヲ一ニセリ

(第三) 最上ノ誠意

凡ソ契約ハ如何ナル種類ニ屬スルモノト雖モ誠意ヲ必要トセサルモノ無ク惡意若クハ詐欺ヲ以テ取結ヒタル契約ハ取消シ得可キコトハ契約法上ノ原則ナリ然レトモ契約中最モ誠意ヲ要スルモノハ保險契約ニ若クモノナシ契約法學者カ保險契約及ヒ保證契約ヲ特種ノ契約トシテ論スル所以モ亦此點ニアリ然ラハ何故ニ法律ハ保險契約ヲ以テ最上ノ誠意ヲ必要トシタルヤト云フニ蓋シ其契約ノ性質ヨリ來リタルモノナリ抑モ保險契約ナルモノハ他ノ通常契約ト大ニ異ナリテ契約ニ關係アル重要ナル事柄若シハ情況ハ多クハ獨リ被保險者ノミ之レヲ知

リ保險者ハ之レヲ知ルノ方法ヲ有セス故ヲ以テ保險者カ之レヲ知ラント欲セハ一ニ被保險者ノ陳述ニ依準セサル可カラズ從テ若シ被保險者ノ陳述ニ虛妄ノ事柄アルトキハ保險契約ハ之レカ爲メニ無効ト爲スコトヲ得ルモノナリ然レトモ茲ニ一ノ注意ス可キハ誠意ヲ必要トスルノ程度ハ何レノ保險契約ニ於テモ同一ナリト云フコト能ハス保險契約ノ種類ニ從ツテ其程度ヲ異ニス而シテ保險中尤モ誠意ヲ必要トスルモノハ海上及ヒ生命保險ナリ其他ノ保險ハ之レニ比シテ稍々其必要ノ程度ヲ輕フス其差異ハ一ニ各保險ノ性質ヨリ起ルモノナリ我商法第六百五十三條ヲ見ルニ「保險者ハ被保險者カ契約取結ノ際重要ナル情況ニ付キ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其情況ヲ默スルトキハ惡意アリタルト否トヲ問ハス契約ヲ解ク權利アリ」ト規定セリ之レ明ラカニ誠意ヲ必要トスルコトヲ認メタル條項ナリ即チ虛偽又ハ重要ナル情況ヲ十分陳述セサルコトハ少シモ過失ノ咎ム可キモノナキ場合ト雖モ尙保險契約ヲ解除スルノ原因ト爲ル可キコトヲ掲ケタルモノニシテ之レニ依ルモ保險契約ニハ最上ノ誠意ヲ要スルコト明白ナリ

(第四) 射倖

凡契約ニ二種アリ曰ク射倅契約曰ク交換契約是ナリ蓋射倅契約ナル名稱ハ佛國法ヨリ生シタルモノニシテ我新法モ亦之ヲ襲用セリ所謂交換契約トハ結約者ノ一方ガ爲シ或ハ與ヘタル事物ハ他ノ一方ガ其代リニ爲シ若シハ與フル事物ト法律上全ク同一ノ價值ヲ有スルモノト見做スモノナリ今余カ本校ノ建物ヲ五千圓ニテ購求スト假定セハ買主ナル余ハ五千圓ヲ支拂ヒ賣主ハ建物ヲ讓渡サ、ルヘカラス而シテ如此契約ハ交換契約ナルヲ以テ其五千圓ナル金額ト家屋トハ同一ノ價值アルモノト見做スヘキナリ然レトモ之レ單ニ法律上ノ事ニシテ事實上同一ノ價值ヲ有スト謂フニアラス或ハ本校建物ノ實價ハ五千圓ニ止ラスシテ一万圓ヲ超過スルヤモ斗リ難シト雖モ現ニ五千圓ヲ以テ賣買スルニ於テハ契約者間ニ在テハ法律上ヨリ之ヲ見レハ同一ノ價值アルモノト認メサル可ラサルナリ斯ノ如キ契約ハ吾人ノ往々目撃スル所ニシテ彼ノ骨董店ニ於テ零墨破毀ノ古物ヲ求ムルモノヲ見ルニ吾人ノ一圓ニテモ尙ホ且ツ希望セサル物品ヲ十圓又ハ五十圓ノ多額ヲ以テ購求スルモノアリ是買主ノ奇僻心又ハ歷史上ノ關係ヨリシテ買主ニハ特ニ如此價值アルニ因ラスンハアラス即知ル交換契約ニ於テ双方ノ爲ス所

同一ノ價值アリト云フハ實際ノ價格ヲ論スルニアラスシテ法律上契約者ノ意思ヲ推測スルニアルコトヲ之レニ反シテ射倅契約ハ實際上ハ論ヲ俟タズ法律上ニ於テモ亦タ同一價格ノ事物ヲ交換スルモノト認メサルモノタリ只其契約ニ依リ僥倖ヲ得タルトキハ多少ノ利得ヲ享ケ又不幸ヲ招クトキハ多少ノ利益ヲ損スヘキ契約ヲ云フ而シテ保險契約ハ實ニ其一種ナリトス例ヘハ爰ニ一萬圓ノ家屋ヲ所有スル者アリ毎年二百圓ツ、ノ保險料ヲ支拂ヒ火災保險ニ付シタリト假定セハ若シ其家屋ニシテ保險契約ノ成立スルヤ否ヤ不幸ニモ祝融ノ爲ニ一朝灰燼ニ化スルトキハ被保險者ハ二百圓ヲ出シテ一万圓ノ多額ヲ得ヘキナリ而シテ二百圓ト一万圓トハ實際ニ於テ同一ナラサルノミナラス法律ニ於テモ亦同一ノ價格ヲ有スルモノト認メサルモノナリ即チ保險者ハ二百圓ヲ得テ保險金額一万圓ヲ支拂フヘキ道理ナレハ差引九千八百圓ノ損毛ヲ來スヘシ然レトモ其火災ニシテ幸ニ保險期間後ニ起生セルトキハ被保險者ハ却テ保險料ヲ損スルノ結果ヲ見ルヘキナリ又タ彼ノ海上保險ノ如キハ簡單ニシテ能ク射倅契約ノ何物タルヲ了解スルニ最モ便利ナルモノナラン例ヘハ東京灣ヨリ倫敦マテノ航海ヲ保險ニ付シ

其目的物ノ價格ヲ拾萬圓トシ而シテ其保險料ヲ二千圓ト爲シタルニ船舶不幸ニシテ倫敦ニ到着スル前ニ沈没シテ全損ヲ來シタリトセハ被保險者ハ二千圓ヲ出シテ十萬圓ヲ得ルモノナリ之ニ反シテ安全ニ着港スルトキハ全ク二千圓ヲ失フテ毫モ得ル所ナカルヘシ然リト雖モ世上ノ保險者並ニ被保險者タルモノ其數幾十萬人ナルヤ知ル可ラス而シテ之レカ双方ヲ各々一括シテ單獨ナル一個ノ保險契約ヲ取結ヒタリト見做トキハ此契約ハ射伴ノ性質ヲ一變シテ交換契約トナルヘキナリ蓋一定ノ期限内世上ニ發生スル火災ノ數ヲ平均スレハ何程ナルカ或ハ人ノ死亡員數ハ如何或ハ船舶ノ沈没數ハ如何ト其平均數ヲ審査シ之ニ依準シテ保險料ヲ定ムルモノナレハ一箇々々ノ契約上ヨリ之ヲ見レハ損益不同ノ射伴契約ニ相違ナシト雖モ之ヲ總括スルトキハ其損益相當スル所ノ一大交換契約ト變相スヘシ之ヲ要スルニ保險ハ僥倖者ヨリ多少ノ金圓ヲ提出シテ不幸者ヲ救助スルノ結果ヲ來スモノナレハ統計上無數ノ保險ヲ一括セハ相互ノ損益同一ニ歸着スト謂ツヘシ學士モルガン氏曰ク保險ナルモノハ其實行上ヨリ見レハ各箇ノ財產ヲ舉ケテ社會ノ共同物ト爲スヘキコトヲ約シタルモノナリト一言蔽之ノ語ト

謂フ可シ

(第五) 被保險物ト共ニ移轉スルコト

普通吾人ハ稱シテ船舶ノ保險或ハ家屋ノ保險ト唱フルト雖モ保險契約ハ決シテ船舶家屋等ノ被保險物ニ重キヲ置クニアラス被保物一朝危險ニ遭遇シ被保險者爲メニ損失ヲ蒙ムルトキハ保險者ハ之レヲ賠償スルノ約意ナレハ人ニ重キヲ置クモノナリ故ニ學理上ヨリ論下セハタトヒ余所有ノ物件ニシテ既ニ保險セルモノヲ他人ニ讓渡スモ其物件ニ對シテ結約セシ保險契約ハ當然之レト共ニ讓受人ニ移轉スルモノニアラス從テ損害賠償ヲ受クルノ權利ハ讓受人ニ移轉セス而シテ讓渡人モ亦被保險物上ニ利害ノ關係ヲ斷ツヲ以テ最早此權利ヲ失フモノトス然ラハ買主ニ於テ保險金額請求ノ權利ヲ得ント欲セハ保險契約モ共ニ讓受ケサル可カラス是レ保險契約ノ物約ニアラスシテ人約タルヨリ生スル自然ノ結果ナリトス英國法規ヲ案スルニ單ニ物件ヲ賣買シテ當事者間ニ何等ノ特約ナキ以上ハ保險契約ハ物件ト共ニ移轉セス當事者間ニ移轉ノ意思アリテ保險證書ヲ引渡ストキハ初メテ移轉ノ効アリトス能ク法理ニ適合スルノ規則ト謂フ可シ然ルニ

我新法典ノ第六百四十條ニ曰ク保險ハ被保險物ノ讓渡其他被保險利益ノ轉付ニヨリテ當然取得者ニ移ル但讓渡人カ利益ヲ留置キタル場合又ハ第六百五十四條ノ場合又ハ保險者カ轉付ニ付キ承諾ヲ與フル權利ヲ明示シテ留保シタル場合ハ此限ニアラスト是レニ由リテ之ヲ觀レハ我法律ニ於テハ保險契約ハ移轉セストノ反證又ハ移轉スヘカラサルノ理由ノ存在スルニ非レハ被保險物ノ讓渡ト共ニ移轉スル者ナリ是恐クハ學理ニ抵觸スルモノニアラサルナキヲ得ンヤ然レトモ本條ノ規定ニモ亦タ多少ノ理由ナキニアラス何ソヤ曰ク立法者ハ被保險物ヲ他人ニ移轉スルト共ニ保險契約ヲモ移轉スルハ人民一般ノ意思ナリト推測シタルニ基クモノナリ然レトモ我國人民一般ノ意思ハ通常果シテ斯ノ如キモノナルヤ是最モ立法者ノ注目スヘキ點ナリトス我國ノ如ク末々保險ノ方法利益ヲ知ラスシテ保險ヲ爲スノ慣習ナキ人民ニ向テ汝ノ意思ハ物件ノ賣買ト共ニ保險契約ヲモ讓渡シタルモノナリト推測スト云フ是果シテ適實ノ推測ト謂フ可キカ若適實ノ推測ト謂フヲ得スンハ此規定タル獨リ法理ニ背クノミナラス我民意ニ適セサルモノト謂フヘキナリ

被保險利益

第二章 被保險利益

我商法ハ第六百二十七條ヲ以テ被保險利益ノ定義ヲ掲ケタリ其條ニ曰ク

所有權、債權其他ノ權利名義又ハ權利關係ニ基因スル財産上ノ利益ニシテ此ニ關スル危險ノ起生ニ因リ被保險者ニ直接ニ損害ヲ加フヘキモノハ保險ニ付スルコトヲ得ル利益トス

(第一) 此法條ハ殆ント文章ヲ成サ、ルナリ何ントナレハ其所謂損害ヲ加フヘキナル形容詞ノ名詞ハ孰レナルヤト云フニ「財産上ノ利益」ヲ以テ名詞ナリト見サルヘカラスサレトモ危險ノ起生ニ因リ損害ヲ蒙ムルヘキ財産上ノ利益ハ之レアル可シト雖モ損害ヲ加フル如キ利益ハ事實上之レアルノ理ナケレハナリ

(第二) 「財産上ノ利益」ナル語辭ノ上ニ付スルニ「所有權、債權其他ノ權利名義又ハ權利關係ニ基因スル」ト云フカ如キ冗長ナル形容詞ヲ以テセリ蓋權利名義トハ用益權使用權賃借權等ノ如ク特ニ名義ヲ有スル權利ヲ云ヒ權利關係トハ他人ノ物品ヲ保管スルカ如シ然レトモ斯ノ如キ形容詞ヲ冠スルハ誠ニ徒勞ニ屬スルノミ管ニ徒勞ニ屬スルノミナラス却テ明瞭ヲ欠クモノアリ何トナレハ正當ナル財産ハ

總テ保險ニ付スルコトヲ得ルモノニシテ其基因ニ依リテ保險ニ付スルコトヲ得  
ヘキモノト然ラサルモノトノ區別アルニアラサレハ單ニ財產上ノ利益ト云フノ  
簡明ナルニ如カサレハナリ

(第三) 本條ノ事柄ハ曩キニ講述セル第六百二十五條ヨリシテ自カラ演繹シ得ラ  
ル、モノナレハ敢テ本條ヲ設クルノ必要ナシ  
然ラハ則チ假ニ本條ハ之ヲ刪除セストセハ其ノ文面ハ如何ニ更正ヲ加フ可キカ  
曰ク

適法ナル財產上ノ利益ニシテ危險ノ起生ニ因リ直接ニ損害ヲ受クルノ恐レ  
アルモノハ保險ニ付スルコトヲ得ル利益トス

苟モ右ノ如ク改竄スルニ於テハ文章頗ル簡ニシテ事理大ニ明カナルヘシ是ニ依  
テ見ルトキハ被保險利益ヲ組成スルニハ左ノ三條件ヲ必要トスルモノナリ

- 第一 其利益ハ財產上ノ利益ナルコト
- 第二 危險ノ起生ニ因リテ直接ニ損害ヲ受クルコトアル可キコト
- 第三 適法ナルコト

(第一) 財產上ノ利益

抑モ財產上ノ利益トハ如何ナル意義ナルヤト云フニ要スルニ金錢ヲ以テ計算ス  
ルコトヲ得ヘキ利益ヲ云フナリ夫ノ獨逸ノ保險法ハ明文ヲ以テ金錢ヲ以テ計算  
シ得ヘキ利益ハ保險ニ付シ得ルト規定セリ又英法學者ノ學說モ同シク之ヲ説明  
シテ金錢上ノ利益ナリト云ヘリ想フニ我法典ノ所謂財產上ノ利益モ畢竟獨逸及  
ヒ英國法ノ謂フ所ト同一ニシテ別ニ彼此異同アラサルナリ故ニ今余ハ茲ニ所有  
セル此法律書ニモ金錢上ノ利益ヲ有シ又余カ他人ニ對シ有スル債權上ニモ亦同  
シク金錢上ノ利益ヲ有スルヲ以テ余ハ此等ノ物ノ上ニ被保險利益ヲ有スルヤ固  
ヨリ論ヲ俟タスサレトモ單ニ精神上ノ歡樂若クハ愛情ノ如キハ素ヨリ金錢ヲ以  
テ見積リ得ヘキ利益ヲ含ムモノニアラサレハ保險ニ付スルヲ得サルモノナリ例  
ヘハ小野小町揚貴妃ノ如キ絶世ノ美人アリト假定シ其粧貌ヲ見レハ精神上言フ  
ヘカラサルノ快樂ヲ覺ユヘキモ此感情ハ之ヲ保險ニ附スルヲ得ス何トナレハ感  
情ハ金錢ヲ以テ計算シ得ヘキニアラサレハナリ  
茲ニ一ノ問題アリ曰ク將來得ヘキ利益ハ保險ニ得ルヤ否ヤノコト是ナリ此ノ點

ニ付キ英米兩國並ニ獨逸國ノ如キハ法律上之ヲ保險ニ付スルコトヲ許容セリ乍併佛國法ニアリテハ已得ノ利益ノミニ限リ保險ニ付スルコトヲ許シ將來ノ利益ハ保險シ得サ、ルコト、セリサレハ我新法典ハ如何ニ之ヲ規定セルカ英米獨ト同シキカ將タ佛法ニ均シキカ余ハ我商法ノ之ヲ許可スルコトヲ希望スル者ナルノミナラス之ヲ許可セリト斷言スルモノナリ何ヲ以テ之ヲ言フカ此商法第六百六十七條及ヒ第六百六十九條ノ兩條ハ土地ノ果實其他ノ天然物ニ對スル強雨洪水旱魃暴風雨等ノ如キ天災ヲ保險ニ付スルコトヲ許シ而シテ其損害ノ起生シタル場合ニハ保險シタル產物カ傷害ナク安全成熟シタル形狀ニ於テ有シタルヘキ價格ト其災害ノ後ニ於テ有スル價格トノ差額ヲ賠償セシムルコトヲ許シタルヲ以テナリ之ヲ例解スルニ秋穫ヲ保險ニ付シタル場合ニ當リ若シ天災アリテ之ニ損害ヲ加フル時ハ被保險者ハ其秋穫ノ時ニ於テ完全ニ得ラルヘキ價額ト其損害ノ爲メニ減セラレタル収益トノ差額ノ賠償ヲ受クルヲ得可シ尙ホ之レカ適切ナル例ヲ舉クレハ五月ニ插苗シ之ヲ旱魃ノ災害ニ對シ保險ニ付シタルニ七月ニ至リ果シテ旱魃ノ天災ニ遭遇シタルトキハ保險者ハ其損害ヲ賠償セサルヘカラス

而シテ其賠償額ハ如何ナル標準ヲ以テ計算スヘキカト言ハ、其旱魃ノ爲ニ損失ヲ受ケテ生シタル收穫ト(假ニ其收穫ハ殆ト枯槁ノミニシテ價額僅ニ一圓ニ過キスト爲シ)天災ノ起生ナクシハ成熟後得ラルヘキ收穫(其收穫ハ假リニ米十俵ニシテ其價格ニ拾圓トス)トノ差額即二十圓ト一圓トノ差引殘額十九圓ヲ以テ賠償額トナスガ如シ是ニ由テ之ヲ觀レハ將來ノ利益ニテモ保險シ得ヘキコトハ明カナリト謂フ可シ

右ニ付キ注意スヘキハ單ニ將來ニ得有スヘキノ希望ヲ屬スルコトノミニテハ不可ナリ必スヤ將來確然得有スヘキ利益ヲ得ルヲ得テ而シテ其將來必ス得ヘキ利益ヲ組成スルニハ須ラケ左ノ三條件ヲ具備スルヲ要ス

(一) 利益ヲ將來ニ生セシムル物上ニ現實ノ利益ヲ有スルコト

田島ニ生スヘキ秋穫ヲ保險ニ付スルニハ被保險者ハ必ス其田島止ニ利益ノ關係ヲ有セサル可ラス然ラサレハ之ヲ保險ニ付スルヲ得ス

(二) 保險ノ危險ニシテ起生スルニアラサレハ必ス利益ヲ取得スヘキコト

今例ヲ以テ之ヲ言ハシニ只田地ヲ所有スルノミニテハ將來ニ得ヘキ果實ヲ保險

ニ付スルヲ得ス既ニ田地ニ苗ヲ植ヘ而シテ保險ニ付スヘキ危險ノ生スルニアラ  
 スンハ其苗ノ成長ト米粒ノ成熟ヲ妨クルモノナキニ至リテ初メテ之ヲ保險ニ付  
 スルヲ得ヘキナリ  
 以上二條件ヲ具有スルニ於テハ將來ニ得ヘキ利益モ尙ホ保險ノ目的物ト爲スヲ  
 得ヘシ  
 茲ニ一ノ注意ヲ要スヘキ點アリ开ハ播種以前ニ於テモ果實ノ保險契約ヲ取結フ  
 コトヲ得ルノ一事ナリサレトモ斯ノ如キ契約ハ土地ニ播種スルノ前置條件ヲ帶  
 フルモノニシテ此條件具備スルニ非レハ契約ハ當然消滅スルモノトス  
 次ニ第六百二十七條第二項ニ移リテ説明スヘシ同項ニハ博奕賭事富講又ハ其他  
 ノ意外ノ事ニ因ル僥倖ノ利益ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ストアリ抑モ博奕富  
 講ノ何物タルハ諸君ノ既ニ知了セラルコト信スレハ之ヲ云ハズ賭事トハ角  
 力競馬競漕等ヲ傍觀スルモノハカ其勝敗ニ關シテ互ニ財物ヲ賭スルヲ云ヒ其他ノ  
 事ニ因ルトハ未來ノ相場ノ高低ニ因ル如キヲ謂フ  
 斯ノ如キ輸贏僥倖ニ依リテ得ヘキ利益ハ未タ被保險利益トナリ得サルモノトス

何ントナレハ斯ノ如キ場合ニ於テハ不慮ノ事ニ因リテ初メテ利益ヲ得ルモノニ  
 シテ被保險者ト被保險物トノ間ハ未タ不慮ノ事故ニ因リテノミ得ヘキ利益ヲ失  
 フノ關係ヲ發生セス而シテ危險ノ發生ニ依テ損害ヲ受ルヘキ關係ヲ生セサレハ  
 決シテ保險ニ付スヘキ利益ノ其間ニ介立スル能ハサルモノナレハナリ故ニ之ヲ  
 保險ニ付スルヲ得サルノ理由ハ保險法ノ目的ヨリスルモ之ヲ説明スルヲ得即チ  
 保險ノ目的ハ嘗テ述ヘタルカ如ク損失ヲ賠償スルノ方法ニシテ利益ヲ取得スル  
 ノ方法ニアラス而シテ博奕賭事富講ノ如ク單ニ勝敗僥倖ニ因リテ或ハ得サルヘ  
 ク或ハ得ルコトアルヘキ利益ヲ保險ニ付スルヲ許ストキハ結局保險ヲ以テ利益  
 ヲ得ルノ一方法ト爲スモノナレハ其本來ノ目的ニ背反スト謂ハサルヲ得ス故ニ  
 斯ノ如キ保險ノ無効ナルハ只利益ノ不法ナルノ點ヨリシテ然ルモノニアラサレ  
 ハ縱令財産編第六十條ニ掲クル所ノ法律上有効ナル博奕若クハ賭事ト雖モ亦  
 保險ニ付スルヲ得サルナリ

(第二) 危險ニ依テ直接ニ損害ヲ受クルコトアル可キコト  
 抑モ危險ニ因リテ直接ニ損害ヲ受クルコトナキモノハ之ヲ保險スルノ必要アラ

サルナリ從テ又被保險利益ヲ組成セサルヤ知ルヘキノミ今茲ニ地震、雷電、火災等  
 其他何等ノ危險ニ遭遇スルコトアルモ毫モ危險ヲ受クルコトナキ金城鐵壁ノ如  
 キモニアリト假定センニ是等ノ財産ハ毫モ之ヲ保險ニ付スルノ必要ヲ見ス從テ  
 保險ニ付スルノ利益トナラサルナリサレトモ此ノ如キ金城鐵壁ノ如キハ世間極  
 メテ其數ニ乏シク唯僅カニ記名公債證書ノ如キモノアルノミ然レトモ之レトテ  
 モ英米ノ如キ富國ハ儲テ措キ朝鮮埃及ノ如キ弱國ニ至リテハ未ダ以テ危險ナシ  
 ト謂フヘカラサルニ似タリ

(第三) 適法ナルコト

抑モ保險ハ正當ナル利益ト正當ナル事業ヲ保護スルニアリテ不正ノ利益又ハ不  
 法ノ事業ヲ保護スヘキモリニアラサレハ被保險利益タルヲ得ヘキモノハ固ヨリ  
 法律上正當ノ利益ナラサル可ラサルノミナラス利益其物ハ假令正當ニテモ不適  
 法ノ事業ニ供セラル、モノハ亦被保險利益タルヲ得夫世ニハ不適法ノ事業ヲ遂  
 ケシメシカ爲メニ資産ヲ供給スルモノ少カラズ然レトモ斯ノ如キハ決シテ保險  
 ニ付スルコトヲ得ヘキニアラス何トナレハ若シ保險法ヲ以テ之ヲ保護スルトキ

ハ法律ハ却テ不適法ノ事業ヲ助成シテ其成功ヲ進歩セシムルノ結果トナルヘク  
 レハナリ故ニ夫ノ奴隸買賣ノ如キハ古代ニアリテハ正當ト認容セラレシモ己ニ  
 今日ハ不適法ノモノナレハ保險ニ付スルヲ得ス

法律上明ニ不正ノモノト認ムルニアラサルモ道義上秩序上若クハ公益上ヨリシ  
 テ法律ノ厭惡シ又ハ獎勵セサル者モ亦保險法ノ保護ヲ受クヘキ限ニアラストス  
 以上陳述スル所ノ制限内ニ於テハ何等ノ利益ニテモ苟クモ金錢ヲ以テ積算スル  
 ナ得ヘキモノハ總テ保險ノ目的物タルヲ得ルモノトス

余ハ既ニ被保險利益ノ何物ナルヤヲ説明セリ以下被保險利益ノ價格ニ付テ述ヘ  
 ントス

抑モ被保險利益ナルモノハ何ニ依テ量定スヘキモノナルカト云フニ本問題ニ答  
 フルモノハ第六百二十九條是ナリ即チ其價格タルヤ特約アレハ其特約ニ從ヒ若  
 シ特約ヲ以テセサルトキハ被保險物ノ普通ノ價格ヲ以テ量定スルニアリスノ如  
 ク法律ハ特約アル場合ト特約ナキ場合トニ區別スルヲ以テ余モ亦之ヲ二者ニ區  
 別シテ講述スヘシ

被保險利  
 益ノ價格



(第一) 特約ノ存セサル場合

特約ヲ以テ利益ノ價格ヲ定メサル場合ハ被保險物普通ノ價格ニ依ルヲ以テ通則ト爲ス然ラハ其普通ノ價格ハ如何ナルモノヲ以テ標準ト爲シ之ヲ算定スヘキカト云フニ被保險物ノ種類ニヨリ多少異ナルコトナキニアラス若シ被保險物件カ不動産ナルトキハ此商法上特別ニ之ヲ定ムル所ナキモ之ヲ理論ニ訴フルトキハ損失當時ノ實價ニ依リテ之ヲ算定スヘキモノトス何トナレハ既ニ述フルカ如ク保險契約ナルモノハ損失補償ノ契約ナリ而シテ其補償スヘキ利益ハ現ニ危險ノ生シタル時ノ實價ニ外ナラサレハナリ然レトモ今此方法ニ依ルトキハ被保險者カ新築シタル家屋ヲ保險ニ付シテ二十年間ノ久シキ保險料ヲ支拂ヒタル後ニ至リ一朝此ノ家屋カ燒失スルトキハ被保險者ハ二十年間新築ノ家屋ニ適當ナル保險料ヲ支拂ヒナカラ二十年間經過セシ古キ家屋ニ相當スル賠償ヲ以テ満足セサルヘカラサル結果ヲ來タスモノナリ夫レ單一ナル論理上ヨリスレハカ、ル穩當ナラサル結果ニ陷ルノ恐レアリサレハ法典編纂者ナルロイスレル氏モ曰ク被保險利益ノ價格ハ保險ヲ受クル時ノ實價ニヨリテ算定スヘキモノナリ而シテ其結

約ノ時ト危險ノ起生シタル時ノ中間ニ於テ價格ノ減少スルモ尙ホ之ヲ不問ニ措クヘシ且ツ之ヲ不問ニ付スルヲ以テ一般ノ原則ナリト云ヘリ尙ホ詳細ニ付テハ後講ニ述フル所アラントス

次キニ被保險物件ノ動産ナル場合ヲ論センニ我カ商法ハ第六百三十條ヲ以テ之ヲ規定セリ本條ニ從ヘハ被保險物ヲ自己ノ使用ニ供スル動産ト他ニ賣却スル所ノ商品トノ二者ニ區別シ其第一種ノ動産ナルトキハ其價格ハ修繕又ハ新調ノ費用ニ依ルモノトセリ例ヘハ製造場ヨリ或ル器械ヲ購入シ之ヲ保險ニ付シタルトキニ當リ其物品ニシテ火災ニ罹リ若シ一部破損シタルトキハ其修繕費用ヲ以テ若又全部損失シタルトキハ新ニ之ヲ購求スル所ノ費用ヲ以テ被保險額ト爲スカ如シ今マ本條ノ全文ヲ掲ケレハ左ノ如シ

被保險物ノ價格ハ使用ニ供スル動産ニ在テハ修繕又ハ新調ノ費用ニ依リ商品ニ在テハ損害又ハ喪失ノ生シタル時及ビ地ニ於ケル市場代價ニ依リテ之ヲ定ム(第六百三十條)

抑モ物品ノ價格タル新舊ニ依リテ高低アルコトハ固ヨリ自明ノ理ニシテ論ヲ須

タス其ノ古ナルモノハ新ナルモノニ及ハス既ニ使用シテ損耗若クハ腐蝕ニ属ス  
 ルモノハ新製ノ物品ト同一視スルコトヲ得サルハ一般ノ通則ナリ今マ本條ノ新  
 調ナル文字ノ意味ヲシテ新製ノ物ヲ購買スル費用ト解釋スルトキハ古キ物品ヲ  
 保險ニ付スルトキハ新製ノ物品ヲ獲得スルノ結果トナリ大ヒニ保險法ノ主義精  
 神ニ反スルモノト云フ可シ故ニ新調ナル文字ノ意義ハ普通ノ解釋ニ反スルモ新  
 シク調スル意味ニアラスシテ新クニ被保險物ト同一ノモノヲ購求スルノ意義ト  
 解スヘキモノトス

凡ソ被保險物ノ價格ト保險者ハ賠償スヘキ金額トハ常ニ同一額ノモノニアラス  
 只全部損失ノ場合ニ然ルルニ然ルニ尙本條ニ於テ修繕ノ費用ヲ以テ被保險物ノ  
 價格ト爲スヘキコトヲ規定シタルハ不當ノ最モ甚シキモノナリ若シ此費用ニ依  
 リ被保險物ノ價額ヲ量定ストセハ今マ一個ノ机ヲ修繕シタルニ其費用ハ單ニ五  
 拾錢ナリトセハ其五拾錢ヲ以テ被保險物ノ價格トナサ、ルヘカラス天下豈斯ノ  
 如キノ理アラシヤ何トナレバ此被保險物ノ價格ハ宜シク其ノ物ノ價格ニシテ修  
 繕ノ費用タル可カラザレバナリ今夫レ何故ニ右ノ如キ法條ヲ生シタルヤト尋ヌ

ルニ蓋シ損害賠償ノ額ト被保險物ノ價格トヲ混同シタルカ故ノミ故ニ本條ハ此  
 點ニ付テハ大ニ字義ニ反スル所アルモ被保險物上ニ一部ノ損害アリタルトキハ  
 保險者カ補償スヘキ金額ハ其修繕料即チ五拾錢ニ止マルト云フニ在ルモノト解  
 釋スヘキモノニシテ決シテ其五拾錢ヲ以テ机ノ被保險額ト見做ス可ラサルナリ  
 且凡ソ物品ハ何タルヲ問ハス苟クモ修繕ヲ爲ス以上ハ皆多少ノ新鮮ヲ來タサ、  
 ルハナク就中船舶家屋ノ如キハ其最タルモノナリ故ニ本條ノ如ク保險者ヲシテ  
 修繕料ヲ償ハシムルトキハ古物ニ對シテ新物ヲ償フノ結果ヲ來スヲ以テ理論上  
 補償ノ主義ヲ貫クモノト謂フヲ得ス

右ハ動産ノ第一種即チ使用ニ供スル物品ニ付テ説キタルナリ次キニハ第三種ノ  
 動産即チ商品ニ付テ述ヘントス  
 抑モ商品ニ於ケル被保險價格タルヤ其損害ノ生シタル時及ヒ場所ニ於ケル市價  
 ニ依リテ定ムヘキモノトス例ヘハ東京ニ於テ在神戸港ノ生絲ヲ保險ニ付セリ然  
 ルニ其生絲ハ今日火災ノ爲メニ烏有ニ歸シタリト假定スレハ此場合ニ於ケ  
 ル生絲ノ市價ハ決シテ東京ノ市價ヲ以テ定ムルニアラス又タ其保險契約ヲ締結

シタル時ノ市價ニ依ルニアラヌシテ被保物件ノ損失シタル今月一日ニ於ケル被  
 保險物所在ノ場所即チ神戸市場ニ於ケル價格ニ依ルヘキモノトス  
 右ハ規則タル終始同一場所ヲ占ムル所ノ被保物ニ適用シ得ヘシト雖モ運送品ノ  
 如キ時々移轉スル物品ニ對シテハ適用スルヲ得サレハ運送品ニ關シテハ第六  
 百七十五條ニ特別規定アリ

此保險法ノ草案ニハ右第一種及ヒ第二種ノ物品ニ付テ保險料及ヒ其他一般ノ通  
 常保護費ヲ算入ス但新舊ノ別ヲ立テストアリシモ此商法ニ斯ノ如キ明文ナキハ  
 即チ之ヲ排除シタル故ナル可シ依リテ草案ニアリテハ一般市場ノ代價ニ加フル  
 ニ尙ホ保險料及ヒ倉敷料等ヲ合算スルコト、ナシタルモ今ヤ之レカ規定ヲ見サ  
 レハ其之ヲ合算セサルヤ明カナルヘシ  
 又被保險物カ債權ナルトキハ其價格ハ其債務ノ金額ニ利子及ヒ取立費用ヲ合算  
 シタルモノタルコトハ第六百三十三條ノ明定スル所ナリ  
 抑モ債權ヲ保險ニ付スルコトタル諸君ノ既ニ了知セラル、所ナラン是レ即チ債  
 債者カ其負債ヲ辨償シ得サルニ至レハ保險者ヨリ其金額ヲ辨濟スルヲ目的トス

ル契約ナリ辭ヲ更フレハ債務者ノ能力ヲ保險ニ付スル所ノ契約ナリトス例ヘハ  
 甲ヨリ乙ニ一萬圓ノ貸金アリ其利子ハ一年百分ノ六ナルトキハ其債務額一萬  
 圓ト其利子及ヒ辨濟セサルニ當リ之ヲ督促スルカ爲メニ費シタル所ノ相當ノ費  
 用アレハ之ヲ合算シテ以テ被保險額ノ價格トスルナリ  
 又債權ヲ擔保スル所ノ抵當物ヲ保險ニ付スルコトアリ此場合ニ於テ抵當物ノ價  
 格カ債務ノ價格利息並ニ取立費用ヲ合算シタルモノヨリ寡少ナルトキハ抵當物  
 ノ普通價格ニヨリテ被保險利益ヲ算定スルモノナリ之ニ反シテ抵當物ノ價格ニ  
 シテ其合算シタル額ヨリ超過セルトキノ被保險利益ハ其合算シタル金額ニ止マ  
 ルモノトス何トナレハ債權者ハ抵當物ニ對シ唯貸金及ヒ其利息入費等ノ金額ニ  
 及フマテノ利益ヲ有スルニ止マリ抵當物全体ノ價格ニ付テハ利益ナケレハナリ  
 例ヘハ百圓ノ債務ニ對シ縱令千圓ノ抵當ヲ取ルモ固ト百圓ノ債務ニ過キサレハ  
 其貸金及ヒ利息ヲ除クノ外毫末モ債權者ハ他ニ利益ヲ有セサルヘキナリ

(第二) 特約ノ存スル場合

保險契約上特ニ被保險物ノ價格ヲ明約若シハ鑑定ノ價格ヲヨリ豫定シタルトキ

ハ被保險利益ノ價格タル其豫定シタル價格ニ外ナラサルナリ是即チ第六百二十九條ニ記載セル所ナリ例ヘハ玆ニ余カ床上ニ粧置セル物品ヲ保險ニ付センニ此品タルヤ頗ル古物ニシテ普通ノ實價ヲ以テセハ僅カニ十圓ニ過キサレトモ余カ眼ヲ以テスレハ古色藹然誠ニ珍愛スヘキ物トシテ百圓ニモ換ヘ難シトスレハ特ニ保險者ト約シテ其價格ヲ百圓ト定ムルコトヲ得若シ之ヲ損失スルニ於テハ必ス百圓ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

凡ソ保險證券ヲ區別シテ記價保險證券及ヒ不記價保險證券ノ二種ト爲スヲ得ヘシ記價保險證券トハ讀シテ字ノ如ク保險證券面ニ被保險物ノ價格ヲ記載スルヲ云ヒ不記價保險證券トハ之ヲ明記セサルモノヲ云フ而シテ不記價證券ニ在テハ第一ノ特約ナキ場合ノ方法ニヨリテ被保險物ノ價格ヲ算定シ記價保險證券ニ在テハ第二ノ特約アル場合ノ方法ニ從ヒ其記入ノ價格ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

此價額ヲ特約スル爲メニハ物品ノ原價ニ加フルニ保險ノ費用保險料其他一般ノ保護費等ヲモ合算シ得ルモノナリ又商品ニ付テハ將來ニ得ヘキ利得ヲモ加ヘテ價格ヲ約定スルヲ得ルモノトス一旦結約者ニ於テ豫メ被保險物ノ價額ヲ約定シ

タルトキハ其價額ハ結約者間ニ確乎不動ノモノナルヲ以テ他日之ニ對シテ決シテ異議ヲ唱ヘ得サルモノナリ只之ヲ動カシ得ル場合ハ其價額ヲ定ムルニ付キ強暴若クハ詐僞ノ存スルトキ或ハ其價額ニシテ非常ニ實價ニ超過シ實際詐僞ト同一視シ得ヘキ場合ニ限ルモノトス故ニ此等ノ場合ニハ其時ノ實價ニ引直シ之ニ依リテ被保險利益ノ價額トナスモノナリサレトモ詐僞強暴等ヲ原由トシテ契約自身ヲ取消ストキハ固ヨリ實際ニ引直ヲ爲スノ要ナキハ論ナシ

保險證券

第三章 保險證券

保險契約ヲ記載セル證書ハ之ヲ保險證券ト稱ス英米及ヒ佛國ノ法律ニ依ルトキハ海上保險ノ契約ニハ常ニ此證券ヲ必要トス從テ保險證券ヲ以テセサレハ決シテ保險契約ノ成立ヲ證明シ得サルナリサレトモ我カ法典ニ於テハ如何ナル保險ヲ問ハス之ヲ證券ニ記載セサルヘカラサルコトヲ規定セス故ニ縱令證券ヲ作爲セサルモ契約ノ成立上毫モ支障アルコトナシ然リト雖モ商法第六百四十二條ニハ左ノ規定ヲ設ケタリ曰ク

「保險契約ノ取結及ヒ履行ニ付テハ第七章ノ原則ヲ標準ト爲ス然レトモ保險

者ハ總テノ場合ニ於テ契約取結ノ後即時ニ保險證券ヲ作リテ被保險人ニ交付スル義務ヲ負ヒ此手續ヲ爲サヌ又遲延スルニ因リテ生シタル總テノ損害ニ付テ被保險者ニ對シテ責任ヲ負フニ付

左レハ保險者ハ契約スルト同時ニ保險證券ヲ作リテ之ヲ被保險者ニ交付スルノ義務アリ若シ此義務ヲ破リテ交付セサルカ或ハ交付スルコトヲ遲延スルトキハ爲ニ生スル所ノ損害ハ保險者ニ於テ負擔セサルヲ得ス思フニカ、ル規定ヲ設ケタル所以ノモノハ一ハ保險契約ハ通例被保險物ノ移轉ト共ニ移轉シ當初ノ契約者以外ノ者ニモ効力ヲ及ホスヲ以テ契約ヲ明カニ爲シ置クノ必要アルト一ハ保險證券ヲ調製セスシテ單ニ口頭ノ契約ニ止メタルトキハ後日ニ至リ被保險者ニ於テ其契約ノ存在ヲ證明スルコト極メテ困難ナレハ則チ此困難ヲ防ク爲メナル可シサレトモ保險者ハ此規則ヲ守ラサルモ保險契約ニハ何等ノ影響ヲ及ホスモノニアラス只其證明スヘキ證據ノ不充分ナルニ過キサルナリ但之ヨリ生スル損害ハ賠償セサル可ラス

保險證券ノ種類

第一節 保險證券ノ種類

(第一)利益保險證券、賭博保險證券

利益保險證券ト稱スルハ其證券面ニ於テ被保險者ハ被保險物件ニ付テ利害ノ關係ヲ有スルコトヲ記載スルノ證券ヲ云フ英國ノ法律ニアリテハ賭博保險ナルコトヲ記載セサルモノハ總テ利益保險證券ト見做スト規定セリ我法律ニ於テハ別ニ規定ナキモ固ヨリ斯ク見做サ、ル可ラス何トナレハ利益保險證券ハ正當ニシテ有効ナルモ賭博保險證券ハ不法ニシテ何等ノ効力ヲモ有セサレハナリ但賭博保險證券ニ於テモ實際利益保險タルヲ證明セハ有効タルヘキモノトス賭博保險證券ナルモノハ被保險者ハ被保險物ニ付キ何等ノ利害ヲモ得喪セストノ意味ヲ記載セル證券ヲ云フ語ヲ換フレハ補償ノ契約ニアラスシテ賭博契約ナルコトヲ記載セル證券ヲ指スモノナリ

(第二)記價保險證券、不記價保險證券

記價保險證券トハ被保險者ト保險者トノ合意ヲ以テ被保險物ノ價格ヲ定メ之ヲ證券ニ記載スルモノヲ云フ不記價保險證券ハ之ニ反シテ其證券面ニ被保險物ノ價格ヲ明記セサルモノヲ云フ而シテ其記價保險證券ノ場合ニ於テハ若シ保險シ

タル危険カ起生シテ被保險物上ニ損害ヲ來タストキハ保險者ハ其證券面ニ記載セル價額ヲ賠償セハ充分ニシテ其以外ニ毫末ノ義務ヲ有セサル故ニ後日ニ至リ其被保險物ハ何程ノ價額アリシヤ否ヤヲ證明スルノ煩累ナシ不記價保險證券ノ場合ニアリテハ之ト異ナリ被保險物ノ價格ヲ證券上ニ記載セサルモノナレハ若シ其物ニシテ損失セルニ於テハ必スヤ其價ヲ算定セサルヘカラス而シテ此價ヲ證明スルコトニ就テハ我商法ハ其第六百五十條ニ規定セリ今該條ノ全文ヲ舉クレハ即チ左ノ如シ

被保險物ノ價額ニシテ保險證券ニ掲ケサルモノ及損害額ノ證據ハ總テ他ノ適法ナル證據方法ヲ以テ之ヲ舉グルコトヲ得

損害額ノ評定ハ當事者雙方ノ協議調ハサルトキハ裁判所ヨリ指定シタル鑑定人之ヲ爲ス

本條ハ即チ不記價保險證券ノ場合ニ被保險物ノ價格ヲ算定シ且ツ之ヲ證明スルノ方法ヲ規定セルニ過キス而シテ記價保險證券ニ記載セル價格ハ確乎不拔ノモノニシテ後日ニ至リ動カシ得ヘキ場合ハ只詐偽強暴若クハ其實價ト記價ト非常

ニ相違セル時ニ限ルコトハ前述シタル所ノ如シ

(第三)航期保險證券時期保險證券

此區別タル單ニ海上保險法ノ保險證券ノミニ適用ス而シテ航期保險證券トハ其名ノ如ク證券面ニ航海ノ終始スル場所ヲ明記シ以テ危険ニ制限ヲ立ルモノヲ云フ例ヘハ横濱ヨリ桑港マテノ航海ヲ保險スルコトヲ保險證券ニ記載スルトキノ如シ之ニ反シテ時期保險證券トハ時間ヲ以テ其危険ヲ制限スルモノヲ云フ即チ明治二十四年十一月三十日ヨリ明治二十五年三月卅日マテノ危険ヲ保險スルコトヲ其證券面ニ記載スルトキノ如シ

茲ニ又一ノ保險ニシテ時期ト航期トノ二者ノ性質ヲ具有スルモノアリ例ヘハ明治廿四年十一月三十日ヨリ明治廿五年一月卅日マテ横濱ヨリ佛國マルセル港ニ至ル航海ヲ保險ニ付スルカ如キ證券是ナリ之レヲ混同保險證券ト稱ス

(第四)終身保險證券年期保險證券

此區別ハ生命保險、病傷保險並ニ年金保險等ニ適用スルモノナリ

(第五)差圖式保險證券、無記名式保險證券

差圖式保險證券トハ最初ノ契約者ノミニ止マラス其證券ノ名宛人ヲシテ其契約上ノ權利ヲ實行セシムルノ効力ヲ有スルモノナリ又無記名證券ナルモノハ之レヲ現有スル者ニ於テ其權利ヲ實行スルノ効用ヲ爲スモノナリ去リ乍ラ此證券ヲ以テ夫ノ流通證書トハ同一ニ論スルヲ得ス而シテ保險者ハ決シテ最初ノ被保險者ニ對シテ保險契約ニ基キテ有スル所ノ權利ヲ失フモノニアラサレハ其權利ハ何時ニテモ其證券ヲ有スル者或ハ其指圖ノ名宛人ニ對シテ利用スルコトヲ得ヘシ是故ニ指圖又ハ無記名ノ保險證券ハ被保險者ヲシテ權利ノ讓渡ヲ容易ナラシメ又其讓渡サレタル權利ヲ容易ニ實行セシムルニ過キス是レ即チ第六百四十八條ニ規定スル所ナリ

第二節 保險証券ニ記載スヘキ條件

保險証券ニ記載スヘキ條件

此條件タル商法第六百四十六條ニ規定セリ其規定ニ曰ク

保險証券ニハ年月日ヲ記シ及ヒ保險者若クハ其代人署名捺印シ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

第一 保險ノ初日及ヒ其期間

第二 被保險物ノ十分精密ナル記載

第三 被保險額

第四 保險料ノ額

第五 保險シタル危險

第六 保險申込人ノ氏名及ヒ被保險者ノ指示

第七 保險ノ旨趣ニ重要ナル影響ヲ及ホス事情及ヒ契約ノ特別ナル條款アラハ其條款

以上七項目ハ余カ説明ヲ竣タスシテ諸君ハ既ニ其事柄ノ如何ヲ會得セラルヘケレハ茲ニ別ニ説明ヲ爲サスサレトモ余ニ於テ唯ターノ疑義ナキ能ハサルモノアリ他ナラス本條ノ規定ハ果シテ必要ナルヤ否ヤノ一點是ナリ我法律ハ英佛諸國ノ法律トハ異ナリ本來保險證券ヲ必要トスルニアラスシテ之ヲ調製スルト否トハ只被保險人ノ隨意ニ一任シ保險契約ハ必スシモ保險證券ヲ以テ證明スルヲ要セサレハ斯ノ如ク保險證券ノ條件ヲ規定スルノ必要ナキニ似タリ然レトモ此規定ノ條件ヲ具備スルトキハ讓渡等ヲ容易ニシ能ク其實事ヲ明

白ナラシムルノ便利アルカ故ニ立法者ハ此規定ヲ設ケタルナル可シ

第三節 保險証券ノ解釋

保險証券ヲ解釋スルニハ別ニ格段ナル規則アルニアラス單ニ尋常商法上ノ證書ニ適用スヘキ原則ヲ適用スルニ過キス今其重要ナル諸規則ヲ掲ケレハ左ノ如シ

第一則 商業上確定セル慣習即チ商習慣ハ一應保險証券ノ一部ヲ構成スルモノト見做スヘシサレトモ是レ證據法上一應ノ推測ニ外ナラサレハ反對ノ證據アルトキハ素ヨリ此限リニアラサルナリ

第二則 商業上特別ナル慣習ハ一般ノ慣習ニ比シテ優等ナルモノトス

第三則 法律上効力ヲ付與スヘキ慣習ハ商業上一般ノ慣習ニシテ且ツ明白ノモノナルカ又ハ保險契約ニ關係セル格段ナル商業並ニ保險契約ヲ取結ヒタル場所ニ於テ認容セラル、著明ノモノナラサルヘカラス此後者ニ於ケル慣習ハ其格段ナル商業ニ從事シ又ハ其慣習ノ行ハル、地所ニ於テ契約ヲ爲シタル人々ニ對シテノミ効力ヲ有スルモノニシテ然ラサル人ニ對シテハ其効ナキモノトス

第四則 慣習ノ効力ヲ有スヘキモノハ必スヤ相當ノモノタラサルヘカラス苟モ不正若クハ不當ノ慣習ハ敢テ効力アルノ限ニアラサルナリ

「ロールド」エルドン氏ハ或ル訴訟ニ於テ陪審官ニ指示シテ曰ク卿等ハ慣習ノ實際存在セルヤ否ヤヲ審案スルノミニテハ未タ足レリトセス其慣習ノ相當ナルヤ否ヤヲモ尙ホ審案セサルヘカラスト又以テ本則ノ如何ヲ知了スルニ足ルヘシ

第五則 保險証券ニ記載セル所ノ意義ニシテ表面上兩義ニ涉ルカ又ハ不明ナルトキハ證書外ノ情況ニ依リ特ニ慣習ヲ以テ其意義ヲ補充説明スルヲ得ヘシ

我商法ニ於テハ其第六百四十七條ト六百四十九條ヲ以テ證明ニ關スル規定ヲ爲シタリ而シテ其第六百四十七條ニハ

保險証券ノ旨趣ハ商慣習又ハ附屬書類其他ノ證書ヲ以テ之ヲ更正シ説明シ補充シ又ハ變更スルコトヲ得

トアリ余ハ毎ニ學理上ニ照ラシテ我新法典ノ法文ノ不明瞭ト法理ノ不相當トチ慨嘆セシト雖モ其不當ノ甚タシキ本條ノ如キニ至リテハ蓋極マレリト謂フ可シ恐ラシハ復天下ニ比類ナカルヘキナリ今マ若シ本條ニ從ハンカ保險証券ノ旨趣ハ商慣習ヲ以テ變更シ又ハ更正スルヲ得可シサレトモ斯ノ如キ規定ハ歐米各國



廣シト雖モ未タ嘗テ見聞セサル所ナリ  
 凡ソ商慣習ニ依リ保險證券ノ解釋上ノ資料ト爲シ得ヘキ場合ハ唯タ證券上不明  
 了ノ點ヲ説明シ又ハ補充スル爲メニ外ナラス進ンテ其旨趣ヲモ變更若クハ更正  
 スル爲メニ提出シ得ヘカラサルコトハ是レ一般ノ原則ナリ然ルニ本條ハ其旨趣  
 ナモ變更シ又ハ更正スルヲ得ルモノトセリ是慣習ヲ以テ結約者ノ特ニ約定シタ  
 ルモノ、上ニ置クモノニシテ契約ノ効果シテ何ニカアル豈ニ奇怪ノ至リナラス  
 ヤ

次ニ第六百四十九條ノ規定ヲ舉クレハ左ノ如シ

保險契約ノ旨趣ニ係ル證據ハ保險證券又ハ附屬書類ヲ以テノミ之ヲ舉ク  
 ルコトヲ得但其證券及ヒ附屬書類カ最早存在セス又ハ其發行ヲ爲サ、ル  
 トキハ此限リニアラス

本條ノ規定ハ新法典ノ他ノ關係ヨリ講究スルトキハ當然現出スヘキモノニシテ  
 特ニ明文ヲ掲クルヲ俟タサルナリ即チ本條ノ意義タル保險證券又ハ附屬書類ヲ  
 有スル以上ハ其以外ノ證據ヲ以テ證明スルヲ許サスト云フニアリ是レ一般普通

ノ規定ニシテ所謂第一等ノ證據アルニモ拘ハラヌ之ヲ棄テ第二等ノ證據ヲ提出  
 シ得ストノ證據法上ノ原則ヲ茲ニ掲ケタルニ過キストス

第六則 手書シタル條項ハ印刷シタル條項ニ優ルモノトス

#### 第四章 保險契約ノ取結及履行

保險契約  
ノ取結及  
履行

保險契約ハ商事契約ノ一種ナレハ其取結及ヒ履行ノコトハ普通商事契約ノ規則  
 即チ商法第七章第二第三節ノ規定ニ依ルヘキモノナリ故ニ今茲ニハ唯タ保險契  
 約ナルモノハ何時成立スルヤノ問題ト特定ノ法條ニ就テ一言スヘシ  
 抑モ保險契約ハ諸他ノ契約ト同シク總テ契約ニ必要ナル元素ニ付結約者ニ於テ  
 合意ヲ爲シタル以上ハ茲ニ成立スルモノナリ即チ契約締結ノ資格アル當事者カ  
 保險ノ目的物、保險金額、保險危險ノ制限、保險料ノ割合并ニ保險契約ニ特別ナル情  
 狀ニ付テ合意ヲ遂ケ唯單ニ保險者ハ保險證券ヲ作りテ被保險者ニ交付スルノ一  
 事ノミ殘存スルノ場合ニ立チ至ラハ保險契約ハ既ニ完成セルモノト謂ツヘシ是  
 故ニ保險契約ト保險證券トハ全ク特異ノモノニシテ保險證券ナルモノハ保險契  
 約ヲ成立セシムルノ要素ニハアラス其之ヲ作成スルト否トハ毫モ契約ノ成立ニ

關係スルコトナキナリ契約ハ飽マテモ證券ノ成立及ヒ交付前ニ於テ存在セサル  
 へカラス之ヲ換言スレハ保險契約ナルモノハ保險證券ヲ作成スルノ母トナルモ  
 ノニシテ契約アリテ後證券ノ生出ヲ見ルヘキモノナリ  
 我商法第六百四十二條ニ於テ之レカ規定ヲ設ケテ曰ク「保險契約ノ取結及ヒ履行  
 ニ付テハ第七章ノ原則ヲ標準トナス然レトモ保險者ハ總テノ場合ニ於テ契約取  
 結ノ後即時ニ保險證券ヲ作りテ被保險者ニ交付スルノ義務ヲ負ヒ此手續ヲ爲サ  
 ス又ハ遅延スルニ因テ生シタル總テノ損害ニ付キ被保險者ニ對シテ責任ヲ負フ」  
 トアリ是ニ依テ之ヲ觀レハ保險者ハ契約ヲ取結ヒタル後即時ニ被保險者ニ對シ  
 テ保險證券ヲ交付スルノ義務ヲ負ヒ而シテ保險者ハ之レカ手續ヲ爲サス若クハ  
 遅延スルニ於テハ之ヨリ生スル所ノ損害賠償ヲ爲スヘキ責任ヲ負擔スルモノナ  
 リ即時トハ相當時間内ト云フノ義ナレハ保險者ニ於テハ保險契約ヲ取結ヘハ必  
 テス相當時間内ニ之ヲ交付スルノ義務ヲ負フ可シ然レトモ被保險者ニシテ之レ  
 カ交付ヲ希望セサルトキハ此限りニアラサルナリ  
 以上説明スル如クナレハ保險證券ヲ作成スルハ契約取結ノ一部ナルカ將タ契約

履行ノ一部ナルカト云ハ、寧ロ契約履行ノ一部ト謂フヘキモノナリ試ミニ「コ  
 ン」對北米保險會社事件ノ判例ヲ閱スルトキハ能ク其法理ヲ發見スルヲ得ヘシ此  
 事件ニ於テ原告代理人ハ保險會社ニ至リ保險ノ申込ヲ爲シ而シテ總般ノ約束ヲ  
 取結ヒタリシカ證券ヲ調製スルニ先テ其會社ヲ退出セリ此場合ニ於テ裁判所ハ  
 如何ナル判決ヲ下クシタルカト云フニ其契約ニ關シテハ萬事取極メラレ而シテ  
 殘ル所ハ單ニ履行ノ一事ニアリ故ニ原告人ニ於テハ被告人ニ對シ保險金ヲ請求  
 スルノ權利アリト判決セラレタリ之ヲ要スルニ保險證券ノ作成ハ契約ノ要素ニ  
 アラスシテ履行ノ一部タルノミ  
 尙ホ我新法典ニ於テハ契約取結ノコトニ付キ第六百四十三條ノ規定アリ全條ニ  
 ハ「保險契約ハ保險者又ハ契約取結ヒノ權アル代人カ保險申込書及ヒ之レニ屬ス  
 ル陳述書ヲ異議ナク承諾シタルトキハ之レヲ取結ヒタリト見做ス」トアリ要スル  
 ニ此規定タル契約ハ申込ニ對シ異議ナク承諾シタルトキハ成立スト云ヘルニ過  
 キス果シテ然ラハ則チ是レ通常ノ契約ト同一ニシテ決シテ保險契約ニ特別ノコ  
 トニアラサレハ特ニ茲ニ如斯規定ヲ設クルノ必要ナシ加之本條ニハ之レヲ取結

ヒタリト見做ストアルモ是誠ニ穩當ナラサル規定ト謂フ可シ何トナレハ斯ノ如キハ敢テ見做スヲ要セス當然然ルヘキモノナレハナリ且ツ又申込及ヒ承諾ノ二者アリテ契約成立スト謂フカ如キハ法學上論スヘキ事柄ニシテ決シテ法典上ニ掲クヘキコトニアラサルナリ若シ夫レ斯ル事柄ヲモ一々掲ルコトヲ必要トセハ幾万ノ箇條ヲ設定スルモ尙足ラサルヘシ豈實ニ迂濶ノ極ト云サルヲ得ンヤ若シ夫レ立按者ノ意思ニシテ保險申込書并ニ之ニ關スル陳述書ニ異議ナク承諾アリタルトキハ通則ニ依レハ契約ノ成立セサル場合ニ於テモ尙保險法ニ於テハ契約ノ成立シタルモノト見做スト云フニアラシカ是レ實ニ法理ニ背反シ且實地ニ適合セサルノ規則ト謂フ可シ蓋シ申込書并ニ陳述書ニ於テ契約ヲ組成スルニ必要ナル事項即チ危險ノ制限保險ノ目的物等ノ記載ナキトキハ縱令保險者ニ於テ之ニ異議ナク承諾ヲ表スルモ到底契約ノ成立スヘキ筈ナケレハナリ尙ホ之ヲ詳言スレハ申込書并ニ陳述書ニハ完全ノモノアリ不完全ノモノアリ苟モ不完全ノモノナルトキハ縱令承諾アルモ如何ソ契約ノ成立ヲ見ルヘケンヤ是ヲ以テ本條ヲ解釋シテ不完全ノ申込ニシテ要素ヲ具備セサルモノニ合意アルトキト雖モ一應

契約アリト見做スト云フノ意ナリト爲スカ如キハ余ノ斷乎トシ排斥スル所ナリ何トナレハ法律ヲ以テ不完全ノ申込ヲ承諾セハ契約アリト見做スト規定スルカ如キハ大ニ公益ニ反シ法理ニ背クヲ以テナリ是レ余カ本條ヲ以テ無用ナリト論スル所以ナリ

### 第五章 當事者并ニ代理人

#### 第一節 當事者

當事者并ニ代理人  
當事者

茲ニ所謂當事者トハ即チ締約者ノ謂ヒナリ而シテ保險契約ヲ取結フニハ當事者ハ必ラス普通ノ契約ヲ取結ヒ得ヘキ資格ヲ具有セサルヘカラス何トナレハ保險モ亦一ノ契約ニ外ナラサレハナリ而シテ保險者タルモノニハ普通ノ資格ヲ有スルコトノ外別ニ制限ナシト雖モ獨リ被保險者ニ至リテハ普通ノ資格以外ニ尙ホ被保物件ニ對シ利益ヲ享有スルコトヲ必要トスルモノナリ是レ實ニ通常ノ契約ト差異アル一點ナリトス而シテ是等詳細ノ講說ニ至リテハ契約法ノ本領ニ深入スルノ恐アルヲ以テ本章ニ於テハ唯ダ古來此契約ヲ締結シタル當事者ノ變遷ニ付キ聊カ述フル所アラントス

熟ラ歐米各國ニ於ケル保險事業ヲ案スルニ昔時ハ全ク一箇人ノ手裡ニ屬シタリシモ社會ノ進步スルニ從ヒ漸々會社ノ掌中ニ歸シタリ現在米國ニ於ケル保險事業ハ殆ント皆會社ノ手裡ニ歸セリト言フモ敢テ誣言ニアラサルカ如シ歐洲諸國ト雖モ亦殆ント同一ノ傾向ヲ來タセリ唯米國ノ如キ極度ニ達セサルノミ惟フニ保險ノ事業タル其營業區域ヲ廣大ニ爲サスノハ能ク無數ノ保險ヲ締結シ以テ社會ヲ利スルニ足ラス而シテ其之ヲ行フニハ一箇人ニ於テスルヨリモ寧ロ許多ノ資本ヲ有スル會社ニ放任スルコト安全ニシテ且ツ適當ノ事業ナレハナリ是レ蓋シ歐米諸州ニアリテ漸次此事業ノ會社ニ歸スル所以ナルヘシ而シテ我商法ニ在テモ亦特ニ保險會社ナルモノヲ規定セラレタリ余ハ今日斯カル會社ノ本邦ニ存在スルノ極メテ稀有ナルヲ知ルモ早晚時世ノ進步ト共ニ續々發生スルニ相違ナカルヘシ但シ保險會社ノコトハ他日詳論スル所アル可シ

## 代理人

## 第二節 代理人

保險契約ナルモノハ尙ホ通常契約ノ場合ト同シク保險者及ヒ被保險者ハ何レモ代理人ヲ以テ締結スルコトヲ得ヘシ而シテ其代理ノ規定ニ於ケルモ亦普通ノ代

理法ニ於ケルト均シク明任若クハ默任ヲ以テ代理人ヲ使用シ得ヘク其他追認ニ依リ他人ノ締結シタル契約ヲ有効ナラシムルコトヲモ爲シ得ルモノナリ

## (第一) 明任ノ場合

此場合ニ於ケル代理人ノ權限ハ總テ明示セララル、ヲ以テ之ヲ認定スルコトニ於テ素ヨリ困難ナカルヘキナリ

## (第二) 默任ノ場合

此場合ニ於ケル代理人ノ權限如何ヲ論定スルコトハ頗ル困難ナリ抑モ默任ナルモノハ如何ナル場合ニ成立スヘキ乎ト云フニ代理人ト本人若クハ被保險物トノ關係ヨリシテ委任アリト認メラルヘキ場合ニ起生スルモノナリ是レ固トヨリ一般ノ規則ヲ以テ包括スルヲ得ヘキモノニ非サレハ各事件ニ付テ審定セサル可ラス

抑モ組合員ナルモノハ他ノ組合員ヨリシテ特ニ委任ヲ受ケスト雖モ組合ノ財産ヲ自己ノ利益ノ爲メニ保險シ得ヘキノミナラス他ノ組合員ノ爲メニモ尙保險契約ヲ取結ヒ得ヘキモノトス何トナレハ組合員ナルモノハ法律上互ニ本人タリ代理

人タルノ關係ヲ有スルモノナレハ別ニ委任ヲ受サルモ他ノ組合員ノ爲メニ契約ヲ締結シ得ケレハナリ去レトモ共同所有者間ニハ決シテ法律上斯カル關係ヲ有セサルモノナレハ特ニ委任ナキ限リハ共同所有者ノ一人ハ他ノ共同所有者ノ爲メニ保險シ得サルナリ夫ノ船舶ノ如キハ多クハ共同所有ニ屬スルモノニシテ而シテ共同所有者ハ他ノ總共同所有者ノ委任ナキ以上ハ一同ノ爲メニ保險ヲ取結ヒ得ヘキニアラサルナリ

### (第三) 追認ノ場合

追認トハ委任ヲ受ケスシテ自カラ代理人ナリト稱シ取結ヒタル契約ニ對シ其ノ所謂本人ニ於テ該契約ノ事實及ヒ情況ヲ明知シ後日該契約ヲ認諾スルヲ云フナリ而シテ一旦契約ヲ追認シタル以上ハ其締結ノ當時ヨリシテ代理セシメタリト見做スヘキモノナリ

我商法第六百二十八條ハ「保險ハ自己ノ計算ヲ以テスルト他人ノ計算ヲ以テスルトヲ問ハス又被保險者ノ委託ヲ受ケタルト否ト被保險者ノ豫知スルト否ト被保險者ヲ明示スルト否トヲ問ハス之ヲ受クルコトヲ得契約ニ依リテ他人ノ利益カ

知レサルトキハ保險申込人ハ保險者ニ對シテ被保險者ト看做サルト規定セリ抑モ被保險者カ自己ノ計算及ヒ名義ヲ以テ保險ヲ受ケ又他人ノ計算ヲ以テスルモ被保險者ノ委任ヲ受ケテ之ヲ爲スヲ得ルハ普通一般ノ規則ナレハ固ヨリ深ク論究スルヲ要セス只タ他人カ被保險者ノ委任ヲ受ケス被保險者ノ豫知セサルトキ被保險者ノ何人タルヲ明示セスシテ被保險者ノ爲メニ保險ヲ締結スルヲ得ルト云フノ點ハ普通規則トハ多少特別ナルノ觀アルヲ以テ少シク研究セサル可ラス何トナレハ普通代理ノ規定ニ依ランカ他人ノ委任ヲ受ケサル者ハ他人ノ爲メニ契約ヲ取結フコトヲ得サレハナリ

本條ニ依レハ何人タルヲ論セス他人ノ爲メニ契約ヲ取結ヒタルモノ、如ク記載セルモ實際上決シテ斯ノ如ク無制限ノモノニアラス實際之ヲ爲スモノハ必スヤ多少被保險物ニ關係ヲ有スルモノニアラスハ能ハサルナリ今其一二ノ例ヲ舉グレハ夫ノ通常仲買人ト稱スル一箇ノ營業者カ賣捌ノ爲メ荷主ヨリ商品ノ委託ヲ受ケタルニ方リ其商品ニシテ一朝火災ノ爲メニ燒失センカ其火災ノ原因タル仲買人ノ過失ニアラスハ荷主ノ損害ニ歸スヘシ是故ニ仲買人ハ之レカ損害ヲ

防禦スルカ爲メニ荷主ノ計算ヲ以テ荷主ノ爲メニ火災保險ニ附スルコトアリ又  
 賣買契約成立ノ後未タ其物品ヲ引渡サ、ルニ方リ賣主ハ買主ノ爲メニ其賣却シ  
 タル物品ニ付テ保險ヲ受ケ其他番頭ニシテ主人ノ貨物ニ對シ主人ノ爲メニ契約  
 ナ爲スコトアリ而シテ如此契約ハ特ニ荷主買主又ハ主人ヨリシテ保險ノ委任ヲ  
 受ケタルトキハ勿論縱令委任ナシト雖モ之ヲ取結フヲ得ヘキナリ是即チ申込人  
 ハ他人ノ計算ニテ他人ノ保險料ヲ以テ保險ヲ結ヒ得ルモノトス而シテ其保險金  
 ハ素ヨリ他人ナル本人ニ歸スヘキモノニシテ保險申込人ハ唯其代理ヲ爲シタル  
 ニ過キサルナリ然ラハ何カ故ニ斯ノ如キ規定ヲ設ケタルヤト云フニ他ナシ元來  
 商業ナルモノハ迅速ノ取引ヲ尊ヒ一髮ノ機ヲ過クルト雖モ爲メニ巨萬ノ財寶ノ  
 得喪ニ關スルカ故ニ場合ニ依リテハ本人ニ對シテ特別ノ委任ヲ受クルノ猶豫ナ  
 ケレハナリ加之歐米ノ商人ハ常ニ商品ニ對シ保險ヲ締結セサルハナシ現ニ在橫  
 濱ノ歐米人カ格別價額ナキ物品ニ至ルマテ悉ク保險ニ附スルヲ見ルモ亦之ヲ知  
 ル可シ故ニ歐米諸國ニ於テハ商人ハ概ネ皆保險ヲ希望スル者ト推測スルヲ得從  
 テ本條ノ如キ規則ノ諸國ニ存スル所以ナリ惟フニ我立法者ハ我日本人モ亦歐米

人ノ如ク保險ヲ希望スルモノト揣摩シテ斯ノ如キ規定ヲ設ケタルモノナルヘシ  
 然レトモ我日本人ハ果シテ斯ノ如キ慣習ヲ有スルヤ果シテ斯ノ如キ希望ヲ抱ク  
 ヤ是立法者ノ大ニ注目スヘキ點ナリトス

茲ニ最モ注意ヲ要スヘキ一ノ問題アリ被保險者ノ委任ヲ受ケスシテ保險ヲ受ケ  
 タルニ被保險者ハ之ヲ追認セサルトキハ該契約ハ被保險者ニ對シテ効力アルヘ  
 キヤノ問題はナリ今本條ニ依レハ効力アリト謂ハサルヲ得サルカ如シ然レトモ  
 是レ法文ノ不備ニシテ決シテ如斯解釋スヘキニアラス何トナレハ若シ斯ノ如ク  
 解釋スルトキハ實ニ社會ヲ害スルノミナラス法理ヲ擾乱スルモノナレハナリ果  
 シテ然ラハ則チ本條ノ規定ハ普通一般ノ規定ニシテ毫モ特別ナル規定ニアラサ  
 ルナリ只文章ノ宜シキヲ得サルカ爲メニ特別ナル規定ノ如キ觀ヲ爲スノミ  
 又本條第二項ノ規定ニ曰ク契約ニ依リテ他人ノ利益カ知レサルトキハ保險申込  
 人ハ保險者ニ對シテ被保險者ト見做サルト即チ其保險ハ何人ノ爲メニ取結ハレ  
 タルヤヲ判知シ得サルトキ又ハ他人ノ被保險利益カ知レサルトキハ保險申込人  
 其者ヲ以テ被保險者ト見做スモノニシテ從テ保險料ヲモ負擔セシムルノ結果ヲ

來タスモノナリ是故ニ保險申込人タルモノハ其保險タル荷主若クハ所有主ナル  
 何某ノ爲メニストノ記入ヲ爲スヲ以テ通常トス然ラスンハ申込人自身ニ於テ契  
 約上ノ責務ヲ負擔スルニ至ルヘキナリ而シテ此場合ニ於テ保險申込人カ自ラ被  
 保險利益ヲ有セサルトキハ其保險ハ全ク無効タルヘキモノトス

又我商法第六百四十四條ノ規定ニ曰ク保險契約ハ各當事者ニ於テ仲買人ヲ以テ  
 モ之ヲ取結フコトヲ得ト茲ニ所謂仲買人トハ保險仲買人ト稱スルモノニシテ他  
 人ノ依頼ニヨリ他人ノ爲メニ保險ヲ締結スルヲ常務トスルモノナレハ之ニ委任  
 シテ取結ハシメ得ヘキハ素ヨリ明瞭アリサレトモ今日我邦ニ於テハ未タ保險仲  
 買人ナルモノヲ見ス依テ余ハ歐米各國ニ於ケル仲買人ニ付テ論センニ元來歐米  
 各國ニ在リテハ被保險者ハ場合ニヨリ非常ノ價格ニ對シ保險契約ヲ取結セサル  
 ヲ得サルコトアリ非常ノ多額ニ付テ保險スルカ故ニ縱令一ノ保險者ト結約スル  
 モ果シテ至常ノ保險金ヲ賠償セシメ得ルヤ否ヤ其資力上大ニ不安心ナルコトア  
 リ斯カルトキハ甲保險會社乙保險會社丙保險會社等幾人ニ對シテモ之ヲ取結ヒ  
 テ其約束履行ノ安全ヲ計ルモノナリ去レトモ保險ナルモノハ緩慢ニ附スヘキモ

ノニアラスシテ多クハ咄嗟ノ間ニ成立セシムヘキ必要アルモノナルヲ以テ其保  
 險會社ニ於テハ果シテ何程ノ資産ヲ有スルヤ否ヤハ一朝探知シ得ヘキニアラス  
 是ニ於テカ遂ニ保險仲買人ナルモノヲ生スルニ至レルナリ而シテ保險者及ヒ被  
 保險者ハ何レモ之ニ委任シテ契約ヲ取結フコトヲ得ルモノナリ蓋シ本邦ニ於ケ  
 ルモ亦自カラ歐米ト同一ノ結果ヲ生スルニ至ルヘシ歐米各國ニ於テハ現今ニテ  
 ハ仲買人ト保險者並ニ被保險者トノ間ニ自ラ一定ノ慣習ヲ生シ普通ノ規則ヲ以  
 テ規定スル能ハサルコトナレリ  
 翻テ我邦ノ今日ヲ觀察スルニ保險事業タル日猶ホ淺ク未タ特別慣習見ルヘキ  
 モノナケレハ仲買人ト保險者並ニ被保險者ノ權利義務ハ素ヨリ普通ノ規則並ニ  
 慣習ニ依リテ斷定スヘキモノトス元來仲買人ナルモノハ契約法上自己ノ名義ヲ  
 以テ保險契約ヲ締結スルモノニシテ已ニ仲買人自身ノ名義ヲ以テ結約スルモノ  
 ナル以上ハ從テ又自身ニ於テ保險料ヲ支拂ハサルヘカラス何トナレハ保險者ハ  
 仲買人ヲ知ルノミニシテ被保險者ヲ知ルニアラサレハ保險者ハ仲買人ニ對シテ  
 保險料ヲ請求シ又仲買人ハ被保險者ニ對シテ之ヲ請求スヘキモノニシテ仲買人

タルモノハ只單ニ代人タルノミナラス亦タ本人ナルヲ以テナリ加之仲買人ハ保險契約ヲ有効ナラシムル總テノ條件アラハ必ス之ヲ掲載スヘキ責任ヲ負フモノナリ且ツ又仲買人ナルモノハ本人ヨリシテ指圖若クハ委託ヲ受クレハ勿論ナレトモ指圖ナキトキト雖モ尙ホ通常ノ事ハ爲シ得ヘキモノナリ

保險營業者カ其取引場ヨリ他ノ地ニ置キタル代辦人又ハ外國保險營業者ノ内國ニ置キタル代辦人ハ被保險人ニ對シ契約ノ取結陳述ノ承諾保險料ノ受取被保險額ノ支拂其他總テ保險者ノ代理ヲ爲ス權ヲ有スルモノト看做サル但シ其代辦人カ被保險者ニ反對ヲ述ヘタルトキハ此限ニ在ラス(第六百四十五條)

### 危險

#### 第六章 危險

危險ノ詳細ナル事柄ニ關シテハ各論ノ講義ニ入り各種ノ保險ノ下ニ於テ各別ニ論述スヘキヲ以テ本章ニ於テハ專ラ危險ノ一般ニ付キ講述セント欲ス我商法第六百二十六條ハ此危險ノ一般ヲ規定セルモノナレハ余ハ先ツ該條ニ依リ第一ニ條文ノ意義ヲ説明シ第二ニ條文ノ批評ヲ爲シ第三ニ危險ノ性質及危險ノ繼續時間ヲ講述シ以テ本章ヲ終ラントス今其第六百二十六條ヲ舉シレハ左ノ如シ

保險スルコトヲ得ヘキ危險ハ主トシテ火災地震暴風雨其他ノ天災陸海運送ノ危險死亡及ヒ身體上ノ災害ナリ然レトモ其他ノ危險ニ對スル保險ハ此カ爲メニ妨ケラルコト無シ

海上運送ノ保險ハ第二篇ノ規定ニ抵觸セサルモノニ限リ本章ノ規定ニ從フ保險ハ別段ノ契約アルニ非サレハ保險料支拂期間ニ生スル諸般ノ危險殊ニ相次テ生スル危險ニ及フモノトス然レトモ保險者ハ如何ナル事情アルモ被保險額ヲ超エテ賠償ヲ爲スコトヲ要セス

(第一) 本條第一項ハ危險ノ數多ノ種類中其重ナルモノヲ掲ケタルニ過キス故此他ニ屬スル危險ト雖モ尙ホ之レニ付キ保險契約ヲ締結シ得ヘキハ勿論ナリ

火災地震ハ多クハ建物貨物諸道具ニ對スル危險ニシテ暴風雨ハ專ラ農産物並ニ建物ニ對スルモノトス其他ノ天災トハ早魃又ハ雹害ノ如キモノニシテ人爲ヨリ生スル災害ニアラサルモノヲ謂フ陸海運送ノ危險トハ運送中ノ物品ニ對シテ生スルコトアル可キ總テノ不慮ノ災難ヲ云フ例之ハ火災盜難等ノ危險ノ如シ且陸上運送中ニハ陸内ノ水上即河川堀割及湖水等ニ於ケル運送ヲモ包含スルモノト



ス而シテ身体上ノ災害トハ死亡疾病又ハ創傷ノ類ヲ云フ  
 第二項ノ規定ヲ設ケタルハ海上保險ハ大体ニ於テハ保險ノ普通原則ニ依ルヘキ  
 モノナルモ海損委棄等ノ點ニ於テ普通ノ規則ヲ以テ支配スルヲ得サルモノアル  
 ニ依ルナリ

第三項ハ保險料支拂期間ニ幾回モ危険ノ生シタル場合ニ於テ保險効力ノ及フヘ  
 キ範圍ヲ規定シタルモノニシテ例ヘハ今我家屋ヲ十年間保險ニ付シ一ケ年毎ニ  
 保險料ヲ支拂フヘキ契約ヲ取結ヒタルトキハ余ハ一年毎ニ之ヲ支拂ハサル可ラ  
 ス此ノ一ケ年ノ期間ヲ稱シテ保險料支拂期間ト云フ今假リニ我家屋ノ被保險額  
 ナ一千圓ト爲シ而シテ第一回ノ保險料支拂期間ニ此家屋全ク燒失シタリト爲ス  
 トキハ余ハ被保險額一千圓ヲ得テ保險契約ハ茲ニ消滅スト雖モ若シ保險料支拂  
 期間中ニ數回ノ災難アリテ損害ヲ生シタルトキハ余ハ其數回ノ損害賠償ヲ請求  
 スルヲ得可シ然レトモ保險料支拂期間中數度ノ危険起リテ一千圓以上ノ損害ヲ  
 醸スモ保險者ハ被保險全額一千圓ヲ支拂フ義務アルニ止マリ之ヲ超過スル金  
 額ヲ支拂フノ責ナシ既ニ被保險全額ヲ支拂フニ至リタルトキハ縱令其後保險料

支拂期間内ニ損害ヲ生スルモ保險契約ハ既ニ消滅シタルヲ以テ保險人ハ之ヲ賠  
 償スルノ義務ナシ此事タル縱令特別ノ契約ヲ取結フモ其他如何ナル事情アルモ  
 同一ナリトス是即チ如何ナル事情アルモ被保險額ヲ超エテ賠償ヲ爲スコトヲ要  
 セストノ規定アル所以ナリ

(第二) 今ヤ條文ノ意義ニ付キ講了セルヲ以テ進ンテ之レカ批評ヲ試ム可シ凡ソ  
 法典ナルモノハ總括式ノ文体ヲ用ユヘキモノニシテ支別式ナラサルヲ可トス若  
 シ夫レ法典ニシテ支別式ノ文体ヲ用フ各種ノ事々物々ヲ指摘シテ規定スルニ至  
 リテハ當ニ其文体ヲ得サルノミナラス其弊害モ亦少カラサルヘシ何トナレハ支  
 別式ノ規定ハ一見スレハ周到緻密ナルカ如シト雖モ之レヲ實際ニ適用スルニ至  
 リテハ諸多ノ缺點ヲ生スレハナリ今本條ヲ見ルニ實ニ危険ノ種類ヲ指摘シテ規  
 定セリ是豈ニ此弊害ニ陷ルモノニアラスヤ此事タル當ニ本法ノミナラス民法ニ  
 至リテモ亦タ往々見ル所ニシテ余ハ敢テ立案者ノ意ノアル所ヲ問ハント欲スル  
 モノナリ余ノ見ル所ニ依レハ此ノ如キ例解ハ法典註解者其他講法家ノ爲スヘキ  
 コトニシテ立法者ノ採ルヘキコトニアラスト信ス殊ニ法文中主トシテ云々ノ文

字ニ至リテハ秋毫モ意味ヲ爲サスト云フモ誣言ニアラサルナリ若シ夫レ之レヲシモ意味アル如ク解センカ極メテ不當ノ規定トナルヲ如何セン即チ若シ之レヲ以テ意味アルモノトセハ保險スルコトヲ得ル危險ニハ主從ノ別アルモノト云ハサルヲ得ス然レトモ保險スルコトヲ得ル危險ニ主從ノ別アルヘカラサルハ自明ナルコトニシテ如何ニ幼學ノ者ト雖モ服サ、ル所ナリ然ラハ本條ノ所謂主トシテトハ重ナルノ意ナリト云ハシカ之レ或ハ立法者ノ精神ナルヘシト雖モ本條ニ列擧スル危險ハ特ニ貴重ノモノニシテ之ニ列擧セサルモノハ輕易ノモノナルノ理ナシ故ニ主トシテノ文字ハ通常人ノ多ク保險ニ付スルモノト解釋セサル可ラズ然レトモ人ノ通常多ク保險ニ付スルモノト付セサルモノトチ法文上區別スルハ果シテ何等ノ益カアル余ハ斯ノ如キコトハ講法家ノ學生ニ對シテ講スヘキコトニシテ法典ノ關係スヘキモノニアラサルヲ信スルモノナリ

又本條第一項中然レトモ以下ハ全ク無用ノ法文トス何トナレハ前段ハ單ニ危險ノ重モナルモノヲ掲ケシニ過キサルヲ以テ此外尙他ニ諸多ノ危險アルヘキコトハ自ラ明瞭ナル事柄ニシテ別ニ喋々ヲ要セサル可ケレハナリ今本文ヲ換言スレハ

火災地震暴風雨等ノ危險ハ保險スルコトヲ得ヘキ危險ノ一ナリ然レトモ火災地震暴風雨等ノ外ニ尙ホ保險スルコトヲ得ヘキ危險アリト云フニ外ナラス重複モ亦甚シト謂フヘシ

此二項何故ニ海上運送ノ保險ヲ商法第二編ニ規定シタルヤト云フニ海上運送ノ保險ニ關スル事柄ハ其他ノ保險ト異ル所アルヲ以テ從テ特別ノ規定ヲ要ストハ立法者ノ理由ナリ夫レ然リ海上運送ニ關スル保險ノ特別ノ規定ヲ要スルハ實ニ立法者ノ言ノ如シ然リト雖モ之レヲ以テ第二編中ニ編入スヘシトスルニ至リテハ余輩ハ其說ニ服スルヲ得ス元來海上運送ニ關スル保險ト雖モ一ノ保險ニ過キサレハ余ハ保險ナル題目中即第一編第十一章中ニ節ヲ分テ規定スルヲ以テ適當ト思考ス若シ夫レ特別ノ規定ヲ要スルヲ以テ排列ノ章ヲ變更セリトセハ生命保險運送保險等ニ付テモ同一ナリト謂ハサル可ラス然ルニ是レヲ措キ彼レヲ取ル所以ノモノハ何ソヤ彼ノ英米及歐洲大陸ノ多クノ國ニ於テハ海上法ナル名目アリテ保險ナル題目アラサルカ故ニ海上保險ヲ海上法中ニ編入セシト雖モ之レヲ以テ之カ理由ト爲スハ蓋シ誤謬ニ陥リタルモノト云ハサルヲ得ス何トナレハ本

法ニ於テハ特ニ保險ノ一章ヲ設ケタレハ海上保險ト雖モ等シク保險ノ一種ニ過  
 キサレハ此中ニ編入スルヲ以テ其排列ノ當ヲ得タルモノナレハナリ  
 尙第三項ニ入り少シク述フヘキハ保險料支拂期間ナル文字是ナリ此保險料支拂  
 期間ハ既ニ説明スルカ如ク保險料支拂ノ期間ナリト解釋セサルヲ得ス若シ果シ  
 テ然リトセハ頗ル不當ノ規則ナリト謂フ可シ試ニ一例ヲ舉テ之ヲ説明センニ余  
 ハ一ケ年間一百圓ノ保險料ニテ我家屋ヲ保險ニ付シ保險料ヲ四分シテ各分ヲ三  
 ケ月毎ニ拂入ル、ノ契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テ第一回ノ拂入期間中ニ一部ノ  
 損害ヲ受ケタルトキハ保險契約ハ消滅シテ第二回ノ期間中ノ損害ハ賠償ヲ求ム  
 ルコトヲ得サルノ結果即チ保險料支拂期間ヲ以テ保險期間ト見做ス、ハ、不、理、ヲ、生、  
 ス、ハ、ニ、至、ル、ハ、シ、故、ニ、此、保、險、料、支、拂、期、間、ナ、ル、意、義、ハ、保、險、期、日、ヲ、指、ス、モ、ノ、ト、解、釋、ス、  
 ル、ヲ、以、テ、條、理、ニ、適、ス、ル、モ、ノ、ニ、シ、テ、余、ハ、敢、テ、之、ヲ、採、ラ、ン、ト、欲、ス、ル、モ、ノ、ナ、リ、然、レ、ト  
 モ場合ニヨリテハ保險期間ト保險料支拂期間トハ同一ノモノニシテ支拂期間ノ  
 二回以上アルハ保險期間ノ二回以上アル場合ニシテ即二箇以上ノ保險ノ存在ス  
 ル場合ナルコトアルヲ知ラサル可ラス

(第三) 是レヨリ危險ノ性質及危險ノ繼續時間ニ付キ講述セントス  
 凡リ保險スルヨリ得ル危險ハ其ノ種類極メテ巨多ニシテ固ヨリ枚舉スルヲ得  
 スト雖モ要スルニ左ノ性質ヲ具備スルモノナラサルヘカラス  
 第一 被保險者ノ身体又ハ財産ニ損害ヲ及ホスヘキモノナラサルヘカラス  
 第二 其發生ノ確定セサルカ或ハ豫知シ得ヘカラサルモノナラサルヘカラス  
 第三 被保險者ノ故意ノ所爲ニ基カサルモノナルヲ要ス  
 第四 其發生ノ概數ハ統計(Statistics)即確固タル調査ヲ以テ知ルヲ得ヘキモノ  
 ナラサルヘカラス  
 以上ノ條件ニ該當スル性質ノ危險ナルニ於テハ如何ナルモノト雖モ皆ナ保險シ  
 得ヘキ危險ニ屬ス然レトモ第四ノ條件ハ常ニ必要ト云フニアラスシテ通常然リ  
 ト云フニ過キス元來保險ナルモノハ偶然ノ事爲ニ依リ輸贏ヲ決スル如シト雖モ  
 其實決シテ然ラス危險發生ノ度數ト發生セサル度數トチ平均シテ之レカ保險料  
 ハ危險ヨリ生スル損失ヲ補償スルヲ得ルノ計算ニヨリ始メテ締結スルヲ得ルモ  
 ノタリ去レハ本邦ニ於テ火災保險ノ業未タ其盛大ヲ見ルニ至ラサル所以ヲモ

モ亦一ハ此確固タル統計ヲ得サルニ歸因セリ是レ實際上危險發生ノ平均數ヲ知  
 リ得ヘキモノナルコトヲ要スル所以ナリ  
 次ニ危險ノ繼續時間ニ付キ説明セシニ此危險ノ繼續時間ヲ定ムルコトタル保險  
 法上大ニ必要ナル事項トス何トナレハ此危險ノ繼續中ナルヤ否ヤハ保險人ノ損  
 失ヲ賠償スルノ責アルヤ否ヤヲ定ムルニ必要ノモノナレハナリ  
 扱テ此危險ノ繼續ヲ定ムルコトタルヤ以上述フルカ如キ必要ノ存スルモノナル  
 ナリテ多シハ結約ノ際ニ於テ其繼續ヲ取極ムル者ナレトモ若シ此明約ナキトキ  
 ハ結約當時ノ情況ヨリ推測スヘキモノニシテ通例契約ヲ取結ヒタル時ヨリ危險ハ  
 始マルモノトス又當事者ハ明約ヲ以テ保險シタル危險ヲシテ結約以前ニ溯ラシ  
 ムルコトヲ得ヘシト雖モ此場合ヲ以テ有効ナラシメシニハ當事者ハ結約ノ當時  
 其危險ノ發生シタルヤ否ヤ毫モ之ヲ知ラサルヲ要ス(商法第六百三十六條)  
 以上説明スルカ如ク危險ノ繼續ニ關シテハ法律上明確ナル標準ノ存スルモフア  
 ル如シト雖モ實際ノ事實ニ就テハ實ニ難問ヲ生スルコト少カラズ例セハ火災保  
 險ノ場合ニ於テ保險ノ危險繼續期間中ニ出火シ漸次猛勢ヲ逞フシ其期間經過後

トモハ  
 一トモ

ニ至リ全ク家屋ノ燒燬シタル時ノ如キ保險人ノ責任ヲ定ムルハ實ニ容易ナラサ  
 ル問題トス英國ノ斷例ニ於テアローゼット氏云ヘルコトアリ此ノ如キ場合ニ於テ  
 ハ火災ノ發生セル時ヲ以テ已ニ損害ノ生シタルモノト認ムルヲ以テ保險人ハ賠  
 償ノ責ヲ免カル、ヲ得スト然レトモ此場合ノ論鋒ヲ以テ直ニ萬般ノ場合ニ及ホ  
 スコトヲ得サルコトアリ例セハ生命保險ニ於テ甲者カ重傷ヲ負ヒタルハ危險繼  
 續中ナリシカ其死亡ヲ來セシハ危險ノ繼續期間經過ノ後數旬ナルトキハ保險人  
 ハ常ニ其責ニ任セサル可ラスト論スルヲ得サル可シ之ヲ要スルニ損害又ハ死亡  
 ハ保險ニ付シタル危險ノ繼續期間中ニ生シタルモノト視做スヘキヤ否ヤノ一點  
 ニ由テ定マルモノトス  
 又場所ヲ定ムルコトモ保險法上重要ナル關係ヲ有スルモノトス例ヘハ或ル一定  
 ノ家屋ニ存在セル所ノ物件ヲ火災保險ニ付シタル場合ニ於テ若シ其ノ物品ヲ他  
 所ニ持チ行キ他所ニ於テ火災ノ爲メニ燒失シタリシトキノ如キハ保險人ハ之レ  
 ニ對シテ賠償ノ責ナキナリ然レトモ結約當時ノ情況ヨリシテ保險人カ擔保セシ  
 範圍内ニ屬スルモノナルトキハ場所ニ付テノ解釋モ從テ廣義ニ亘ルコトアリ即

予彼ノ運送スヘキ物品ヲ火災保險ニ付シタルトキノ如キ是ナリ

第七章 擔保陳示及ヒ默秘  
第二節 擔保

我商法保險法ニハ別ニ擔保ニ付テ規定スルモノナシト雖モ保險法上ノ擔保即請合ナルモノハ通常契約ノ所謂請合トハ稍々異リタル性質及ヒ効力ヲ有スルヲ以テ茲ニ少シク講述セントス凡ソ保險契約ハ或事實ノ有無ヲ確保シテ其契約ニ或ル條件ヲ附ケ取結フコトアリ而シテ此ノ如キ確保カ契約ノ一部ヲ爲ストキハ之レヲ稱シテ擔保即請合ト云フ英法ノ所謂(Warranty)是レナリ被保險人ハ請合ニ依リ自己ノ爲シタル陳述ヲ絶体的ニ眞實ナルコトヲ保シ且少嚴格ニ之レヲ遵守スヘキコトヲ約スルモノナリ故ニ其ノ陳述ニシテ苟シクモ虛偽ナル點アルカ或ハ約定シタルコトヲ嚴格ニ守ラサルトキハ損失賠償ヲ求ムルノ權利ヲ失フヘシ被保險人カ擔保シタル事柄ノ果シテ保險ニ重要ナル關係ヲ有スルヤ否ヤ其ノ擔保ヲ破リタルハ被保險人ノ詐欺錯誤又ハ懈怠等ニ出テタルヤ否ヤ又ハ法律ノ干渉若シクハ天帝ノ所爲ニ出テタルヤ否ヤハ毫モ問フテ要セサルモノトス

反之陳示ハ其ノ契約ニ重要ナル關係ヲ有スルヤ否ニ依リテ効力ヲ生スルト生セサルトノ區別ヲ生スルモノナレハ保險法上陳示ト擔保トハ明ニ判別シテ混合セサルコトヲ要ス  
英米ノ法律ニ依レハ保險證言ニ記載シタルモノハ單一ノ陳示ト認ムルヨリモ寧ロ擔保ト解スヘキモノナリトノ規則アルモ固ヨリ直ニ採テ以テ我法規ト爲スヲ得ス何トナレハ保險證書ノ作爲ニ付キ英米ト我邦トハ其趣キヲ異ニスレハナリ必竟スルニ我邦ノ新法ニ於テハ單ニ契約者ノ意思ニ依リ兩者ヲ區別スルノ外ナキナリ即被保險者ノ意思ニシテ或事柄ノ嚴格ニ眞實ナルコトヲ以テ保險契約ノ効力ヲ生セシムルニ在ルトキハ其事柄ヲ以テ請合ノ事項ト認定セサル可ラサルナリ

保險法上ノ擔保ハ分テ二種トスルコトヲ得即チ第一實定擔保第二約定擔保是ナリ實定擔保トハ或ル格段ナル事柄カ現存スルコトヲ陳述スルヲ云フモノニシテ約定擔保トハ現存スル事柄ヲ陳述スルニ非スシテ保險契約ノ効力繼續中或ル事柄ヲ爲シ又ハ爲サルコトヲ約束スルモノヲ云フ然レトモ二者ノ効力間ニハ毫モ

區別ナシトス

第二節 陳示

抑モ陳示ハ契約ノ基因スル陳述ニシテ締約者ハ其陳述ヲ信用シテ以テ契約ヲ締結スルモノナレハ其陳示ノ事柄カ契約ニ重要ナル關係ヲ有セザルトキハ契約ニ毫モ影響ヲ及ホサ、ルモ其陳述ノ事柄カ契約ニ重要ナル關係ヲ有スル場合ニ於テハ其事柄ニ不實ノ點アルトキハ陳示者ノ善意若クハ惡意ニテ之ヲ爲シタルヲ問ハズ對手人ハ其契約ヲ解除スルノ權利ヲ有スルモノトス(第六百五十三條)

陳示モ擔保ト同シク是レヲ二種ニ分テ實定陳示及約定陳示トナスヲ得ヘシ是レ英米法律ニ於テ專ラ採用スル所ナリ而シテ前者ハ或ル格段ナル現實ノ事柄ヲ確言スルモノニシテ後者ハ契約繼續中ニ生スル事柄ニ干スルモノトス

今ヤ陳示ト擔保トノ區別ヲ明カニシ吾人ノ研究ヲ精密ナラシムルノ時期ニ到達セリ依テ之カ區別ヲ舉ケレハ即左ノ如シ

(第一) 擔保ハ契約ノ一部ヲ組成スル所ノ合意ナルモ陳示ハ單ニ契約ノ基因スル所ノ陳述ナリ即チ擔保ハ契約其物ノ一部分ヲ組成シ格段ナル條件トナリ保險

人ノ負擔スル義務ヲ制限ス故ニ保險人ハ此制限ノ範圍内ニ於テ辨償ノ義務ヲ負フモノナリ然ルニ陳示ハ之レト異リ性質上契約ノ一部ヲ爲サズ單ニ契約其物ノ基礎ヲ爲シ保險人ハ其陳述ヲ信シ契約スルモノナリ擔保モ陳示モ共ニ現在若クハ將來ニ於ケル事實ノ有無ニ關スルモ前者ハ殊ニ其事實ノ有無ヲ約シ後者ハ單ニ契約ノ原由ヲ陳述スルニ止マルモノトス

(第二) 陳示ハ悉ク其陳述ト事實ト符合スルヲ要セスシテ只重要ノ部分ニ於テ實質上ノ符合アレハ充分ナリ而シテ是レカ解釋ハ嚴格ナラス反之擔保ハ必ス語詞上ノ符合ヲ要スルモノニシテ而シテ其解釋最モ嚴格ナリトス

例セハ或ル船舶ニ十二個ノ砲門及二十人ノ乗込員アリト云フコトカ擔保ナルトキハ必ス十二個ノ砲門ト二十人ノ乗込員ヲ具備スルヲ要ス故ニ若シ其内砲門ノ一個又ハ人員ノ一人ニテモ増減アルトキハ其擔保ハ最早破レタルモノトス之ニ反シ此ノ如キコトカ陳述ナルトキハ縱令多少ノ缺乏アルモ他ニ之ヲ補足スルモノアリテ實力ト便宜ノ點ニ於テ毫モ之ニ讓ラザルトキハ其陳示ヲ以テ虛偽ナリト爲シ契約ヲ解除スルヲ得ス

(第三) 陳示ハ其事柄カ契約ニ重要ナルヤ否ヤニ依リ効力上ニ大ナル區別ヲ生スルモ反之擔保ハ其事柄ノ緊要如何ヲ問ハスシテ何レノ場合ニ於テモ効力ヲ生スルモノトス

以上ヲ以テ擔保ト陳示トノ顯著ナル差點トス  
陳示ノ場合ニ於テハ其陳述ノ事柄カ契約ニ重要ナル關係ヲ有スルヤ否ヤヲ討究スルノ必要アルコトハ前屢々講述セシ所ナリ此事タル當ニ陳示ノ場合ノミナラス黙秘ノ場合ニ於テモ亦等シク必要ナリトス然ラハ其事柄ノ重要如何ヲ識別スル方法如何ト云フニ若シ其陳述セル事柄ノ不實ナルコトヲ知リシナラハ保險人ハ契約ヲ締結セザリシナラント思料スルヲ得ヘキトキカ又ハ縱令ヒ契約ヲ取結フヘキモ之ニ相違スル約款例ハ尙ホ多額ノ保險料ヲ要シタリシナラント思料スルヲ得ヘキトキハ凡テ契約ニ必要ナル關係ヲ有スルモノトス而シテ如何ナル事柄カ果シテ此場合ニ適合スルモノナルカハ其時ノ情況ニ依リ推知スル外ナキナリ已ニ其事柄カ重要ノモノナルニ於テハ其事柄ノ保險契約ニ直接ナルト將ダ間接ナルトハ問フヲ要セザルナリ即陳示ハ事柄ハ契約上直接ニ屬スル事柄タル

ト被保險人ノ職業上又ハ資産上ニ屬スル事柄タルトヲ問ハス苟クモ前述ノ推測ヲ惹起スニ足ルヘキトキハ之ヲ以テ契約ニ重要ナル關係ヲ有スルモノト認ムヘキナリ

黙秘

第三節 黙秘

元來保險契約ハ通常契約ト異リ最上ノ眞實ヲ要スルモノナレハ陳示又ハ黙秘ノ契約ニ影響スル程度モ順テ通常契約ニ比スレハ大ナルモノトス  
抑々陳示ハ當ニ眞實ナラサルヘカラサルノミニ止マラス復タ完全タルヲ要スルモノトス即保險人ハ或ル事柄ニ付完全ノ眞實ヲ知ルノ權利アリ而シテ被保險人ハ其事柄ノ全般ヲ告クルノ義務アルモノトス故ニ若シ保險契約ニ緊要ナル事物ニシテ被保險人カ只其一分ヲ告クルニ止マリテ陳述ニ欠缺スル所アルトキハ保險人ハ是レヲ理由トシ契約ヲ解除スルコトヲ得ヘシ此ノ如ク陳述ヲ缺クコトヲ稱シテ保險法上黙秘ト言フ約言スレハ黙秘トハ被保險人カ保險人ニ對シ眞實ヲ告ケサルヘカラサル義務アル事柄ヲ默シテ告ケサルヲ云フ  
然レトモ保險人カ已ニ知得セシ事柄又ハ保險人カ知ラサルヘカラサル事柄ヲ默

シテ告ケサルモ契約ニハ何等ノ影響ヲ生セサルモノトス是レ其事柄タル保險人ハ已ニ知リタルモノト認ムルヲ以テ故テニ被保險人カ陳述スルヲ要セサレハナリ又タ危險ノ減少スル事柄ニ付テ隱蔽スル所アルモ等シク契約ニハ影響スル所ナシ何トナレハ危險ハ此場合ニ於テハ却テ減少スルモノナレハ保險人ハ之ヲ知リシナラハ結約セサリシナラントノ推測ヲ下スコト能ハス換言スレハ危險ヲ増加スル所ノモノニアラサレハ契約ニ重要ナルモノニアラサルナリ然レトモ是只特約若シクハ特別ノ質問ナキ場合ニ付テ云フ可キノミ若シ之ニ關シ特約又ハ特別ノ質問アルトキニ之ヲ隱蔽スルコトアラハ所謂黙秘ト稱スヘキモノナレハ契約ハ之カ爲メニ取消ニ付セラル可キナリ

元來保險者ハ保險事業ニ熟達シ既ニ公然タル政治上ノ事柄並ニ其他一般ノ事柄ヲ了知スルモノト推測セラル可キモノナレハ斯ノ如キ事柄ニ付テハ被保險人ハ之レニ告グルヲ要セス又一方ニ於テハ被保險人ハ通常ノ知識ヲ具備スルモノト見做サル可キモノナレハ通常ノ人ノ判斷ニ依リテ重要ナリト爲ス所ノ事柄ニシテ以上ノ例外ヲ爲サズルモノハ之ヲ保險者ニ通知セサル可ラス若シ之ヲ隱蔽シテ

陳示セサルトキハ黙秘トナル可シ

抑々黙秘及陳示ノ規則ノ適用ニ付テハ海上保險、生命保險、火災保險並ニ其他ノ保險ノ間ニ於テ多少緩嚴ノ差違ナキ能ハス何トナレハ各保險ノ性質多少相異ル所アルヲ以テ保險人カ契約ニ關係アル事柄ヲ知得スルニ多少難易ノ差違アルヘキヲ以テナリ彼ノ海上保險ノ如キハ多クハ被保險人獨リ能ク是レヲ知ルノミ詳言スレハ保險ヲ取結フ當時船舶ハ率テ航行中ニアルモノナレハ保險人ニ於テ是レヲ實見スルコト稀ナレハ是レカ構造、乗込員等ノ事柄ハ勢ヒ被保險人ノ陳述ニ一任スルノ外ナシト雖モ火災保險ノ如キニ至テハ保險人ハ自ラ保險ノ目的物ヲ檢査スルヲ得ルノミナラス通常自ラ檢査ヲ爲スモノナレハ強ク被保險人ノ陳述ノミニ依頼スルヲ要セス故ニ海上保險ニハ黙秘ノ原則ヲ適用スルコト最モ嚴ニシテ生命保險之ニ次キ火災其他ノ保險ニ至テハ之ヲ應用スルコト稍々寬ニ至ルモノナリ併シ乍ラ是等ノ保險ト雖モ亦其時々ノ情況ニ從ヒ多少ノ差異アルヘケレハ其各場合ニ付キ宜シク其緩嚴ノ度ヲ斟酌スヘキナリ

我新法ハ其第六百五十三條ニ於テ陳示ト黙秘ニ關スル規定ヲ設ケテ曰ク「保險者



ハ被保險者カ契約取結ノ際重要ナル情況ニ付キ虚偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其情況ヲ  
 黙スルトキハ惡意アリタルト否トナ問ハス契約ヲ解ク權利アリ但被保險者カ保  
 險者ノ凡テノ問ニ對シテ其知ル所ヲ竭シ且ツ善意ニテ答タルトキハ過失ナキモ  
 ノト見做ス然レトモ保險者ノ有スル解約ノ權利ハ此カ爲メニ妨ケラル、コト無  
 シト本條ノ意義ハ讀テ字ノ如クナレハ別ニ解説スルヲ要セスト雖モ其文字ノ用  
 法極メテ不倫ニシテ文ヲ爲サ、ルニハ驚カサルヲ得ス元來但書ハ本文ノ意味ヲ  
 増減若クハ變更スル爲メニ用ユルモノナレトモ本條ノ但書ハ本文ニ少シモ關係  
 スル所アルニアラサレハ寧ロ第六百五十七條中ニ之ヲ排列スルヲ可トス且然レ  
 トモ以下ハ全ク無用ノ法文ナリトス

本條ノ前部ハ被保險者ニ於テ契約取結ノ際重要ナル情況ニ付虚陳ヲ爲シ又ハ默  
 秘シタルトキハ惡意ノ有無ヲ問ハス保險者ニ於テ契約ヲ解クノ權利ヲ有スルコ  
 トヲ規定セリ故ニ保險者カ本條ニ依リ解約スルヲ得ルニハ左ノ三條件ヲ要スル  
 モノトス

第一 被保險人ノ虚陳又ハ默秘アルヲ要ス

虚陳並ニ默秘ノコトハ已ニ講述セル所ナレハ再ヒ茲ニ贅セス本條ニハ惡意  
 ト否トナ問ハストアリテ陳示ト默秘トノ間ニ毫モ區別スル所ナシト雖モ之  
 ナ學理ニ照スニ余ハ善意ノ場合ニハ虚陳ト默秘トノ間ニ多少ノ差別アルヘ  
 キモノト信ス英米等ノ法律ヲ觀ルモ海上保險ニ於テハ實ニ此條文ノ如ク毫  
 モ區別ヲ立テスト雖モ之ヲ以テ一般ノ規則トシテ諸般ノ保險契約ニ等シク  
 適用スルコトナシ是或ハ我立法者ハ彼ノ海上保險ニ關スル規定ヲ見テ之ヲ  
 一般ノ規則ナリト誤認セシニ由ルニハアラサル歟

我法條ハ被保險人ニ虚偽ノ陳述又ハ默秘アリタル時ノミ解約スルヲ得ル旨  
 ナ記載シ保險人ノ虚偽ノ陳述又ハ默秘ニ對シテ何等ノ規定アルナシ然リト  
 雖モ法理上ハ保險人ニ此事アルモ猶全一ノ制裁ヲ加フヘキモノトス例之ハ  
 保險スヘキ船舶ノ着港シタルコトヲ保險人カ知リナガラ之ヲ默秘シテ契約  
 ナ取結タル時ハ之レヲ以テ有効トスルコトナカルヘシ

第二 虚陳又ハ默秘ハ契約取結ノ際ニ於テ爲サレタルモノナラサルヘカラス  
 抑々虚陳又ハ默秘ハ契約者カ契約ヲ取結フコトニ影響ヲ及スモノニアラサ

レハ契約ヲ解除スルノ効ナキモノナルヲ以テ必ラス契約取結ヒノ際ナラサルヘカテサルハ勿論ナリ。結約後ニ至リ虚偽ノ陳示ヲ爲シ又ハ黙秘アリトスルモ其契約締結ノ意志ヲ決セシムルニ何等ノ効力アルヘキ所以ナキヲ以テ其契約ニ影響ヲ及スノ理ナク從テ解約スルノ効ナシ。結約以前ノモノニシテ契約ニ關連セサルモノニ付テモ亦同一ナリトス。

第三 虚陳又ハ黙秘ハ契約ノ重要ナル情况ニ係ルモノナラサルヘカラス。契約ニ重要ナル情况トハ已ニ講述セシカ如ク危険ノ程度及保険料ノ多寡等ニ關係スルモノニシテ若シ是ヲ知リシトキハ結約セサルカ又ハ少クトモ同一ノ約款ニテハ結約セサルヘシト認ムルヲ得ヘキモノヲ謂フ故ニ此問題ハ(一)通常保険人ノ決斷ニ影響ヲ及ホスヘキモノナルヤ(二)果シテ其ノ決斷ニ影響ヲ及ホシタルヤ否ヲ見テ以テ決セサル可ラス故ニ通常決斷ニ大ナル影響ヲ及ホスヘキモノト雖モ或ル特別ナル事件ニ於テ特ニ何等ノ影響モ及ホサルコト明カナルトキハ之ヲ以テ契約ニ重要ナル情况ニ關スルモノト謂フ。ヲ得ス例ヘハ被保険人ニ於テ如何ニ虚偽ヲ陳スルモ保険人ハ毫モ是レヲ信セスシテ結約シタルトキノ如シ。

轉保險ノ移

第八章 保險ノ移轉

保險ノ移轉ニ關シテハ商法第六百四十條及第六百四十一條ニ於テ規定セリ而シテ前條ノ規定ハ保險契約移轉ニ關スルモノニシテ後條ハ保險金額請求權ノ移轉ニ關スルモノナリ。

保險契約ノ移轉トハ保險ニ依リ被保險者カ有スル所ノ權利義務ヲ第三者ニ移付スルコトヲ云フ而シテ法文ニ依レハ保險契約ハ被保險契約ノ讓渡其ノ他被保險利益ノ轉付ニ因リ當然新取得者ニ移轉スルモノトセリ然リト雖モ人約ハ總テ當事者ノ合意ニ由ルニアラサレハ他人ニ移轉セサルヲ以テ原則トス。只保險契約ニ付テ各國ノ法律ハ特ニ保險人ノ承諾ヲ得ルヲ要セスト規定スルモ被保險利益ト共ニ當然移轉スルモノトハ爲サス英國ノ如キハ必ラス讓受人ト讓渡人トノ間ニ別ニ合意アルヲ必要トセリ然ルニ我商法ハ三箇ノ場合ノ取除ヲ以テ保險契約ハ被保險利益ノ移轉ト共ニ移轉スルモノト規定セリ。蓋立法者ノ意ハ被保險利益ノ讓渡受人間ニ常ニ保險契約ヲ移轉スルノ合意ヲ推測スルヲ得ルモノト認メタル

カ故ナル可シ然レトモ此推測ノ實際ニ照シテ果シテ誤タサルヤ否ヤ隨テ如此規則ノ果シテ善良ナル効果ヲ見ルコトヲ得ヘキヤ否ヤハ容易ニ斷言スルヲ得サルモノナレハ立法者タルモノ大ニ注意ヲ費ヤスヘキ者ナリトス  
三個ノ例外ノ場合ハ左ノ如シ

第一例外 讓渡人利益ヲ留置キタル場合

例ヘハ被保險者ハ被保險物ヲ他人ニ讓渡シタリト雖モ其實悉皆ヲ讓渡シタルニアラス一部分ノ利益ヲ自己ニ留置キタル場合或ハ被保險物上ニ未ダ多少ノ利害ヲ有シタル場合ノ如キハ明カニ保險契約モ之ト共ニ讓渡シタリト認ムルヲ得サル場合ナレハ固ヨリ例外タルヘキナリ

第二例外 商法第六百五十四條ノ場合

此場合ハ結約後情況ノ變更ヲ生シ爲メニ危險ヲ増加シ又ハ變更シタル場合又ハ相當期間ニ於テ保險者カ被保險者ニ對シテ保險料ノ支拂ヲ請求スルモ被保險者カ猶支拂ヲ爲サ、ル場合ヲ云フモノニシテ而シテ斯ノ如キ場合カ人ノ變更ニ依リテ生スルモ均シク保險者ハ其契約ニ羈束セラル、コトナカル

可キナリ假令ハ被保險者ノ賣却ニ由リ保險者ノ引受タル危險ヲ増加シタルトキハ保險者ハ其契約ニ羈束セラル、コトナシ然レトモ本條ニ於テ斯クノ如キ例外ノ場合ヲ規定スルハ何等ノ必要アルニ由ルカ又斯ノ如キハ果シテ正當ニ例外ノ場合ナルヤト云フニ余ハ其必要モ認メス且眞ノ例外ノ場合ニアフスト斷言スルモノナリ何トナレハ斯ノ如キ場合ハ保險移轉ノ効ナキノミニアラスシテ保險其物カ効力ヲ失フ場合ニシテ第六百五十四條ノ規定ニテ固ヨリ充分ナレハ茲ニ別ニ規定ヲ設クルノ必要ナケレハナリ

第三例外 保險者カ轉付ニ付キ承諾ヲ與フル權利ヲ明示シテ留保シタル場合

抑々本則ハ特別ノ意思明カナラサルトキハ保險者モ被保險者モ並ニ被保險物ノ讓受人モ皆保險移轉ノ意思ヲ有スルモノト推測シタルニ基ク所ノ規則ナレハ保險者カ轉付ニ付キ特ニ承諾ヲ與フル權利ヲ明示シテ留保シタルトキハ固ヨリ本則ノ例外タルヘキナリ

本條ニハ保險者カ承諾ヲ與フルノ權利ヲ留保シタル場合ヲ舉ゲタルモ被保險者又ハ被保險物ノ讓受人カ保險契約ヲ移付セス又ハ讓受ケサルコトヲ明示シタル

トキノ場合ヲ掲ケス斯ノ如キ場合ハ例外タルノ規定ナキヲ以テ矢張り保險移轉ノ効アリト論スヘキヤト云フニ決シテ斯ノ如キ理アラサルナリ以テ本條ノ不備ナルヲ見ル可シ

同條第二項ニ於テハ被保險者ハ其爲シタル轉付ヲ遲延ナク保險者ニ通知シ又保險者ハ保險カ記名ナルトキハ新取得者ノ名ニ書替フルヲ要スト規定セリ然レトモ此規定ヲ遵守スルト否トハ毫モ保險ノ移轉ニ付キ影響ヲ及ホスヘキモノニアラス保險ハ單ニ被保險物又ハ被保險利益ノ轉付ニ依リ當然移轉スルモノトス此規定ハ只タ取引ヲ整理シ豫メ明確ナル證據ヲ備ヘ且保險者ニ事情ノ變更ヲ理由トシテ故障ヲ申立テシムルノ機會ヲ與ヘシカ爲メナリ

被保險額ノ請求權ハ被保險者ノ取得權利ニシテ他ノ債權ト毫モ異ナル所ナケレハ保險者ノ承諾ナキモ満期日ノ前後ヲ問ハス自由ニ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得可シ此讓渡ノ結果タルヤ讓受人ハ只被保險額ヲ保險者ヨリ要求スルノ權利ヲ得ルノミニテ契約上ノ他ノ權利並ニ義務ハ依然トシテ讓渡人即被保險者ニ屬ス保險者ニ於テ其讓渡ノアリタルコトヲ知リタル時ハ讓受人ニノミ被保險額ヲ支拂

フノ義務アリ讓渡ハ別ニ法式ヲ履ムノ要ナケレハ明言ニテモ又ハ包意ニテモ之ヲ爲スヲ得可シ(六百四十一條第一項)

第六百四十一條第二項ハ包意讓渡ノアリタルト同視ス可キ著明ナル種類ヲ掲ケタルモノニシテ敢テ他ノ種類ノ包意讓渡ヲ排斥シタルニ非ラス

- 第一 被保險物ノ抵當若クハ質入
- 第二 抵當物若クハ質物ノ保險
- 第三 第三者ノ爲メニスル保險

右第一第二ノ場合ニ於テハ抵當若クハ質ノ債權者ハ被保險額ヨリ負債ノ償却ヲ受クルノ權利ヲ有スルモノナリ而シテ此權利ヲ有スル所以ハ本條ノ規定ニ由ルニアラスシテ我商法ニテハ被保險額ハ被保險物ニ代ルモノト認メタルカ爲ナリ故ニ本條第二項ノ規定ハ保險者ハ被保險物ノ抵當若クハ質入又ハ抵當物若クハ質物ノ保險タルコトヲ知リタル時ハ抵當又ハ質入ノ債權者ニノミ保險額ヲ支拂フノ義務アルモノト爲シタルニ止マリ其實法律上被保險額請求權ノ轉付ト見做タルニアラス故ニ法文ハ穩當ヲ得サルカ如シ又第三ノ場合ハ多クハ生命保險ニ於

テ行ハル、モノナレトモ他ノ保險ニ於テモ之ヲ行フコトアリ。被保險者ハ之ニ依リテ被保險額ヲ受ク可キ人ヲ指定スルモノニシテ其指定ヲ受ケタル人ハ被保險額ヲ請求スルノ權利ヲ有スルモノトス。若シ指定ノ人被保險額支拂期限ニ至リ存セサルトキハ被保險額ハ被保險者ノ遺産ニ屬シ其債權者ハ之ニ對シテ要求權ヲ有ス可シ。

### 第九章 重複保險、不足保險及超過保險

#### 第一節 重複保險

重複保險ハ同一ノ被保險利益ニ付キ二人以上ノ保險者ニ對シテ各々別個ニ取結フ所ノ保險ヲ云フ而シテ其保險契約ハ各保險者ニ對シテ全時ニ取結ハル、コトアリ或ハ全時ナラサルコトアリ。

凡重複保險ナルモノハ其結果保險者ノ資力ニ付キ保險ヲ取結ヒタルト同一ノ効力ヲ生スル保險ニシテ損失賠償ノ金額非常ニ大ニシテ僅カ一人ノ保險者ニテハ能ク賠償シ得サルナラントノ恐レアル場合ニ當リ其賠償ヲ完全ナラシメンカ爲メ重ネテ他ノ保險者ニ對シ全一ノ保險ヲ締結スルノ必要アルヲ見ルヘシ然レト

モ重複保險ハ何時ニテモ有効ナルモノニアラス之ヲシテ効力アランモノニハ須ラク左ノ二條件ヲ充タサ、ルヘカラス。

第一 重複保險アリタルコトヲ各保險者ニ通知スルコト

第二 其通知ニ對シ各保險者ノ承諾ヲ得ルコト

若シ以上ノ條件ヲ具備セサルトキハ各保險者ハ其契約ノ解除ヲ請求スルヲ得ルモノトス。然レトモ各保險者ノ與フル承諾ハ明示ニ出ツルト默示ニ出ツトト問ハス。苟シクモ承諾アルニ於テハ重複保險ノ効力ハ完全ナリ故ニ例ヘハ甲者乙者ト保險契約ヲ結ヒタルコトヲ丙者ニ通知シ而シテ後丙者ト又同一ノ利益ニ付キ保險契約ヲ締結シタルトキハ丙者ハ默示ノ承諾ヲ與ヘタルモノナレハ重複保險ハ有効ナリトス。

何故ニ承諾ヲ以テ重複保險ノ効力ヲ生セシムルノ條件トナシタリヤト云フニ是レカ理由ヲ説明センニハ先ツ重複保險ノ効力ヲ知ラサルヘカラス。今之レヲ例解スレハ人アリ自己所有ノ一万圓ノ價値アル家屋ヲ甲保險者ニ對シ一万圓ニテ保險ニ付シタリ而シテ此場合ノ被保險者カ後日又乙保險者ニ對シテ同一ノ家屋ヲ

又一万圓ヲ以テ保險ニ付シタリトセンニ被保險者ハ後日甲乙兩保險者ニ對シ損害賠償ヲ要求スルノ權利ヲ有スト雖モ其賠償額ハ二萬圓ニアラスシテ家屋ノ價格ニ過キサルナリ即一万圓以上ヲ超過スルヲ得ス故ニ若シ甲保險者ニ於テ五千圓ヲ支拂タリトセハ被保險者ハ乙保險者ニ對シテハ價格ノ殘額五千圓ヨリ外ハ請求スルコトヲ得サルヘシ若シ此場合ニ於テ被保險者ガ甲乙ノ保險者ニ對シ重複ナルコトヲ告ケサルトキハ甲保險者ハ乙保險者ノアルコトヲ知ラス乙保險者ハ甲保險者アルコトヲ識ラサルヲ以テ被保險者ハ各保險者ニ對シテ一万圓宛ヲ賠償セシメ合計二萬圓ノ賠償ヲ得ルコト容易ナルヘシ果シテ然ラハ被保險者ハ被保險物ノ價格ニ超過セル所ノ金額ヲ得ルモノニシテ彼ノ補償ノ性質ニ背反スルヤ明ナリ故ニ法律ハ此背法ヲ慮カリ重複保險ヲ各保險者ニ通知シテ其承諾ヲ得ルコトヲ要ストナシ以テ補償ノ目的ニ背馳セサランコトヲ期セリ(第六百三十七八條)

余ハ是ヨリ例ニ依リ條文ノ批評ヲ試ミントス今第六百三十七條ヲ見レハ其文章タル殆ント講義體タルヲ免カレス就中同一ノ物及ヒ同一ノ利益ト列記セシコトノ如キハ其最タルモノニシテ必竟同一ノ利益ト云フノ意ニ外ナラサルナリ又時ヲ同フシ又ハ時ヲ異ニシテトハ實ニ丁寧ナル文句ト謂フヘシ元來其結果ニ於テ差異アルコトアレハコソ區別シテ記載スルノ必要モ生スルモノナレトモ本條ノ如キハ其異同ニ依リ少シモ結果ニ差異アルヲ見サルナリ又第六百三十八條ノ但書ハ削除シテ可ナルヘシ何トナレハ一保險者ノ爲メニスル拋棄ハ他ノ保險者ノ害トナル効力ヲ生スルコト無キハ自明ノ理ニシテ法條ヲ以テ之ヲ規定スルノ必要ナケレハナリ

不足保險

第二節 不足保險

不足保險トハ保險利益即被保險物ノ價額ニ充タサル被保險額ヲ以テ保險スルヲ云フ例ヘハ價額一万圓ノ家屋ヲ五千圓ニテ保險ニ付シタルトキノ如シ元來此不足保險ハ保險法ノ精神ト毫モ背戾スルモノニアラサレハ其有効ナルハ勿論ニシテ縱令如何ナル高貴ノ物品ト雖モ被保險者ハ隨意ニ少額ノ被保險額ヲ以テ保險ニ付スルコトヲ得ヘシ只タ此場合ニ於テ吾人ノ研究ヲ要スル所ノモノハ其保險ノ効果如何ノ問題ニ在リ此問題ニ付テハ左ノ三種ノ學說アリ

第一說 此說ノ主張スル所ハ不足保險金額ハ賠償スヘキ最高額ヲ示シタルモノナリト云フニ在リ故ニ今一万圓ノ家屋ヲ五千圓ニテ保險ニ付シタリト假定セハ此場合ニ於テ該家屋ノ燒失スルトキハ保險者ハ五千圓ヲ賠償スルヲ以テ足レリトス若シ又其損失ニシテ一部分ナルトキハ其レ丈ケノ賠償ヲ爲セハ可ナリ乍併何時ト雖モ五千圓ヲ超過シテ賠償ヲ爲スニ及ハサルナリ要スルニ不足保險ノ金額ハ賠償高ノ最高額ヲ示スモノトスルヲ以テ此說ニ從ヘハ同一ノ保險料ヲ以テ其損失ノ一部ノトキモ損失五千圓以上ニ上リタルトキ又全部損失ノトキモ同一ノ賠償ヲ爲スモノナルヲ以テ此說ノ不當ナルハ一見シテ明ナリ

第二說 此說ニ依レハ不足保險ノ金額ハ保險者カ責任ヲ有セサル所ノ額ヲ示スモノトセリ故ニ今前例ノ如キ場合アリトセハ其損失カ五千圓以上ニ涉ルトキニ當リ其五千圓ヲ超過シタル部分ノミヲ賠償スレハ足ルモノトス故ニ此說ハ第一說ニ比スレハ猶一層被保險者ニ不利益ナルヲ見ルヘシ

第三說 此說ノ主張スル所ハ不足保險額ハ保險者ノ賠償額ノ比例ヲ示シタル

モノヲ云フニ在リテ第一說ト第二說トヲ折衷シタルモノナリ即此說ニ依ルトキハ前例ノ場合ニ於テ若シ五千圓ノ損失ヲ生シタリトセハ第一說ノ如ク全損ノトキト同一ノ額即五千圓ヲ支拂ニアラス又第二說ノ如ク一ノ賠償ナクシテ可ナルニアラス一万圓即チ全部ノ損失シタルトキハ五千圓ヲ支拂ヘハ可ナルヲ以テ此割合ニテ金二千圓ヲ賠償スルモノトス

以上ノ學說中我商法ハ第三說ヲ採用セリ此說ヲ採用スルハ單ニ我邦ノミナラス英佛獨白和等ノ諸國ニ於テハ又同一ノ主義ヲ取レリ我商法第六百三十九條ニハ保險スルコトヲ得ル利益ノ額ニ滿タサル保險ノ場合ニ在テハ其殘餘ノ額ニ付キ被保險者チ自己ノ保險者ト看做シ被保險者ハ其額ノ割合ニ應シテ損害ヲ負擔ス但別段ノ契約アルトキハ此限ニ在ラストアリテ要スルニ第三說ノ意ニ過キサルナリ只法文ト被保險者ヲ以テ其殘餘額ニ對シテ自ラ保險者ト爲リタルモノト假定シ以テ賠償額ヲ算出スルノ方法ヲ定メタリ然レトモ是レ甚タ奇怪ニシテ批難セサラント欲スルモ得サルナリ抑モ法條ノ所謂見做トハ事實然ラサルモノナリト見做スコトヲ謂フモノナレハ特ニ必要アルニアラサレハ斯ノ如ク爲ス可カ

超過保險

第三節 超過保險

ラ本條ニ於テハ毫モ其必要ヲ見ス本條ハ宜シク保險利益ノ額ニ滿タサル保險ノ場合ニハ保險人ハ其保險額ト保險利益トノ比例ヲ以テ損失ヲ負擔ス但シ別段ノ契約アルトキハ此限ニアラズト修正スヘキナリ

超過保險ハ不足保險ノ反對ナルモノニシテ例ヘハ實價五百圓ノ物件ヲ千圓ニテ保險ニ付シタルトキノ如シ而シテ此超過保險ノ場合ハ其實價ニ超過セル額ニ對シテハ契約ハ無効トス何トナレハ補償ノ目的タル原則ニ背反スルモノナレハナリ而シテ此場合ノ無効ハ超過シタル金額ニ對スルノミニシテ實價ニ該當スル部分ニ付テハ充分ノ効力アルコトヲ忘ルヘカラス以上講述セザル如ク實價ヲ超過セル部分ニ對シテ契約ハ無効トナルカ故ニ被保險者ハ其部分ニ對スル保險料ハ支拂フノ義務ナキモノトス若シ既ニ支拂フタルモノナルトキハ是レヲ取戻スコトヲ得ヘシ(第六百五十七條)

保險料

第十章

保險料

元來保險契約ハ被保險者ニ於テハ保險料ヲ支拂フ約ヲ爲シ又ダ保險者ハ損失ヲ

賠償スルコトヲ約スルモノニシテ此二箇ノ約束タル相互ニ他ノ約束ノ報償トナルモノナリ即チ保險料ハ保險者ヲ危險ヲ擔保スル所ノ報償ニシテ而シテ保險者ノ危險ヲ擔保スルハ保險料ニ對スル報償ト云フヘシ去レハ若シ被保險者ニ於テ保險料ヲ支拂ハサルコトアラシガ保險者ハ損失ヲ擔保スルノ責任ナキハ勿論ナリ是レニ反シテ若シ保險者ニ於テ危險ヲ擔保セサルトキハ被保險者ハ毫モ保險料ヲ支拂フノ義務ヲ負ハズ故ニ此兩者ハ互ニ相待テ保險契約ヲ成立セシムルモノト知ルヘシ

保險料ノ性質ハ以上説ク所ノ如クナレハ被保險者ニ於テ破約シテ保險料ヲ支拂ハサルトキハ保險者ニ於テハ其契約ニ羈束セラル、コト無シ加之我商法第六百五十四條ニ依レハ保險者ニ於テ保險料支拂期日ニ受取證書ト交換ニ保險料ノ支拂ヲ求ムルモ被保險者是レヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ最早其契約ヲ遵守スルノ責任ナキ者トセリ故ニ破約ノ場合ハ勿論支拂延滞ノ場合ニ於テモ保險者ハ其契約ヲ遵守スルノ義務ナキナリ茲ニ注意スヘキハ此法律ニテ保險料延滞ト認ムルニハ保險者ニ於テ其前一應ノ催促ヲ爲スヲ要スルノ一事ナリ換言スレハ催促



セハルトキハ縦令支拂延滞ノコトアルモ法律上ノ延滞ト見做スコトヲ得サルナ  
 リ乍併若シ特約ヲ以テ縦令催促アラサルモ支拂期日ニ支拂ハサル場合ハ法律上  
 ノ延滞ト見做スコトヲ約束スルトキニ於テ若シ支拂延滞スルトキハ保險者ハ其  
 責ヲ免カル、モノトス若シ被保險者ニ於テ保險料支拂ノ猶豫ヲ承諾シタル場合  
 ニアリテハ其承諾ノ明言ニ出ツルト暗黙ニ出ツルトヲ問ハス等シク有効ナル猶  
 豫ヲ與ヘタルモノナレハ最初ノ期日ニ之ヲ支拂ハサルモ固ヨリ延滞ト稱スヘキ  
 ニアラサレハ保險者ハ其責ヲ免カレサルヘキハ固ヨリ論ヲ竣タス然ルニ我法典  
 ニ於テ明文ヲ掲ケテ之ヲ規定シタルハ蛇足ノ批難ヲ免カレサル可シ  
 本邦ニ於テハ未タ保險ニ關スル慣習ハ之レナキモ歐米ノ慣習ニ依レハ保險料ノ  
 現實ノ支拂ヲ其期日ニ爲スコトハ極メテ少シテ保險仲買人ト保險者トノ間ニ  
 保險契約ヲ締結スルトキハ通例保險料ヲ帳簿ニ記入シテ以テ保險仲買人ノ負債  
 ト爲スモノニシテ是レヲ支拂フノ方法ニ二種アリ即チ一ハ現金拂ニシテ一ハ延  
 金拂ナリ其現金拂ノモノハ常ニ毎月末ニ支拂フモノトシ而シテ延金拂ノモノハ  
 歳末ニ支拂フモノトスルノ慣例アリ

保險料ハ何人ニ於テ之レヲ支拂フヘキヤト云フニ被保險者或ハ其相續人或ハ保  
 險仲買人或ハ保險讓受人或ハ保險契約ノ利益ヲ受シヘキ者ハ保險料ヲ支拂フコ  
 トヲ得可シ(第六百五十四條第二項)

抑保險料ノ性質タル以上講述セル如ク損失擔保ニ對スル報償ナルヲ以テ被保險  
 者ニ於テ保險料ヲ支拂フ所ノ義務ノ範圍ハ保險者カ危險ヲ擔保スル責任ノ多寡  
 ニ應シテ定マルモノニシテ保險者擔保スル所ノ危險大ナルトキハ之レカ報償タ  
 ル保險料モ從テ大ナラサルヲ得ス之レニ反シテ保險者擔保ノ危險小ナルトキハ  
 保險料モ亦之レニ準シテ小ナルヘキナリ一言以テ之レヲ蔽ヘハ保險料ハ保險者  
 ノ擔保スル危險ニ相應スルモノナリ故ニ保險者カ擔保スヘキ危險ニシテ發生セ  
 サルニ於テハ被保險者ハ毫モ保險料ヲ支拂フノ義務ナシ若シ又保險者ノ擔保ス  
 ヘキ危險ノ減少シタル時ハ保險料モ之レニ應シテ減少スヘシ例セハ海上保險ノ  
 場合ニ於テ横濱ヨリ上海迄ノ航海ヲ保險ニ附シタル約後其航海ヲ停止シタルト  
 キノ如キハ保險者ノ擔保スヘキ危險ハ全ク生セサリシモノナレハ被保險者從テ  
 毫モ保險料ヲ支拂フノ義務ナシ若シ既ニ之ヲ支拂ヒタルトキハ之レカ取戻ヲ求

ムルヲ得ヘシ又或ル旅行中ノ生命ヲ保險ニ附シタルトキニ於テ或ル原由ヨリ旅行ヲ止メタル場合ノ如キモ前例ト同一ノ結果ヲ生スヘシ(第六百五十五條)

茲ニ注意スヘキハ多少此規則ニ制限アルコトニシテ即チ一ハ以上ノ如キ場合ニ於テ危險ノ生セサリシハ被保險人ノ過失ニ基カサリシヲ要ストノ事ナリ若シ被保險人ニ於テ過失アリタルトキハ縱令危險ノ生セサルコトアルモ既ニ拂ヒタル保險料ヲ取戻スコトヲ得ス況ンヤ被保險人ニ惡意アリタル場合ニ於テハ勿論取戻スコトヲ得サルナリ又他ノ一ハ慣習上保險者カ受クヘキモノハ既ニ請取リタル保險料ヨリ控除シ之ヲ償還スルヲ要セサル事是ナリ(第六百五十七條)

此第一ノ點ヲ英米ノ法律ニ比照スルトキハ大ニ其差異アルヲ見ルヘシ英米ノ法律ニ依ルトキハ被保險者ニ惡意ノ存スルカ若クハ詐欺アラサル以上ハ既ニ支拂フタル保險料ヲ取戻スコトヲ得ルモノトセリ故ニ英米法律ニ依レハ被保險人ニ過失アリテ危險ノ生セサルトキト雖モ既ニ支拂フタル保險料ヲ取戻スニ於テ何等ノ妨アルコトナシ

以上ハ危險ノ全ク生セサル場合ニ付キ講述シタルモノナレトモ茲ニ危險カ時間

又ハ分量ニヨリ減少スル場合アリ例セハ三年間家屋ヲ保險ニ附シタルニ其後保險シタル危險以外ノ出來事ニテ一ケ年目ニ該家屋ノ燒失シタル場合ノ如キハ擔保ノ危險ハ時間ニ於テ減少シタルモノニシテ又或ル荷物千個ヲ保險ニ附シタルニ實際ノ荷物ハ五百個ノミナリシ場合ノ如キハ分量ニ於ケル減少ナリ以上ノ如キ場合ニ於テハ被保險者ハ保險料支拂ニ際シ實際擔保セラレタル所ノ危險ニ相應ノ保險料ヲ支拂ヘハ可ナリ今之レヲ詳論スルニ當リ了解シ易カラシメンカ爲メ左ノ二場合ニ區別スヘシ

第一 保險料ヲ分割スルヲ得サル場合

第二 保險料ヲ分割スルヲ得ル場合

(第一) 危險減少ノ度ニ應シテ保險料ヲ分割スルコトヲ得サル場合ニ於テハ縱令危險ノ減少スルコトアルモ被保險者ハ全額ノ保險料ヲ支拂ハサル可カラス例セハ我横濱ヨリ支那上海ヲ經テ佛國マルセイユ迄航行スル所ノ船舶ヲ保險ニ附シ保險料三千弗ト定メ該船舶ハ横濱ヲ投錨シテ上海迄航行シタルモ其ノマルセイユマテノ航行ヲ止メタリ斯ノ如キ場合ニ於テハ保險者カ擔保スル所ノ危險ハ大

ニ減少セリト雖モ被保險者ハ尙且全額ノ保險料即チ三千弗ヲ仕拂ハサルヘカラ  
 ス何トナレハ此場合ノ保險料ハ橫濱ヨリマルセーユ迄チ一括シテ取極メタルモ  
 ノナレハ實際之レヲ分割スルコト能ハサレハナリ此契約ニ於テ若シ保險料取極  
 メノ際橫濱ヨリ上海迄若干上海ヨリマルセーユ迄若干ト區分シタリシナラハ其  
 保險料タル分割シ得ヘキモノニシテ被保人ハ敢テ全額ノ保險料ヲ支拂フニ及ハ  
 スト雖モ本例ノ事實ニ於テハ決シテ斯ノ如キ認定チ下スコトヲ得ス故ニ保險料  
 ノ分割シ得ヘキヤ否ヲ定ムルハ最モ必要ニシテ多クノ場合ハ契約ニ於テ定マル  
 モノトス

保險ニ付テハ歐米諸國ハ最モ慣習ヲ尊フカ故ニ若シ契約上ニテ分割ノ明約アラ  
 サル場合ニ於テモ分割スヘキ慣習ノ存スルトキハ尙保險料ノ分割ヲ許セリ  
 (第二) 保險料ヲ分割シ得ル場合ニ於テハ危險ノ減少セシ程度ニ應シテ保險料ヲ  
 分割シ既ニ起リシ危險ニ對スル保險料ノミチ支拂ヲ以テ足レリトス例セハ一  
 ケ年ニ金五十圓ヲ支拂フノ約ヲ以テ家屋ヲ保險ニ附シ此年限チ三ケ年トセリ然  
 ルニ該家屋ハ最初一ケ年目ニ保險シタル危險以外ノ事變ノ爲メニ消滅シタリ此

場合ニ於テハ被保險人ハ最初一ケ年分ノ保險料ヲ支拂ヘハ足ルモノニシテ全額  
 ノ保險料百五十圓ヲ支拂フノ義務ナキモノトス何トナレハ此種ノ保險料ハ之レ  
 チ分割スルコトヲ得ヘケレハナリ之レト同一ノ理由ニヨリ一箱十圓ノ保險料ニ  
 テ或ル荷物ノ千箱ヲ保險ニ附シタルニ實際危險ニ就キタル荷物ハ僅カニ五百箱  
 ナリシトキノ如キハ其保險料ハ又分割シ得ヘキモノニシテ被保險人ハ五千圓ヲ  
 支拂ヘハ足ルモノトス

以上ハ單ニ論理上ヨリ論究スル所ナレハ尙ホ法律上ノ分割ニ付テ注意セサル可  
 ラス我商法第六百五十五條ニハ之カ規定ヲ爲シテ危險ノ減少又ハ其期間ノ短縮  
 ノ爲メ保險料ヲ分割スルコトヲ得ルハ保險料支拂期間二回以上ノ保險料ヲ前拂  
 シタルトキニ限ル而シテ保險料支拂期間ハ一ケ年タルヲ通例トスト云ヘリ此法  
 文ハ性質上分割スルヲ得ヘキモノト得サルモノトノ區別ヲ明言セサレハ之カ適用  
 ノ區畫ヲ明カニセスト雖モ法理上ヨリ之ヲ解シテ單ニ性質上分割スルヲ得ルモ  
 ノニ付テノミノ規則ト爲サ、ル可ラス故ニ今夫レ年五十圓ノ保險料ヲ以テ五年  
 間ノ保險ヲ受ケ二ケ年分ノ保險料ヲ前拂シタルニ方リ損害既ニ初年ノ第一ケ月

ニ生セシ時ハ被保險者ハ單ニ第一年ノ保險料ヲ拂フノ義務ヲ負フノミナレハ既ニ拂入レタル他ノ一年分ノ保險料ハ之ヲ取戻スコトヲ得可シ而シテ保險料支拂期間ハ他ニ特約若シハ契約ノ性質ニ由テ他ニ期間ノ見ルヘキモノナキトキハ法律上ニテ之ヲ一ケ年ト爲スモノトス

本條ノ規則ハ二回以上ノ保險料ヲ前拂シタルトキト然ラサルトキトヲ區別シタルモ果シテ何ノ意ニ出テタルヤ其必要ヲ見ス又立法者ハ保險料支拂期間ヲ以テ保險期間ト見做シ一ノ保險料支拂期間ハ一ノ保險期間ニシテ他ノ支拂期間ハ別ノ保險期間ト見做シタルカ故ニ斯ル規定ヲ爲シタルヤ果シテ然リトセハ保險料前拂ノ有無ニ付テ區別スルノ要ナキカ如シ若又保險料支拂期間ハ讀テ字ノ如ク單ニ月賦若シハ年賦ノ如ク支拂ヲ爲スノ期間トセンカ性質上分割ヲ許サ、ル保險料ニ付テモ之ヲ數度ニ支拂フヘキコトヲ約シタルトキハ分割スルヲ許スト謂ハサル可ラス然レトモ如斯ハ決シテ法理ノ許サ、ル所ナリ

又重複保險及ヒ超過保險ノ場合ニ於テモ右ト同一ニシテ實際危險ヲ侵シタル被保險物ニ對スル保險料ヲ支拂ヘハ足ル者トス超過保險ハ既ニ諸君ノ熟知スル如

ク物件ノ價額ヲ超過シテ保險ニ附シタルモノニシテ而シテ之レカ保險料ハ實際物件ノ價格ニ對スルモノ、ミニテ充分ナルモノトス重複保險ノ場合ニ於テハ全額ニ對スル保險ヲ二重若シハ三重ニモ保險ニ付スルモノニシテ而シテ被保險者ハ唯一ノ賠償ヲ得ヘキモノニ過キサレハ到底之ニ對スル保險料ヲ支拂ヘハ足ルモノトス然レトモ被保險者ハ一ト先ツ二重又ハ三重ノ保險者ニ對シテ皆悉ク保險料ヲ支拂ハサルヘカラス何トナレハ若シ之ヲ支拂ハサルコトアランカ其保險契約タル有効ニ成立スルコトヲ得スシテ消滅ニ歸スヘキモノナレハナリ併シ乍ラ後日契約結了ノトキニ至リ其不用ノ部分ハ之レヲ取戻スコトヲ得ヘシ(第六百五十七條)

被保險者ニ於テ假令保險料ヲ取戻シ得ル場合ト雖モ慣習上保險者ノ受クヘキモノハ之ヲ控除セサル可ラス(第六百五十七條但書本邦ニハ保險ニ關シ未ダ慣習ノ見ルヘキモノナシト雖モ歐米ニ於テハ既ニ此慣習ノ存スルアリテ保險者ハ其受取リシ保險料ヲ返還スル場合ニ於テモ其千分ノ五ハ之レヲ引去ルコトヲ得ルモノトセリ

此控除スルコトヲ得ル、點ニ關シテハ學者間異說アリテ佛國學者ボチエー氏ハ曰ク元來保險者ニ於テ之ヲ控除スルヲ得ルハ被保險者ノ所爲ヨリシテ保險契約或ハ無効トナリ或ハ解除セラル、場合ニノミ限ルヘキモノニシテ是等無効若シクハ解除ノ原由ニシテ天帝ノ所爲ヨリ來ルモノナルトキハ保險者ハ千分ノ五ヲ控除スルノ權利ナキモノナリト然ルニエメリゴン及ヒボーリーパチー等ノ諸氏ハ大ニ此說ヲ駁撃シテ曰クボチエー氏ノ說タル古來ノ法律ヲ改正スルノ説明タルヘク決シテ古來ノ法律ヲ説明セシモノト見ルコト能ハス其何レノ場合タルヲ問ハス保險者ニ於テ之ヲ控除スルコトヲ得ヘキハ古來ヨリ一定セルモノニシテ又疑フヘカラスト歐米ノ慣例ハ如何ト問ハ、余ハ後者ノ說ヲ以テ之ニ答ントスルモノナリ

損失及賠償

第十一章 損失及賠償

我商法第六百三十四條第一項ニ曰ク辨濟スヘキ賠償額ハ人ノ保險ニ在テハ被保險額トシ物ノ保險ニ在テハ被保險者カ危險ノ發生ニ因リテ直接又ハ間接ニ被リタル損害ヲ以テ限リトスト以テ人ノ保險即チ生命保險ト其他ノ物ノ保險トノ間

ニ賠償額ヲ定ムルニ付キ差異アルコトヲ見ルヘシルソ生命保險ニ在テハ被保險人ハ其被保險利益ヲ自由ニ定ムルコトヲ得ルモノニシテ唯其被保險利益多寡ニ從テ保險料ニ高低アルヘキノミ何故ニ生命保險ニ在テハ被保險利益ノ多寡ヲ被保險人ノ自由ニ定ムル所ニ一任スルヤト云フニ被保險者ノ死去ヨリ生スル損害ハ果シテ幾許ナルヤ他人ヨリ之ヲ探知スルコト最モ困難ニシテ殆ント爲シ得ヘカラサルノミナラス生命保險ハ一部積金ノ性質ヲ帶フルモノナルカ故ニ之レカ被保險利益ヲ定ムルニ當リテハ一ニ被保險人ノ算定ニ委テサルヘカラス之レニ反シテ物ノ保險ニアリテハ物其レ自ラ一定セル實價ヲ有スルモノナレハ被保險額モ亦實價ニヨリテ定マルモノニシテ被保險人ノ自由ニ一任スルヲ得サルナリ併シナカラ此場合ト雖モ保險人ト被保險人トノ間ニ於テ實價ニ過當ナル被保險利益ヲ定ムルモ其合意ニシテ毫モ詐欺ノ箇所ナク誠實ノモノナルトキハ是等對手双方間ニ在リテハ又確定動カスヘカラサルモノトス此ノ如キ場合ニ於テ被保險物全損シタルトキハ其約束セル被保險額ノ全額ヲ保險人ニ於テ支拂ハサルヘカラス而シテ被保險物分損ノ場合ニ於テハ危險ノ爲メニ生シタル損害ノ程

度ニ應シテ賠償スレハ足ルモノニシテ固ヨリ全價額ノ損害ヲ支拂フニ及ハサルモノトス

抑モ保險法上ノ所謂全損トハ被保險物全部ノ損失ヲ云フモノニシテ而シテ被保險物全部ノ損失トハ被保險物全体ノ全ク消滅セシトキノミチ云フニアラス被保險物破損シテ之ニ其原來ノ名稱ヲ附スルコト能ハサルニ至リタルトキモ尙全部ノ損失ト云フモノナリ試ニ建築物ニ付テ之ヲ云ヘハ其之レヲ組成スル木材或ハ煉瓦ノ消滅ニ歸セサルモノアリト雖モ該建築物ニシテ既ニ其特性ヲ失ヒ最早建物ノ名稱ヲ附スルコト能ハサルニ至ル時ハ保險法上全損ト見做スモノナリ船舶ノ場合ニ於テモ船体ニシテ衝突若シクハ其他ノ危險ニ依リ片々ニ破碎シタルトキハ縱令木材帆檣等ノ殘存スルアルモ既ニ船舶ノ名稱ヲ附スル能ハサルニ至ラハ又以テ全損ト云フヘシ被保險物ノ全損セシヤ將タ分損ナリヤヲ定ムルハ實際上困難ナル場合鮮少ナラスト雖モ能ク被保險物ノ性質ヲ觀察シテ以上説明フ標準ニヨリ之ヲ判定セハ決シテ困難ナルコトナカルヘキナリ

保險人ト被保險人トニ於テ被保險額ヲ定メタル場合即定價保險契約ヲ締結シタル場合ニ於テ被保險物全損シタル時ハ保險人ハ其定價保險證書ノ價額ヲ賠償セサルヘカラスサルハ既ニ前ニ講述シタル如シ若シ不定價ノ契約ナリシ場合ニ於テ被保險物全損シタルトキハ保險人ハ既ニ講述シタル所ノ規則ニ依リ被保險利益ノ全部ヲ賠償スレハ足ルモノトス斯ノ如ク何レノ場合ニ於テモ全損ノ場合ニ於ケル賠償額計算法ハ甚ダ簡單ナリト雖モ分損ノ場合ニ至リテハ之レト異ナリ事少シク煩雜ナルヲ見ルナリ分損トハ被保險物一部ノ損失ニシテ例セハ建築物ノ屋根ノミ焼失シタル時ノ如キ場合ヲ云フ此場合ノ賠償額ヲ定ムルニ當リ若シ不定價保險ナル時ハ實際生シタル所ノ損害ヲ賠償スレハ足ルモノニシテ若シ又定價保險ナルニ於テハ定價額ト實際ノ被保險利益トノ割合ヲ以テ賠償額ヲ定メサルヘカラス例セハ實際ノ被保險利益ハ一万圓ナレトモ定價保險證書ニハ一万二百圓ト記載シ而シテ該物件ノ危險ニヨリ實際分損シタル損害ハ五千圓ナリシト假定センニ此場合ニ於テ保險人ノ支拂フヘキ賠償額ハ定價額一万二百圓ト實際ノ被保險利益一万圓トノ割合ニテ算出スヘキモノニシテ即チ(10000:10200)::5000:?)トノ比例式ニ依リ其五千百圓タルコトヲ見出し得ヘシ

我新法ニ依レハ保險人ノ賠償スヘキ損失ハ危險ノ發生ヨリ生シタル直接ノ損害ノミナラス間接ノ損害ニ至リテモ亦保險人ニ於テ賠償セサルヘカラス  
 今間接ノ損害トハ如何ナルモノナリヤト云フニ一例ヲ舉クレハ火災保險ノ場合ニ於テ火災ノ爲メニ燒失セシ損害ハ直接ノ損害ニシテ其火災ヲ避ケン爲メ被保險物ヲ他所ニ持出シ救助スル際ノ破損又ハ混雜中ノ紛失若クハ竊盜ノ害ノ如キハ間接ノ損害ナリトス(第六百六十五條)

間接ノ損害ナルモノハ甚ク曖昧ナルモノニシテ其如何ナル程度迄ノモノヲ保險者ニ負擔セシムヘキヤト云フニ我法律ハ確乎タル限界ヲ定メサレハ之ヲ確知スルニ由ナシ然レトモ斯ル場合ノ解釋ハ大ニ制限スヘキモノナレハ本條ハ所謂間接ノ損害トハ直接ノ損害ニ密接スル所ノ第一ノ間接ノ損害ヲ指スニ止マリ其以下ノ間接ナル損害マテヲ云フニアラサルナリ然レトモ余ハ斯ノ如ク保險者ヲシテ間接ノ損害ヲ賠償セシムルヲ以テ一般ノ原則トスルハ大ニ不可ナルコトヲ確信スルモノナリ英米獨佛其他數多ノ國ニ於テモ是等ノ規則ヲ採用スルモノナシ或ハ場合ニ依リテ間接ノ損害ヲモ保險者ニ負擔セシムルヲ必要トスルモノナキ

ニアラサルヘキモ如斯場合ハ特ニ指定シテ規定スヘキモノニシテ之ヲ總則ト爲スカ如キハ抑其宜キヲ得タルモノニアラス

商法第六百三十四條第二項ハ間接ノ損害中ニハ現ニ生シ又ハ將ニ生セントスル危險ノ止ムヲ得サル防止ニ因リテ生シタル別段ノ費用及ヒ損害ヲモ包含スルモノトスト規定シ以テ是等防止ノ所爲ヨリ生セシ費用及損害ヲモ尙間接ノ損害中ニ加ヘタリ元來斯ノ如キ損害ハ果シテ間接ノ損害ナルヤ否ヤハ一ノ問題ニ屬スレトモ我法典ノ如ク之レヲ以テ間接ノ損害トスルトキハ災害ノアラサル前ニ於テ尙間接ノ損害アルモノト云ハサルヲ得ス論理上甚ク明晰ナラサルモラ、如クナレトモ既ニ規定シタル以上ハ又如何トモ爲ス能ハサルナリ英米其他諸國ノ法律ニ在テモ第二項ノ如キ場合ニ於テハ保險者ニ賠償ノ義務ヲ負擔セシムト雖モ其理由ニ至リテハ大ニ異ナルモノニシテ要スルニ斯ノ如キ防止ノ所爲ハ保險人ニ利益ヲ與フルモノナレハ爲メニ保險人ハ其損害ヲ賠償セサルヘカラサルモノトセリ我商法第六百五十一條ヲ見レハ被保險者ハ危險ノ生スルニ當リ成ルヘク其防止ニ盡力シ云々ト規定シ被保險者ニ向テ防止ノ義務アルモノトセリ而シテ

其危険ノ防止ヨリ免カレタル災害ノ利益ハ結局保險人ニ歸スルモノナレハ斯ル場合ニ被保險者ニ於テ損害ヲ防止スル爲メ其財産ヲ犠牲ニ供スル如キコトアラハ從テ保險人ハ之レカ辨償ノ責アルハ理ノ當然ト云ハサルヘカラス必竟英法ノ理由トスル所ハ此點ニ存スルモノニシテ我商法ニ於テモ亦此理由ヲ採用セハ可ナルヘキニ事茲ニ出テスシテ論理上正確ナラサル間接ノ損害中ニ差加ヘタルハ實ニ余輩ノ疑訝ニ堪ヘサル所ナリ

以上ヲ以テ保險者ニ於テ辨償ノ責任アル場合ヲ講述シ終レリ依テ是レヨリ保險者ニ於テ賠償スルノ義務ナキ損失ニ付キ講述スヘシ

第一 被保險者カ止ムヲ得サルニアラスシテ任意ニ加ヘ又ハ加ヘシメタル喪失(第六百三十五條)

抑保險者ノ賠償スヘキ損失ハ必ス不虞ノ危険ニ依ルカ若シクハ其不虞ノ危険ヲ防止スル爲メ生シタルモノナラサルヘカラス故キ以テ防止ノ必要アラサルニモ拘ラス任意ニ加ヘ若シクハ他人ヲシテ加ヘシメタル損失ハ保險人ニ於テ辨償スルヲ要セス而シテ其任意ニアラサル所爲ヨリ生シタル損失ナル以上ハ假令被保

險者ニ於テ發狂若クハ醉狂ニ因リ生シタルモノニテモ又ハ懈怠過失若クハ不注意ヨリ起リタルモノニテモ保險者ハ決シテ辨償ノ責ヲ辭スルヲ得サル可シ茲ニ注意スヘキハ懈怠及不注意ノ標準ハ如何ニシテ之ヲ定ムルヤト云フニ假令ハ被保險者カ己ノ家屋ヲ保險ニ付シタルヲ以テ縱令如何ナル不注意ヲ爲シ失火スルモ毫モ損失ヲ招ク所ナシトシテ注意ヲ欠キ爲メニ家屋ノ燒失ヲ來シタル時ノ如キハ保險者ハ辨償ノ義務ナキコト勿論ナリ何トナレハ保險ニ附シタルカ故ニ注意ヲ缺クニ至リタルハ取リモ直サス自ラ任意ニ損害ヲ加ヘタルト同一ナルヘケレハナリ只其不注意若シクハ懈怠カ保險ニ附セサル以前ト同一ナリシ場合ニ當リ是等ノ不注意若シクハ懈怠ノ原因ニ依リテ生シタル損失ハ保險者ニ於テ之ヲ辨償セサルヘカラス

## 第二 被保險物ノ性質ヨリシテ直接ニ生スル損失(同上)

例ヘハ硝子又ハ陶器等ハ性質上破碎シ易キモノナレハ之レカ運搬ノ途中多少ノ損失アルヘキハ普通ノコトナレハ斯ノ如キ損失ハ保險者ニ於テ其責ヲ負ハサルモノトス



第三 被保險物固有ノ瑕疵ヨリ直接ニ生スル損失(同上)

例セハ火樂ノ製造ノ粗惡ナルヨリ發火シテ燒失シタル場合ノ如シ此場合ハ固有ノ瑕疵ニ基クモノナレハ保險者ハ之レカ辨償ノ責ヲ負ハサルヘシ

第四 被保險物當然ノ使用ニテ直接ニ生シタル損失(同上)

例セハ船舶ノ航海ニヨリ多少磨滅セシ場合ノ如キモノニシテ是レ畢竟當然ノ使用ヨリ生シタルモノナレハ保險者ハ其責ナカルヘシ

以上第二第三第四ノ場合ニ於テ保險者ハ何故ニ辨償ノ義務ナキヤト云フニ是等ノ損害タル被保險物ノ性質ト効用ニヨリテ豫シメ明白ニ推知シ得ヘキモノ、ミニシテ常ニ免カル可ラサルモノナリ然ルニ損失ノ偶成ト危險ノ不測ナルコトハ保險ノ基ク所ノ一大原則ナレハナリ

第五 戦争又ハ暴動ニ依リ生セシ損失(第六百五十二條)

此場合ノ損失タル保險者ニ於テ常ニ辨償ノ義務ナキニアラスシテ特別ニ明約ノ存セサル時ニ限り其責ナキモノトス何トナレハ戦争又ハ暴動ハ特ニ土地ヲ限リテ起ルモノニシテ而シテ其土地ニ於テハ其危險タル非常ニ大ナルモノナレハ若

シ斯ル危險ヲ保險シタルトキハ保險者ニ於テ特ニ多額ノ保險料ヲ領取セサルヲ得サルヲ以テ明カニ契約セサレハ保險者ニ於テ其責ナキハ當然ノコトナレハナリ故ニ通常一般ノ保險契約ヲ取結フ場合ニ際シ假令廣義ノ文字ヲ用ヒ其文意中ニハ自然戦争或ハ暴動ヨリ生スル損失ヲ包含スルモ保險者ハ其責ヲ負フコトナカルヘシ故ニ必ス特別ニ明言ヲ以テ締結スヘキナリ

保險營業

第十一章 保險營業

抑々保險營業ナルモノハ他ノ諸般ノ營業ト異ナリ其利害ノ及フ所廣ク且大ナリ又其營業タル永遠ヲ期スルモノニシテ特ニ彼ノ生命保險ノ如キハ多クハ人ノ一生涯ヲ期スルモノナレハ最モ永キ期間ヲ要スルモノナリ又保險營業ハ性質上極メテ詐欺ノ行ハレ易キモノニシテ其經營ノ宜シカラサルヨリ生スル危險ハ實ニ甚少ニアラサルナリ故ニ何國ニ於テモ保險營業ヲ特別ノ營業トシ頗ル嚴密ナル監督ノ下ニ附セリ我カ新法典ニ於テモ亦之ヲ慮カリ商法第六百八十九條ヨリ第六百九十八條ヲ以テ之レカ規定ヲ設ケ以テ其弊害ヲ除去センコトヲ庶幾シテ會社タルト組合タルト將タ一箇人タルトヲ論セス苟モ保險ノ營業ヲ爲シタルトキ

ハ左ノ規定ニ服従スヘキモノトセリ

第一、保險營業ヲ爲サントスルモノハ總テ官許ヲ受ケサルヘカラス即チ農商務省ノ許可ヲ受クルヲ要ス(第六百八十九條第六百九十八條)

第二、保險營業ヲ爲スモノハ何時ニテモ年々支拂フヘキ被保險額ノ少クトモ平均二倍ニ滿ツル準備金ヲ備ヘサルヘカラス而シテ其準備金ノ備ヘ方ハ十分安全ナル方法ニ利用シ其證券ヲ裁判所ニ寄託スルヲ要ス例ヘハ公債證書ヲ購入シ之レヲ裁判所ニ預ル等ノ如シ(第六百九十條)

第三、保險營業者ハ少クトモ毎年一回其年ノ收支一覽表及貸借對照表ヲ作り之ヲ公告セサルヘカラス且各社員及各被保險者ニ之レヲ送達スルヲ要ス蓋シ這ハ其營業ノ現情ヲ知ラシムル爲メ必要ニシテ一ハ取引人ノ注意ヲ喚起シ一ハ監察ノ便ニ供スル爲ナリ(第六百九十一條)

第四、裁判所ハ何時タリトモ被保險者ノ申立アルトキハ保險者ノ營業ヲ検査スルコトヲ得此場合ニ於テ裁判所ハ一人又ハ二人以上ノ鑑定人ヲシテ検査セシメ其結果ヲ被保險者ニ通知シ及ヒ公告スル權利ヲ有ス然レトモ其被保險者ノ申立

ニシテ或ハ要用ナキカ又ハ惡意ニ出ツルモノナルトキハ裁判所ハ之ヲ却下スルコトヲ得ヘシ若シ又十分ノ理由アル者トシテ検査シタル後ニ至リ其理由ナキコトヲ發見シタルトキハ申立者ヲシテ其費用ヲ負擔セシムルモノトス之ニ反シ申立ニシテ十分ノ理由アルモノナルトキハ検査及公告ノ費用ハ保險營業者ニ於テ負擔セサルヘカラス又此検査權ハ單ニ裁判所ニ屬スルモノニアラスシテ行政官廳ニ於テモ亦之レヲ爲スコトヲ得此場合ノ行政官廳トハ保險營業ヲ監督スル官廳ニシテ即チ農商務省ヲ云フ又裁判所トハ如何ナル裁判所ヲ指サヤト云フ

ニ保險營業所又ハ代辨人ノ營業所ヲ管轄スル所ノ裁判所ヲ云フ(第六百九十二條)

第五、保險營業者ニシテ一部類ノ營業ヲ爲スニ止マラス他ノ部類ノ保險營業ヲ爲スカ又ハ全ク別種ノ營業ニ從事スルトキハ各營業ヨリ生スル所ノ收入ハ其各營業ニ分チテ之ヲ積立又ハ使用スルヲ要ス其理由ハ種々ノ保險營業ヲ爲シ又ハ他ノ業務ヲ併セテ營ムトキニ當リ若シ之カ收入ヲ分別セサルニ於テハ一種ノ營業ヨリ生スル失敗ハ以テ他ノ別種ノ營業ニ迄影響ヲ及ホスモノナレハナリ而シテ此規定ハ保險營業者ノ破産ノ場合ニモ亦之レヲ適用スルモノトス故ニ一保險

業ニシテ破産スルニ至ルモ決シテ他ノ營業ニハ影響セズ若シ其分配後殘餘アルトキハ第千四十五條ノ規定ニ從ヒ他ノ債權者ニ分ツモノトス(第六百九十三條)

第六、保險營業者ニシテ第六百九十四條乃至第六百九十三條即以上講述セシ所ノ第二ヨリ第五マテノ規定ニ背キタルトキ又ハ被保險者ノ承諾ヲ得ヌシテ他ノ會社ト合併シ若シハ被保險者ニ告知シタル規則ヲ變更シ又ハ事實上其規則ヲ犯シタル場合ニアリテハ各被保險者ハ何時コトモ保險ヲ解除シ其拂込ミタル現支拂期限間ノ保險料總額ノ償還及拂込當日ヨリノ法律上ノ利息ヲ請求スルコトヲ得ヘシ(第六百九十四條)

第六百九十四條中其拂込ミタル現支拂期間ノ保險料ナル文字アリ此意味タル既ニ拂込ミタル保險料中其現支拂期間中ノモノヲ指スモノニシテ既ニ經過シタル支拂期間ノ保險料ヲ云フニアラサルナリ例ヘハ明治廿年ヨリ保險ニ附シ年々保險料ヲ仕拂フヘキコトノ定メタルトキニ當リ明治廿四年ニ至リ被保險者ニ於テ保險ヲ解止シタルトキハ被保險者ハ明治廿四年度ノ保險料ノ償還ヲ求ムルヲ得ヘシ是レヨリ以前ノ保險料ハ決シテ之レヲ取戻スコトヲ得サルナリ元來保險料

支拂期間ヲ定ムルトキハ其時々ノ保險料ハ其都度々々ニ効用ヲ終ルモノニシテ其効ヲ遂ケタルモノハ毫モ之レヲ取戻シ得サルモノトス

第七、破産ノ通則第九百七十八條ニ依レハ仕拂ヲ停止シタルトキニアラサレハ債權者ハ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ保險ノ場合ハ此規定ノ例外ニ屬スルモノニシテ縱令保險者ニ於テ未タ仕佛ヲ停止スルニ至ラスト雖トモ若シ將來ノ義務ヲ履行スル能ハスト豫知スルコトヲ得ヘキ實況ニ立至ルトキハ被保險者ヲシテ破産宣告ヲ求ムルノ申立ヲ爲スコトヲ得セシメ以テ監督ヲ嚴ニセリ(第六百九十五條)

第八、保險營業者ハ其營業地ヲ支配スル所ノ裁判所ノ裁判權ニ服從セサルヘカラス又本店ノ所在地以外ニ於テ代辦人ヲ以テ保險契約ヲ取結フ者ハ其契約ニ付テハ代辦人ノ營業所ノ地ヲ管轄スル裁判所ノ裁判權ニ服從スヘキモノナルヲ以テ從テ營業者ハ其裁判上ノ代人ヲ定メサルヘカラス而シテ若シ之ヲ設ケサルトキハ其代辦人ヲ以テ裁判上ノ代人ト看做スモノトス是レ其監督ニ便ナラシメンカ爲メニ設ケタル規定ナリ(第六百九十六條)

第九、内國ニ置キタル外國保險會社ノ代辦店ハ之ヲ支店ト見做シ支店ニ關スル一切ノ規定ト本章ノ規定トヲ適用ス(第六百九十七條)

第十、茲ニ一言附スヘキハ第六百五十九條ノ場合ニシテ社員相互ノ保險ヲ目的トシテ設立セル會社ニ在テハ其會社ノ定款若シクハ契約ニ從テ萬般ノ權利義務ヲ定メ若シ不充分ノ場合アルトキハ本法ノ規定ニ依リ支配セラル、モノトス

各論

海上保險

保險契約ノ取結

海上保險ノ目的物

第一編 各論

第一章 海上保險

第一節 保險契約ノ取結

第一款 海上保險ノ目的物

抑モ海上保險ナルモノハ航海一切ノ危險ヲ擔保スルモノナレハ其航海ノ危險ニ係ル恐レアル物件ハ總テ海上保險ノ目的物トナスコトヲ得ヘシ是ヲ以テ其航海ノ危險ニ係ル物件ナ一々茲ニ列舉スルハ當ニ其必要ヲ見サルノミナラス蓋亦實際爲シ得ヘカラサルノ業トス然レトモ其目的物中最モ重モナルモノニシテ且ツ普通ノ物件ヲ舉示スルハ蓋シ無用ニアラサルヘシ依テ今之ヲ左ニ列舉セントス

第一 船舶 海上保險ノ目的物中最モ重モナルモノニシテ且ツ最モ普通ナルモノハ船舶ニ若クモノナシ而シテ船舶ナル意義ハ如何ナルヤト云フニ單ニ船体ノミヲ指スモノニアラスシテ船体ニ附着スル所ノ船具、帆檣、武器、大砲、端船及ヒ水夫ノ使用ニ供スル爲メニ船舶ニ積載スル食料其他船舶ニ必要ナル器具ヲモ悉ク包含スルモノトス。

運賃ハ當然船舶中ニ入ルモノナルヤ否ヤノ問題ニ付テハロイスレル氏ノ草案ニ依レハ船舶中ニ包含セラル、モノトセリ然リト雖モ余ヲ以テ之ヲ見レハ此說タル蓋シ誤謬ニアラサルナキカヲ疑ハサルヲ得ス夫ノ普通ノ海上法ニ於テハ船舶ノ負フ所ノ責任ハ尙其運賃ニ及フモノナルコトハ各國其軌ナ一ニスル所ナリト雖モ未タ之ヲ以テ保險法上船舶ナル語中ニ含蓋スルモノトセルノ規定アルヲ見ス而シテ此問題タル頗ル重要ノモノナレハ實ニ輕々ニ看過スヘキニアラサルナリ何トナレハ若シ運賃ヲ以テ船舶中ニ包含スルモノトセハ單ニ船舶ナルモノヲ保險ニ附シタル場合ニ於テモ保險者ハ運賃ノ損失ヲモ並セテ賠償セサルヘカラサルニ至レハナリ

第二 運送貨物 海上保險ノ目的物中最モ古キモノハ蓋シ運送貨物ニ若クモノナシ最初保險法ノ起生セシ原因ハ此運送貨物ヲ保護センカ爲メナリシ抑モ運送貨物トハ船舶ヲ以テ特ニ運送スル貨物ヲ云フ故ニ船客ノ携帶品及ヒ船長船員ノ衣服ノ如キモノハ決シテ此内ニハ含蓄セス又彼ノ船客ノ身体ニ附着スル指環腕環ノ如キモ決シテ運送貨物中ニハ入ラサルモノナレハ若シ是レ等ノ物ニ付キ保險セント欲セハ特別ニ其名目ヲ指摘スルヲ要スルモノニシテ只單ニ運送貨物ヲ保險ニ付シタリト云フモ此等ノ物品ニハ決シテ其効力ヲ及ホサルモノトス

第三 貨物運送貨旅客運送貨 海上法ノ原則第九百二條ニ依レハ貨物運送貨ハ貨物ヲ到達港ニ送致シタル時ニアラサレハ之ヲ請求スルノ權利ナシ故ニ若シ不幸ニシテ運送中船舶ノ沈没等ニ依リ其貨物ヲ喪失スルコトアラシカ決シテ其運送貨ヲ請求スルコトヲ得サルヘシ是ヲ以テ貨物運送貨モ亦保險ニ付スルノ必要アルモノナルカ故ニ之レヲ保險ノ目的物トナスコトヲ得ヘシ佛國法ニ於テハ將來取得スヘキ見込アルニ過キサルモノハ未タ以テ保險ノ目的物ト爲スコトヲ得サルカ故ニ貨物運送貨ノ如キハ決シテ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許サ、レトモ此

法律タル甚タ狹隘ニ失スルモノニシテ英米獨等ノ諸國ニ於テハ皆之ヲ以テ保險ノ目的物ト爲スコトヲ許セリ

旅客運送貨モ亦其性質ハ貨物運送貨ト異ナラス只其異ル所ハ一ハ旅客ヲ運送スルニヨリ得ル所ノ賃銀ナルト一ハ貨物ノ運送ニヨリ得ルモノナルトノ點及ヒ旅客運送費ハ前拂ニシテ貨物運送貨ハ到着ノ上ニテ支拂フノ點ニアルノミ

又此兩者ノ外船舶ヲ他人ニ貸與シ其ノ賃料ヲ得ルコトアリ或ハ船主自ラ自己ノ貨物ヲ運送シテ利益ヲ得ルコトアリ保險法ニ於テハ此等ヲモ亦運送貨ト云フ

第四 貨物賣却利益並ニ仲買人仲立人ノ手数料 貨物ヲ賣却シテ得ヘキ利得並ニ貨物ヲ賣却シテ得ヘキ手数料ハ等シク海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ然レトモ是等ノ利得並ニ手数料ハ普通ノ貨物中ニハ包含スヘキモノニアラサレハ若シ是等ノ物ヲ保險ニ付セント欲セハ特ニ之ニ付キ契約ヲ締結セサルヘカラス佛國ニ於テハ是等ノ物ハ將來ニ得ヘキモノナレハ保險ノ目的物トスルコトヲ許サ、ルナリ英國判事ローレンス氏ハ斯ノ如キモノハ保險ニ付スルコトヲ得ヘシト主張シ其理由ヲ與ヘテ曰ク凡ソ海上ノ事業ニ付テハ事業者ハ既定ノ貨物ヲ

損失スルノ恐ヲ有スルノミナラス其貨物ノ到達港ニ達シタルトキ之レヲ所分シテ當然得ヘキ利益ヲモ併セテ失フノ恐ヲ有スルモノニシテ從テ實際貨物ノ到達港ニ達セサルトキハ其損失タル單ニ現在ノ貨物ノミナラス之レヨリ生スル利得ヲモ併セテ失フモノナリ然リ而シテ保險法ヲ以テ其ノ資本ノ保護ヲ受クルヲ得ル以上ハ又之ヨリ生スル利得ノ保護ヲ受クルコト能ハサルノ理由ナシ且ツ之ヲ保護スルハ實ニ保險法ノ精神ト云フヘシト此説タル眞ニ正鵠ヲ得タルモノニシテ余ハ探テ以テ此場合ノ理由ニ充テントス

第五 冒險貸借債權 冒險貸借債權ノ何者タルハ商法第九百四十六條ノ規定スル所ニシテ簡約以テ之ヲ云ヘハ冒險物ヲ抵當トシテ金圓ヲ貸附シタルヨリ生スル債權ヲ云フ而シテ此種ノ債權ハ通常ノ債權ト異ナリ若シ其抵當タル冒險物ニシテ消失シタルトキハ從テ又債主ハ其債權ヲ失フモノナリ故ニ是亦保險ニ付スルノ必要アルモノトス

第六 海損債權其他船舶債權者ノ債權 海損債權ハ航海ニ於テ或ル危險ニ遭遇シ冒險物ノ一分ヲ投棄スルニアラサレハ其全体ノ安全ヲ保持スル能ハサル如キ

トキニ生スルモノニシテ斯ル場合ニ於テハ船長ハ貨物ノ全部又ハ一分若シハ船舶ノ一部ヲ自由ニ投棄シテ以テ其安全ヲ計ルノ權アリ而シテ其放棄ヨリ生スル損失ハ冒險者一同ニテ各其冒險物ノ價格ニ比例シテ負擔スヘキモノニシテ放棄物ノ所有者ハ自ラ負擔スヘキモノヲ除キテハ他ノ冒險者ニ對シテ辨償ヲ求ムルヲ得可シ此債權ヲ稱シテ海損債權ト云フ而シテ此海損債權ハ安全ニ到達シタル冒險物即貨物及船舶等ニ對シテ効力ヲ有スルモノナレハ放棄セラレサル冒險物ニシテ其後ニ生スル危險ノ爲メ再ヒ尋テ損失スルニ至ルトキハ海損債權ハ從テ消滅スルモノナリ是其保險ノ目的物ト爲ヌヲ得ヘキ所以ナリ  
其他ノ船舶債權トハ文字其レ身体ノ示スカ如ク船舶ノ負擔スヘキ債權ヲ指スモノトス

第七 保險者自身ノ利益 保險者カ保險シタル物件ノ損失シタル場合ニ於テハ保險者ハ被保險者ニ對シ損失ヲ賠償セサルヘカラサル義務アリ而シテ保險者ハ此義務ニ付更ニ保險契約ヲ取結フヲ得可シ  
以上ハ保險ノ目的物中重要ナルモノニシテ之レヲ外ニシテ尙他ニ許多ノ目的物

アリ要スルニ航海ノ危険ニ逢フヘキモノハ皆海上保険ノ目的物ト爲ヌヲ得ヘキモノト知ル可シ

講述茲ニ至リ諸君ノ注意ヲ要スヘキモノアリ即チ第九百五十三條第三項ニ規定スル所ノ船舶乗組員ノ給料及ヒ報酬ハ保險ニ付スルヲ得サルコト是レナリ船舶乗組員トハ船長水夫及ヒ其他ノ海員ヲ云ヒ給料トハ職務ニ對スル報償ヲ云ヒ報酬トハ過當ノ勞働ヲ爲スニ因リ得ル所ノ報償ニシテ給料ノ外ニ別個ニ受クルモノヲ云フ此ノ規定ハ公益上ヨリ出タルモノニシテ第八百八十條ト同一ノ精神ニ基ツクモノトス其第一項前段ノ規定ニ曰ク船舶カ航海ヲ終ラサル前ニ沈没シタルトキハ海員ハ給料ノ請求權ヲ失フト故ニ若シ其ノ給料ニ付キ保險契約ヲ締結シ得ヘシトセハ海員ハ船舶ノ沈没ニ依リ給料ヲ失フト雖モ保險者ヲシテ之レヲ賠償セシメ得ルカ故ニ結局全額ノ給料ヲ得ルト等シキ結果ヲ來スヲ以テ或ル危険ノ發生ニ際シ海員ニシテ勞働セサルコトアルコトヲ憂慮シテ之ヲ保險ニ付スルヲ得スト規定シタルモノナリ然リト雖モ第九百五十三條第三項ノ規定ヲシテ船長ノ給料ニ迄及ホシタルノ一事ハ余輩ノ最モ疑訝ニ堪ヘサル所ナリ商法第二

編第四章ニ於テ明カニ船長ト海員トハ別異トシタルヲ以テ海員中ニ船長ヲ包含セサルヲ知ルヘシ去レハ第八百八十條ハ船長ニ適用スヘカヲサルコト勿論ナリ故ニ船長ハ其船舶ノ沈没セルト否トニ關セス其給料ヲ請求スルヲ得ヘシ既ニ其給料ヲ請求スルコトヲ得ルトセハ敢テ之レヲ保險ニ付スルコトヲ禁スルノ要ナカルヘシ彼ノ英國ニ於テハ運賃ハ給料ノ母ナリトノ原則アリテ今日ハ已ニ廢滅ニ歸セリト雖モ昔時ハ專ラ此原則ヲ遵守シタリ然レトモ其當時船長ノ給料ヲ保險ニ付スルコトハ之ヲ許セリ蓋シ此原則ニ從ヘハ給料ヲ得ント欲セハ運賃ヲ得ル時期ニ達セサルヘカヲス運賃ヲ得ント欲セハ貨物ヲ到達港ニ致サ、ルヘカラサルナリ故ニ假リニ我カ第八百八十條ヲ以テ船長ニ適用スルトスルモ英法ニ從ヘハ尙船長ハ其給料ヲ保險ニ付スルコトヲ許セリ況ンヤ本邦ノ第八百八十條ハ之レヲ船長ニ適用セサルニ於テオヤ余輩ハ其奇々怪々タルニ驚カスンハアラサルナリ

余ハ是レヨリ被保險物ノ價額ニ付キ講述スヘシニ代ル

凡ソ被保險物ノ價額ヲ計算スルノ方法ハ之ヲ單純ノ理論ヨリ云ヘハ被保險者ヲ

被保險物  
ノ價格

シテ可成損失ニ對シテ充分ナル補償ヲ得セシムルノ方法ニ據テサルヘカラス換言スレハ被保險物ノ價額ヲ計算スル目的ハ被保險者ヲシテ恰モ損失ノ起ラザリシトキト同様ノ地位ニ置クノ方法ニ依ラサルヘカラス今試ミニ此原則ヲ以テ運賃船舶及ヒ運送貨物ノ各場合ニ適用シテ以テ之ヲ證明セントス

抑々船舶ナル言辭ハ昔時ト今日トハ大ニ異リタル意義ヲ有スルモノニシテ昔時ニ在リテハ船舶ハ船主カ自己ノ貨物ヲ運送スル機械ニ過キサリシカ今日ハ然ラズ船舶ハ他人ノ貨物ヲ運送シテ以テ他人ヨリ運賃ヲ得ルノ機械ナリトス故ニ今日ニアリテハ船舶ノ利益トハ船主カ其得ル所ノ運賃ヨリ雇人ノ給料食料等一切ノ航海費用ヲ引去リ且其使用ヨリシテ自然生シタル損耗ヲ引去リテ其殘リシモノニ止ムヘキナリ此殘金コソ實ニ船主カ船舶ニ對シテ投セシ資本ヨリ生スル純利ニシテ被保險者カ船舶ノ保險ニ依リ賠償ヲ得ヘキ金額ナリト謂ハサル可ラス何トナレハ船舶カ幸ニシテ損失ヲ受ケス到達港ニ着シタルトキノ價格ハ實ニ之ニ止マルヘキヲ以テナリ

次ニ運賃ニ付テ之ヲ云ヘハ船主カ船舶ノ安全ナル到着ノ上受クヘキ金額ヲ以テ

運賃ノ價格ト爲サ、ル可ラス尙之ヲ詳言スレハ之ヲ得ル爲メノ海員ノ給料其他ノ費用ヲ差引キタル運賃即純益運賃ヲ以テ其價格ト爲サ、ル可ラス何トナレハ船舶ノ損失シタルカ爲メニ船主ノ失フヘキモノハ實ニ之ニ止マレハナリ

最後ニ運送貨物ニ付テ云ハソニ運送貨物ノ價額ハ到達港ニ達シタルトキノ價額ニ依ルモノトス即其内ニハ運送賃及ヒ税金積入費等ヲ差加ヘタルモノナラサル可ラス

然レトモ本邦及歐米諸國ノ法律習慣ニ於テハ此ノ如キ理論上ノ計算方法ハ行ハレズ本邦並他邦ノ一般ニ採用スル所ノ主義ハ被保險者ヲシテ一ノ損失ヲ蒙ラザリシトキト同一ノ地位ニ置カスシテ實際危險ノ始マルトキノ原狀ニ復セシムルニアリ即チ出立港ノ價額ニ依ルヘキモノト爲セリ故ニ理論上ノ價額ヲ定ムル方法ト法律上ノ方法トヲ比較セハ船舶及運賃ニ付テハ法律ノ規定ニ從フヲ以テ被保險者ノ利益トスレトモ運送貨物ニ付テハ理論上ノ方法ニ從フヲ利益トス而シテ保險ニ記價保險ト不記價保險ノアルコトハ既ニ總則ニ於テ論述セル所ナリ若シ保險カ記價ナルトキハ勿論以上ノ計算方法ニ從フヲ要セサルヲ以テ此場合ノ



規定多クハ不記價保險ニ適用スルモノト云ハサルヘカラス  
 我法律ニ依レハ通則ニ於ケル被保險價額計算ノ方法ヲ海上保險ニハ適用セサル  
 場合アリ即海上保險ニ關シテハ別ニ之カ規定ヲ設ケタリ今左ニ之ヲ講述セム  
 第一 運送貨物ノ價額 海上保險法ニ於テ運送貨物ノ價額ニ付テ毫モ規定スル  
 所ナシ故ニ運送保險ノ規定即第六百七十五條ヲ適用シテ之カ價額ヲ定メサル可  
 ラス同條ニ曰ク價額ヲ保險證券ニ記載セサル場合ニ於テ損害ノ價額ヲ評定スル  
 ニハ最初ノ代價及其附帶ノ費用ヲ標準トス云々ト茲ニ所謂最初ノ代價トハ原價  
 即荷主ノ買入代價ヲ云フ附帶ノ費用トハ運送費用手數料保險料及關稅等ヲ云フ  
 故ニ不記價保險證券ノ場合ニ於テハ原價ト附帶ノ費用ヲ併セタルモノヲ以テ貨  
 物ノ價額ノ標準トセリ又原價ノ不明ナルモノニ付テハ積込ノ地及時ニ於ケル普  
 通價額又ハ市場價額ニ租稅保險費用運送費用及ヒ被保險者ノ負擔ニ歸スル運送  
 費用ヲ算入セシモノヲ以テ標準ト定メタリ(同條後段)爰ニ普通價額又ハ市場價額  
 トアレトモ格別ノ差異アルモノニアラス普通價額トハ商品ニアラサルモノ、價  
 額ノ謂ニシテ市場價額トハ商品ノ價格ヲ指シタルモノナリ又保險費用トハ單ニ

保險料ノミヲ指スニアラスシテ保險仲買人ノ手數料其他印紙代及ヒ保險契約締  
 結ニ關スル費用等ヲ含蓄ス又積込ミノ費用ハ勿論及之レニ關スル準備ノ費用即  
 荷造費及端船運賃等ヲモ包含スルモノトス  
 第二 船舶ノ價額 船舶ノ價額ヲ評定スル方法ハ第九百五十四條ニアリ曰ク船  
 舶ノ被保險價額ハ危險ノ始マル時及ヒ地ニ於テ船舶ノ有スル價額トスト此場合  
 ノ規定ハ前ト同シク又出發港ノ價額ニ依ルノ主義ヲ採レリ而シテ此價額中ニハ  
 艤裝ノ入費食料貯蓄品航海準備及ヒ前拂ナルトキハ水夫ノ給料等ヲ包含シ且ツ  
 保險料保險手數料並結約費モ亦此中ニ入ルモノナリ  
 第三 運賃ノ價額 運賃ノ價額ニ關シテハ商法ニ其規定ナシト雖モ運賃ノ價額  
 モ亦前ト同一ノ主義ニ則ルヘキヲ以テ其中ニハ總運賃及其保險手數料等ヲ含蓄  
 シタルモノトス運賃ヲ得ルニ必要ナル費用ハ之ヲ差引クヲ要セス  
 第四 冒險貸借及ヒ海損債權ノ價額 此規定ハ第九百五十六條ニ在リ凡ソ此種  
 ノ債權額ハ其債權ノ高ニ依ルモノニシテ若シ冒險抵當物又ハ其擔義務ヲ負フ物  
 ノ價額ニシテ其債權額ニ滿タサルトキハ其冒險抵當物又ハ其擔義務ヲ負フ物ノ

價額ニ依レリ故ニ例ヘハ二万圓ノ價額ヲ有スル物件ニ對シ一万五千圓ノ債權アルトキハ此場合ノ價額ハ二万五千圓ニアラスシテ一万圓ナリトス

第一款 海上危險并ニ期間

抑々海上ニ於テ起ルヘキ危險ハ種々アリト雖モ之レヲ大別シテ二種ト爲スコトヲ得ヘシ即其第一種ハ海上ニ非レハ生セサルモノニシテ例セハ海難、衝突、坐礁、膠沙等ノ類是ナリ而シテ其第二種ハ單ニ海上ニ於テノミ生スルモノニアラス陸上ニ於テモ亦等シク生スヘキ危險ナリトス即火災、盜難ノ如キ是ナリ今試ニ海上危險ノ重ナルモノヲ擧シレハ法文ニモ明示スル如ク暴風雨、破船、沈没、坐礁、膠沙、流水、衝突、投荷、火災、破裂、盜難、劫掠等ナリ(第九百五十九條第一項)故ニ是等ノ危險ニ付テハ特ニ列擧シテ保險ヲ取結フヲ要セス海上ノ危險中ニ當然包含スルモノトス去レハ海上危險ナル語ハ甚ダ汎博ナル意味ヲ有スルモノニシテ凡テ海上ニ於テ生スル不慮ノ危險ハ皆悉ク包含スルモノナリ然レトモ戰爭其他總テ國ノ處分ニ出ツル危險ハ一般ノ海上危險中ニ含蓄セサルモノナルヲ以テ若シ之レニ付キ保險ヲ取結ハント欲セハ須ク特別ノ契約ナカルヘカラス(第九百五十九條第二項)

尙一言スヘキハ九百五十七條ノ規定ナリ全條ニ於テハ保險契約取結ノ後戰爭起リ其他總テ國ノ處分ニ出ツル危險生シタルトキハ當事者ハ契約ヲ解除スル權利ヲ有ス但シ保險料ノ相當ナル増加ヲ豫定シタルトキハ此限ニアラストシ其第二項ニ於テ既ニ支拂ヒタル保險料ハ契約解除ノ場合ニ在テハ之ヲ償還スルコトヲ要ストセリ故ニ保險契約ヲ取結ヒタル後ニ至リ戰爭又ハ國ノ處分ノ起リタルトキハ當事者ハ契約ヲ解除スルコトヲ得可シ  
此規定ハ果シテ何等ノ理由ニ出テタルヤ余ハ之ヲ知ルニ苦ムモノナリ例ヘハ茲ニ一月一日ニ於テ一ケ年間ノ保險ヲ取結ヒタルニ三月一日ニ戰爭起リタリトセシカ本條ニ依レハ三月一日以前ニ於テ已ニ通常危險ノ爲メニ損失ノ起リタル場合ト否ラサル場合トヲ問ハス解約スルヲ得ルモノト爲サ、ル可ラス然レトモ戰爭其他國ノ處分ニ出ツル危險ニ付テハ特約ヲ要シ通常保險者ハ之ニ對シテ責任ナキコトハ第九百九十九條ノ規定スル所ナレハ斯ノ如キ規定ノ必要アルヲ見ス強テ立法者ノ意思ヲ推測シテ之カ理由ヲ付スレハ蓋立法者ハ戰爭又ハ國ノ處分ニ出ツル危險ノ生シタルトキハ其他ノ危險モ亦從テ増加スルモノト爲シ果シテ

然ルトキハ結約當時ノ豫見ニ合致セサルニ至ルトノ理由ヨリシテ生セシモノナ  
ラフ歟

且又本條ニハ單ニ保險契約取結ノ後トアリテ其保險契約トハ普通ノ保險契約タ  
ルコトヲ指示セサレハ之ヲ解シテ通常ノ保險契約ハ勿論戰爭及國ノ處分ニ付テ  
ノ特別ノ保險契約ニ關スルモ亦後日戰爭又ハ國ノ處分起リタルトキハ之ヲ取消  
シ得ヘキモノナルカ如シ何トナレハ本條但書ハ保險料ノ相當ナル増加ヲ豫定シ  
タルトキノミ例外ト爲シタルニ止マリ特約ノ場合ヲ例外ト爲サレハナリ然レ  
トモ如此解釋ハ法文ノ不備ヨリ生スルモノナレハ宜シク保險契約取結ノ後トハ  
普通保險契約取結ノ後ト爲シテ正當ノ解釋ヲ下スヘキナリ

危險ノ期  
間

是ヨリ危險ノ期間ニ付キ講述セントス而シテ余ハ本講ニ於テモ亦船舶運賃及ヒ  
運送貨物ノ三場合ニ區別シテ分論セン

第一 船舶ニ關スル危險ノ期間 船舶上ノ危險ハ特ニ明約アルニアラサレハ保  
險シタル航海ヲナサンカ爲メ積荷又ハ底荷ノ積入レヲ始メタル時ヨリ起始シ積  
荷ノ船卸ヲ終リ又ハ不當ノ遲延ナクシテ當然終リ得ヘキ時ニ終了スルモノトス

(第九百五十五條)而シテ積入レノ始マルトキトハ何時ヲ指サヤト云フニ荷物ヲ船  
舶ニ積載センカ爲メ其陸地ヲ離ル、時ヲ云フ故ニ未ダ本船ニハ達セサルモ荷  
モノ本船ニ運搬スルノ目的ヲ以テ端船ニ積入レタルトキハ已ニ保險上ノ船舶ノ危  
險起始スルモノトス又船卸ノ終リタル時トハ現ニ陸上ケヲ終リタル時ヲ云フ而  
シテ又假令陸上ケヲ終了セサルモ不當ノ遲延ニ依リ陸上ケスヘキ時ヲ經過シタ  
ルトキハ其當然終了スヘキトキヲ以テ危險ハ終了スヘシ又未ダ荷物ヲ陸上ケセ  
ス或ハ陸上ケノ終リ得ヘキ時ノ經過セサル場合ニアリテモ若シ荷受人ニ荷物ヲ  
引渡シ又ハ荷受人自ラ監督シテ荷物ヲ端船ニ引取ルトキハ危險ハ茲ニ消滅ニ歸  
スルモノトス此規定ハ歐洲大陸多數ノ採用スル所ナリ然レトモ此點ニ關スル英  
國法ハ佛國法ニ比スレハ稍々其規定ヲ異ニセリ即チ佛國法ニ於テハ本船出帆ノ  
時ヲ以テ危險ノ起始トスレトモ英國法ニ於テハ敢テ一定ノ規定アルニアラス專  
ラ各場合ニ於ケル契約ノ性質ニヨリテ之ヲ決定スルモノトス  
以上ハ專ラ貨物船ニ付キ説明シタルモノナリト雖モ客船ニ付テモ亦之ヲ適用ス  
ルコトヲ得ヘシ

第二 運送貨物ニ關スル危險ノ期間 此場合ノ規定ハ海上保險ニ之レ無キヲ以テ專ラ運送保險ノ規定ニ依ルヘキモノトス即其第六百七十二條第二項ニ曰ク運送ノ期間ハ別段ノ契約アルニアラサレハ運送人ニ物ノ交付ヲ始ムル時ヨリ受取人ニ其引渡ヲ終フル時マテトス下即チ運送貨物ノ危險ハ其物ノ運送中ハ繼續スルモノトス其運送中トハ貨物ノ運送人ノ手中ニ在ル間ヲ云フ是故ニ其危險ノ起點ハ運送人ノ實際運搬ヲ始メタルトキニアラスシテ運送人カ運送前ニ其貨物ヲ自己ノ倉庫ニ入置シ間ハ勿論運送人又ハ代人ニ於テ貨物ヲ自ラ取寄スヘキトキハ其之ニ着手シタルトキヨリ始マルモノトス而シテ其危險ノ終リハ貨物ヲ受取人ニ引渡スト同時ニ終ルモノニシテ所謂引渡トハ只其到達ノ場所ニ迄送致スルノミニアラスシテ必スヤ其物品ヲ受取人ニ届ケ終ラサルヘカラス然レトモ實際引渡ノ所爲ナキモ之ト同一ノ行爲アルトキハ又引渡アリタルモノトス即受取人自己ノ費用ヲ以テ他人ヲ雇入レ其貨物ヲ受取リタルトキノ如シ若シ又其貨物ニシテ假令運送中一時ノ都合ヨリシテ之ヲ留ムルニ至ルト雖モ尙其危險ハ繼續スルモノトス然レトモ其間貨主カ其貨物ヲ監督スルニ至ラハ茲ニ危險ハ中斷スヘシ

第三 運賃ニ關スル危險ノ期間 此場合ハ法文別ニ規定スル所ナキヲ以テ結局法理ニ從ヒ判斷スルノ外ナカルヘシ凡ソ運賃ヲ保險ニ付スルノ目的タル船主カ運賃ヲ失ヒ又ハ其貸賃ヲ失フヲ保護スルニ在リ故ニ運賃上ノ危險ノ期間ハ之ヲ左ノ二場合ニ分割シテ論スルヲ便トス

(甲) 他人ノ貨物ヲ運送シテ運賃ヲ得ル場合

(乙) 船舶ヲ貸附シテ其賃料ヲ得ル場合

(甲) 此場合ノ危險ハ何時ニ始マルヤト云フニ船主ト貨主トノ間ニ或ル關係ヲ生シ法律上並ニ事實上海上ノ危險起ルニアラサレハ其貨物ヲ運送シテ運賃ヲ得ルノ目的ヲ成就スルヲ妨グルモノ無キニ至リタル時ニ始マルモノトス而シテ其如何ナル情況ニ至ラハ以テ此場合ニ該當スルモノナルヤハ甚タ困難ナル問題ニシテ例セハ貨物ヲ實際船舶ニ積ミ込ミ其船舶ハ今將ニ解纜セントスル時ハ如斯關係ヲ生シタルヤ明カナリ乍併貨物ヲ實際船舶ニ積込マサル場合ニ於テモ又危險ノ始マリタルモノトスルヲ得ヘキトキナキニアラス即チ假令實際貨物ノ積込ミヲ終ラサルモ其船舶ニシテ航海ノ準備充分ニシテ且ツ貨物モ亦積入レノ準備全

シ成リタルトキハ保險法上ノ危險ハ既ニ始マルモノト云フヲ得ヘシ何トナレハ  
 此場合ニ運賃ヲ得ルヲ妨グルモノハ海上ノ危險ヲ除キテ他ニアラサレハナリ  
 (乙) 此場合ハ船舶貸借ノ有効ナル契約アレハ假令貨物ヲ積込マサルモ危險ハ茲  
 ニ始マルモノトス故ニ此場合ニ於テハ貨物ハ既ニ船舶ニ積載セラレタルヤ否或  
 ハ積入レノ準備充分ナリヤ否ハ毫モ探究スルノ必要ナキモノナリ乍併船舶貸借  
 ノ契約ハ有効ニシテ且ツ其履行ニ着手セラレタルモノナラサルヘカラス若シ單  
 ニ契約アリタルノミニシテ未ダ履行ニ着手セサルトキハ危險ハ決シテ始マリタ  
 ルモノニアラス是レ其注意ヲ要スル點トス

擔保

第三款 擔保

凡ソ擔保ニハ其意味數多アリト雖モ茲ニ所謂擔保トハ受合即「ワーランチャー」ナリ  
 トス而シテ此擔保ニハ明意ニ出ツルモノアリ暗黙ニ生スルモノアリ以下之レヲ  
 分論セム

明意ノ擔保

第一項 明意ノ擔保

明意ノ擔保ハ保險者被保險者間ニ明カニ約束シテ擔保セル場合ナレハ其詳細ナ

ル事柄ハ茲ニ論述スルノ要ナカルヘシ乍併茲ニ一言スヘキハ其明意ノ擔保ナル  
 ト暗黙ノ擔保ナルトチ問ハス保險法上ニアリテハ通常契約ニ所謂擔保トハ大ニ  
 差異アルモノナルコト是ナリ通常契約ニアリテハ擔保ハ主タル契約ニ附從スル  
 契約ニシテ其主タル契約ニシテ無効ナルニ於テハ從タル擔保ハ亦當然無効ニ歸  
 シ又其從タル擔保ニシテ履行セラレサルモ主タル契約ハ依然存在スルモノナリ  
 然ルニ保險法上ニアリテハ擔保ハ主タル契約ノ條件ナレハ擔保ニシテ履行セラ  
 レサルコトアラソカ主タル契約ハ茲ニ消滅スルモノトス是レ其ノ異ナル點ナリ  
 今此明意ノ擔保ハ通例如何ナル場合ニ於テ之レヲ爲スヤチ參考ノ爲メ一言セン  
 即チ

- 第一 出帆ノ期日
  - 第二 或ル格段ノ場合ニ於テ此船舶安全ナリトノ擔保
  - 第三 此船舶ハ護衛船ヲ伴フテ出帆スルトノ擔保
  - 第四 保險ノ目的物ハ局外中立國ノ財産ナリトノ擔保
- 等是ナリ

第一項 暗黙ノ擔保

海上保險法上暗黙ノ擔保ハ左ノ如シ

第一 船舶ノ適航ナルコト

第二 船舶ハ線路又ハ航海ヲ變更セサルコト

然レトモ我商法ハ之ヲ以テ暗黙ノ擔保ト認メサルカ如シ次節ニ於テ之ヲ論スヘシ

第一 船舶ノ適航

船舶ノ適航ナルコトハ最モ必要ナル事柄ニシテ適航トハ船舶ガ航海ヲ始ムルトキニ當リ普通尋常ノ危險ニ抵抗スルヲ得ルニ足ル所ノ船体機裝及ヒ船長海員等ヲ具備シ且ツ總テノ必要品ヲ積載シタルノ有様ヲ云フ約言スレハ航海ノ用ニ耐ユルト云フノ義ナリ而シテ果シテ如何ナル船舶ハ適航ノモノト云フヲ得ヘキヤハ事實上ノ問題ニシテ航行ノ場所及ヒ其時季ニ因リ多少ノ差異アルモノトス即内海航ト大洋航海夏季ノ航海ト冬季ノ航海等多少其間ニ區別ナカルヘカラス故ニ此問題ニ對シテハ各事件ニ從テ其適航如何ヲ推定スルノ外ナキナリ

此船舶ノ適航ナルコトノ擔保即請合タル甚タ必要缺クヘカラサルモノニシテ商業并ニ人命ヲ保護スル爲メニハ之ヲ措テ又他ニ其方法ヲ發見スルヲ得サルナリ故ニ其何國ノ法律ニ於テモ其船舶ハ航海ニ耐フルモノナリヤ否ヲ検査スルノ方法ヲ設ケ若シ船舶カ不適航ノ物タルトキハ其條件ヲ破リタルモノトシテ保險契約ハ無効ニ歸スルノ規定ヲ爲セリ然レトモ此條件ハ時期保險ノ場合ニハ之ヲ適用スルヲ得サルモノニシテ之ヲ適用スルハ其航期保險ノ場合ナリトス故ニ航期保險ノ場合ニ於テ此請合ヲ免カレント欲セハ明カニ特約ヲ以テ其旨ヲ契約セサルヘカラス而シテ此請合ハ保險契約上一ノ條件ト見做スヘキモノナレハ苟シモ此請合ヲ破ルコトアラハ其意思ノ如何ヲ問ハス保險契約ハ無効ニ歸スルモノトス故ニ假令善意ニシテ相當ノ注意ヲ施スモ遂ニ船舶ノ不適航ヲ見出シ得サリシトキト雖モ若シ事實其船舶ハ航海ニ耐エサルモノナルニ於テハ法律ハ其契約ヲ無効トスルコトヲ毫モ躊躇セサルナリ勿論此請合タル被保險船ノ航海ヲ始ムルトキニ存スルモノニシテ既ニ航海ヲ始メタル後ニ不適航トナルトキハ決シテ保險契約ニハ影響セサルナリ

## 第二 線路又ハ航海ノ變更

殆ント凡テノ航海ニハ古來ノ經驗并ニ習慣アリテ自ラ安全ナル且最モ直近ナル線路ヲ確定セリ斯ク確定セラレタル線路ハ正當ノ線路ニシテ商業社會ノ者ハ能ク之ヲ熟知スルモノト認メラルヘキヲ以テ保險契約ヲ締結スル者ハ若シ別段ノ契約ヲ爲サ、ルトキハ此事柄ヲ熟知シテ結約セルモノト見做サルヘキナリ故ニ被保險者ハ此經驗并ニ習慣ニテ一定シタル線路ヲ嚴正ニ遵守スルニアラサレハ保險契約ノ利益ヲ受クルコトヲ得ス又保險者ハ被保險者カ一定ノ線路ヲ嚴正ニ遵守スルノ條件ヲ以テ賠償ノ義務ヲ負フモノトス而シテ若シ此條件ヲ破ルニ於テハ其意思ノ善惡如何ヲ問ハス保險契約ハ無効ナルモノナリ

線路變更トハ此經驗及習慣ノ測定セル通常ノ線路ヲ故意ニ并ニ必要ナラサルニ變更スルヲ云フ又暗黙ノ擔保中線路變更ト同一ノ性質ヲ備フルモノアリ即保險シタル航海ハ相當ノ時間内ニ仕途ケサルヘカラストノ條件是ナリ凡ソ保險契約ヲ爲ス者ノ意思ハ船舶カ通常ノ線路ヲ進行スルコトヲ以テ條件トナスノミナラズ尙相當ナル時間内ニ於テ航海ヲ起始シ又相當ナル時間内ニ之ヲ終了スヘシト

ノ條件ヲ以テ結約スルモノナリ故ニ其航海ニシテ不相當ノ遲延ヲ爲スコトアラフカ尙其線路ヲ變更シタルト同一ノ結果ニ陥ルモノトス蓋シ保險者カ損失補償ノ責任ヲ負フ場合ハ其保險シタル危險ニ變更ノ生セサルトキニ限ルモノニシテ我商法ニ於テハ保險ノ總則ナル第六百五十四條ニ於テ其規定ヲナセリ元來線路ヲ變更シ又ハ航海ヲ遲延スルコトハ危險ニ變更ヲ及ホスコト勿論ナルヲ以テ此場合ニ於テ保險者ハ危險ニ影響セシコトヲ別ニ證明スルヲ要セス既ニ線路ノ變更又ハ航海ノ遲延ノ事實アレハ全然其保險契約ヲ無効トスルコトヲ得ヘシ且ツ保險者ノ責任ヲ釋免スルニハ後日起リタル所ノ損失ハ必スシモ前日ノ變更ニ關係スルヲ要セス故ニ船舶カ線路ヲ變更シ其間毫モ損害ヲ蒙ラスシテ安全ニ通常ノ線路ニ復シ然ル後損失ヲ招クニ至リタリトスルモ保險者ハ尙其損失ヲ賠償スルノ責任ナシ然レトモ保險者ノ其責任ヲ免カル、ハ線路變更ヲ始メタルト同時ニアルモノナレハ變更以前ノ損失ニ付テハ毫モ其責任ヲ免カル、ヲ得ス又船路ノ變更タルニハ現實ニ變更アリタルヲ要ス唯其線路ヲ變更セントスルノ意思アルノミニテハ未ダ以テ充分ノ變更トナラサルナリ故ニ斯ル場合ニ生スル損失ニ

付テハ保險者ハ決シテ其責任ヲ免カル、ヲ得サルナリ尙一言スヘキハ船長ノ大ナル無識ヨリシテ線路ヲ變更シタルトキハ故意ノ變更ト同一ニ見做シ保險者ヲシテ其責任ヲ免カレシムルコト是ナリ其故如何ト云フニ元來被保險者ハ相當ノ知識及ヒ能力アル船長ヲ雇フヘキ責任アリ然ルニ此場合ニ於テハ其船長ハ決シテ此條件ニ該當シタル者ト云フヲ得サレハ結局船主ハ其船長ヲ雇入ル、ニ付キ大過失アリタルモノナリ故ニ如此場合ニ於テハ尙故意ノ變更ト見做シ保險者ノ責任ヲ釋免スルモノナリ

然レトモ線路ヲ變更スルモ尙正當ノ所爲トナスコトアリ即保險者ノ責任ヲ釋免スルコトナキ場合アリ今此場合ヲ約言スレハ凡ソ線路ノ變更ニシテ有形上又ハ無形上ノ勢力其他正當ノ原因ヨリシテ必要上止ムヲ得スシテ生シタルモノナルトキハ其變更ハ正當ノ變更ニシテ保險者ハ其責任ヲ釋免セラル、コトナシ今其重ナル場合ヲ舉シレハ左ノ如シ

第一、必要ナル修覆ノ爲メニ港ニ寄航シ且必要ナル時間其港内ニ滞留スルハ正當ノ變更ニシテ且正當ノ延滞ナリ又船舶ニ積載セル貨物ノ重キニ過クルカ又

ハ輕キニ過クルヲ以テ航海ノ安全ヲ計ラシカ爲メニ線路以外ニ出ツルモ亦正當ノ變更トス

第二、船舶カ最初出帆スルノ際ニアリテハ充分ノ海員ヲ乗船セシメシモ途中ニ於テ疾病死亡等ノ原由ニ依リ是等海員ニ欲乏ヲ生シ之ヲ雇入ル、ノ目的ニテ線路以外ニ寄航スルモ其變更ハ正當ナリ乍併其欲乏ニシテ最初出帆ノ當時ヨリ已ニ起リ居リシモノナルトキハ先キニ述ヘタル如ク其船舶ハ不適航ノモノナレハ此理由ニヨリ保險者ハ其責任ヲ免カル、コトヲ得ヘシ

第三、暴風雨ノ爲メ船舶カ線路以外ニ漂流スルコトアルモ亦正當ノ變更トス之ト同一ニシテ其暴風雨ヲ避クル爲メ出帆ヲ遅延スルモ可ナリ然レトモ僅カノ暴風雨ノ爲メニ出帆ヲ見合スカ如キハ尙正當ノ延滞トナスコトヲ得サルヲ以テ其暴風雨ハ通常ノ者カ出帆ヲ見合ス程ノモノナラサルヘカラス

第四、掠奪ヲ避ケンカ爲メ線路以外ニ出ツルモ又ハ出帆ヲ延期スルモ其變更及ヒ遅延ハ正當トス乍併此場合ハ掠奪ノ危険ハ現實ニシテ且確實ナルヲ要ス

第五、護衛船ヲ尋ヌル爲メニ通常其在ル場所ニ至リ又ハ其他ノ場所ニ至リタル



カ爲メ線路以外ニ出ツルモ亦正當トス乍併其護衛船ヲ要スルニ至リタルハ船長ノ怠慢又ハ延期ニ基因スルモノニアラサルヲ要ス又護衛船ハ之ヲ近港ニ於テ得ラルヘキニ殊更ニ遠方ノ港ニ之ヲ求ムルカ如キコトナキヲ要ス

第六、我商法ニハ判然ナラサレトモ英米法ニ依ルトキハ難船ノ爲メ將ニ失ハントスル人命ヲ救助センカ爲メニ線路以外ニ出ツルモ正當ノ變更トス此問題ニ付テハ英米兩國ニ於テモ昔時ハ一ノ疑問ニ屬セリト雖モ今日ハ其經濟上ノ利益ト人情ノ道義ヨリシテ之ヲ救助スルヲ以テ正當トセリ我邦ニ於テモ亦タ如此ナラサル可ラサルヲ信ス

貨物ヲ救助センカ爲メ線路以外ニ出ツルモ正當ノ變更ナルヤ否ヤト云フニ米國ニ於テハ此場合ハ線路變更即チ濫出ナリトシ保險者ヲシテ其責任ヲ負ハシムルコトナシ英國ニ於テハ未ダ此點ニ付キ判決ナキモ余ハ其ノ米國ト同一ナランコトヲ恐ル、モノナリ

若シ以上ノ事柄ニ付キ我邦ニ於テ立法上之レヲ論スルコトアラハ余ハ人命ハ勿論貨物ヲ救助スル爲メノ變更モ亦正當ナリト規定セラレンコトヲ希望シテ

止マサルナリ

第七 危險カ目前ニ迫リ且ツ抗拒スルコト能ハサルモノナルトキハ其危險ハ保險者ノ擔保スルモノナルト否トニ拘ハラス之カ爲メ通常ノ線路以外ニ出ツルモ其變更ハ正當ナルモノトス例ヘハ被保險船ノ水夫カ航海中海賊ノ襲撃ヲ受ケンコトヲ懼レ船舶ヲ棄テ、上陸シ或港ヲ回航スルニ非レハ歸船セサルコトヲ以テ船長ニ迫リ船長ハ止ヲ得ス或港ニ立寄ルトキハ正當ノ變更トス以上ハ單ニ其重モナルモノニ過キスト雖モ其他ハ之ヨリ類推スルヲ得ヘケレハ茲ニ喋々セサルヘシ

以上線路ノ變更ニ付キ講了セルヲ以テ是ヨリ航海ノ變更ニ付キ講述セム

余ハ今航海變更ヲ講スルニ當リ諸君ヲシテ其了解ニ便ナラシメンカ爲メ其線路變更トハ如何ナル差異アルヤヲ示シテ以テ本講ヲ了ラントス

第一、航海變更ハ航海其レ自身ヲ變更スルモノナレトモ線路變更ハ航海ノ通路ヲ變更スルモノナリ例セハ東京ヨリ北海道ニ航行スル船舶ニシテ途中新潟ニ立寄リタル如キハ線路變更ニシテ若シ此場合ニ其船舶ハ東京ヲ碇シテ後北海道

ニ航行スルコトヲ止メ長崎ニ航行シタリトセンカ是レ航海自身ヲ變更シタルモ  
 ノニシテ航海變更ナリトス故ニ線路變更ト航海變更トヲ區別スル所ノ標準ハ保  
 險者ノ擔保シタル航海ハ放棄セラレタリヤ否ヤニ在リトス被保險船カ到達港ニ  
 航行スルコトヲ全ク止メタルトキハ航海其物ノ變更ニシテ線路ノ變更ニアラス  
 又航海ノ線路ノミヲ變更シテ到達港ニ航行スルコトヲ廢セサルトキハ線路ノ變  
 更ニシテ航海ノ變更ニアラストス今一例ヲ舉シレハ甲港ヨリ乙港ヲ經テ丙港迄  
 航行スル所ノ船舶ヲ保險ニ付シタリ然ルニ甲港ヲ發スルノ際船主ヨリ船長ニ向  
 テ言テ曰ク丙港ニハ當今戰爭起リ甚ク危険ナリトコトナレハ先ツ乙港ニ立寄  
 リ丙港又ハ丁港ノ何レヘ航行スルカ最モ安全ナリヤヲ探知シテ以テ其安全ナル  
 方ヘ航行スヘシト然ルニ船長ハ乙港ニ立寄ノ上丁港ヘ行クヲ以テ安全ト知了セ  
 ルヲ以テ遂ニ丁港ニ航行セリ此場合ニ於テハ航海自身ヲ變更シタルモノニシテ  
 即航海變更ノ場合ナリトス

第二、航海ノ變更ニアリテハ其變更セントスル決意ノアリタルトキニ溯リテ保  
 險契約ヲ無効ニ歸セシムト雖モ線路變更ハ實際ノ變更アリタルトキヨリ保險契約

ヲ無効トナスモノニシテ其前ノ決意ノトキ迄ハ溯ラサルナリ  
 以上ノ區別ハ甚ク簡單ナルモノ、如シト雖モ實際ニアリテハ大ニ然ラサルノミ  
 ナラス又最モ困難ナル問題ヲ生スルヲ以テ諸君ハ須ラク之レカ研究ヲ怠ルヘカ  
 ラス

第二節 保險者及ヒ被保險者ノ權利義務

第一款 保險者ノ負擔スヘキ損失

抑々海上危険ニ二種アリ尋常ノ海上危険及ヒ非常ノ海上危険是ナリ尋常ノ海上  
 危険ヨリ生スル損失ハ別ニ特約ヲ結ハスシテ保險者ニ於テ之レヲ負擔セサルベ  
 カラス乍併非常ノ海上危険ニ至リテハ特約アルニアラサレハ保險者ハ之レヨリ  
 生スル損失ヲ賠償スルノ義務ナキモノトス而シテ非常ノ海上危険トハ如何ナル  
 危険ナルヤト云フニ我商法ニ於テハ戰爭其他總テ國ノ處分ニ出ツル所ノ危険ヲ  
 以テ非常ノ海上危険トセリ(第九百五十九條)是等尋常ト非常トニ拘ラス海上危険  
 ノ事ニ至リテハ第一節ニ於テモ畧々説述シタルノミナラス法文ニ明瞭ナレハ敢  
 テ茲ニ詳論セス唯其法文中了解シ難キ點ニ付キ一二ノ説明ヲ加ヘントス

保險者及  
 ヒ被保險  
 者ノ權利  
 義務  
 保險者ノ  
 負擔スヘ  
 キ損失

暴風雨、破船坐礁、膠沙 以上ノ三者ニ付テハ別ニ説明ヲ要セサレトモ只此内膠沙ニ付テ一言セン膠沙ハ或ル他ノ危険ヨリシテ生シタルモノナラサルヘカラス通常ノ事爲ヨリシテ生セシ膠沙ナルトキハ保險者ハ其責任ナキモノトス即チ退潮等ノ事ヨリシテ船舶カ膠沙ニ遭遇スルニ至ルモ保險者ハ其責任ヲ負フコトナシ流水、衝突、投荷、火災 火災ノ意義ハ甚タ廣漠ナリト雖モ茲ニ所謂火災ハ多少ノ制限アリ彼ノ被保險物固有ノ性質ヨリ自然ニ發火シタルモノナルトキハ保險者ハ其責任ヲ負フモノニアラス要スルニ被保險物固有ノ惡質ヨリ生スル火災又ハ船積ノ當時既ニ起リタル缺點ヨリ生スル火災ノ如キハ皆保險者ノ責任ヲ釋免スルモノトス尤モ此事タル其發火シタル物件自身ニ付テ云フモノニシテ之レカ爲メ類燒シタル貨物又ハ船舶ニ對シテハ保險者ハ其責任ヲ免カル、コトナシ破裂、盜難、却掠、已ムチ得サルニ出タル航海、線路、船舶ノ變更、乘込員ノ不正若シクハ過失 是レ等ハ或ハ既ニ講述シ或ハ一目瞭然タルモノ、ミナレハ茲ニ解説セス」以上ハ則チ尋常ノ海上危険ナリ

尙茲ニ一言スヘキハ旅客運送賃ノ保險ノ場合ニシテ此場合ニ於テ以上述タル危

險ノ外尙其危険ノ爲メ生シタル旅客ヨリ收入スヘキ金額ノ損失ハ保險者ニ於テ賠償ノ責アルモノトス即チ航海ノ延長、旅客ノ轉載、避難港ニ於ケル旅客ノ給養、他船ヲ以テスル旅客ノ運賃、食料ノ喪失若クハ減損、其他之レニ類スル海上ノ災害ヨリ生スル損失ハ猶尋常ノ海上危険中ニ包含スルモノトス此事ハ第九百六十三條ノ規定スル所ニシテ要スルニ本條ハ通則第六百三十四條ノ適用ニ過キサルナリ」又保險者ノ擔保セシ危険ヨリ生スル損失賠償ハ單ニ直接ノモノ、ミニ止マラス間接ノ損失ニモ及フコトハ既ニ通則ニ於テ詳論シタル所ニシテ海上保險ノ場合ニ於テ別ニ之ヲ制限スルノ規定ナキヲ以テ等シク此場合ニモ適用スルノ意ナルヘシト雖モ之レヲ海上保險ニ適用スルニ至テハ益其不可ナルヲ見ル彼ノ歐米法律ヲ見ルモ決シテ直接ノ損害ト見做シテ支拂フヘシトハ云ハス只單ニ必要上例外トシテ掲グルニ過キサルナリ我法典ノ如ク曖昧ナル間接ノ損害等ノ語辭ヲ用ユルコトアルヲ見サルナリ

是ヨリ非常ノ海上危険ニ付テ畧解セン

掠奪、掠奪トハ戰爭ノ際ニ於テ分取リスルコトヲ云フ即英語ノ「キヤプチャー」ト

商法(保險)

同一ノ意義ニシテ敵軍カ交戦中又ハ掠奪免狀ヲ有スル者カ財産所有者ノ所有ヲ剝奪スルノ意思ヲ以テ其財産ヲ奪取スルヲ云フ故ニ財産ヲ一時留メ置ク見込ニテ持去ルカ如キハ掠奪ニアラサルナリ而シテ萬國公法ニ準據シテ掠奪スルハ正當ナリト雖モ若シ之レニ背反スルトキニ於テハ其掠奪ハ不法ノモノトス然リト雖モ保險法ニ於テハ決シテ此正當ナルト不法ナルトヲ問フコトナク等シク掠奪トシテ論スルモノナリ

宣戰、報復、封港、鎖港、報復トハ奪取セラレタルモノヲ取返スヲ云フ封港トハ兵力ヲ以テ港口ヲ圍繞シ出入ヲ許サ、ルヲ云ヒ鎖港トハ入ルコトハ之ヲ許スモ出ツルコトヲ許サ、ルヲ云フ

差押、差押命令ニ依リ差押スルヲ云フ

以上ハ非常ノ海上危険ナルヲ以テ之レニ付キ尙保險者ヲシテ責任ヲ負ハシメント欲セハ必ス特別ニ明約アルヲ要ス

終リニ損害賠償ニ付テ一言セノニ被保險者カ保險者ニ對シテ賠償セシメ後ニ損害ニ付キ尙他ニ船長又ハ其他ニ對シテ請求權ヲ有スルコトアリト雖モ保險者ハ之

保險者ノ負擔セサル損失

レテ理由トシテ自己ノ責任ヲ免カル、ヲ得ス詳言スレハ被保險者ニ於テ保險者ニ對シテ賠償ヲ請求シタルトキニ當リ保險者ハ被保險者カ船長又ハ其他ノ者ニ支拂ハシムルコトヲ得ルトノ事ヲ口實トシテ自己ノ賠償ヲ拒絕スルヲ得ス必スヤ被保險者ノ請求ニ應シ其損失ヲ辨償セサルヘカラス乍併保險者ニ於テ既ニ之ヲ支拂ヒ了リタルトキハ被保險者カ船長又ハ其他ニ對シテ有スル請求權ハ當然保險者ニ移轉スルモノトス故ニ若シ被保險者ニ於テ隨意ニ請求スルカ又ハ其請求權ヲ放棄スルトキハ保險者ニ對シテ其責任ヲ免カレサルモノトス(第六百五十八條第九百六十一條)

第二款 保險者ノ負擔セサル損失

凡ソ保險者ハ不慮ノ海難ヨリ生スル損失ニアラサレハ其責任ヲ負擔スヘキモノニアラサルヲ以テ通常必ス免カルヘカラサル損失ニ至リテハ之レヲ負擔セサルヲ以テ原則トス我商法第九百六十條ハ實ニ之ヲ規定セルモノナリ

第一、水先案内料、挽船料、船舶又ハ荷物ニ付キ支拂フヘキ手数料、關稅其他ノ諸稅、此種ノ費用ハ航海上普通ニ發生スル所ノ費用ニシテ決シテ非常ナル損失ニアラ

サレハ保險者ノ負擔スヘキ限リニアラス

第二、年數腐朽若シシハ蠶蝕ニ依リテ生シタル損害 是等ノ損害ハ物品ノ性質上必ス免カレサルモノニシテ其不意ノ危險ニ因リ生シタルニアラサルコト勿論ナリ其年數ニ從ヒ損失スルコト及ヒ腐朽蠶蝕モ通常免カルヘカラサルハ猶彼ノ金屬ニ錆ヲ生スルト一般ナリ又動物カ自然ノ原因ヨリシテ死亡シタルトキハ縱令其死亡ノ原因ノ一部分ハ船中ニ閉チ込メラレタルニ歸因スルモ尙保險者ニ責任ナキモノトス又酒油陶器硝子等ノ物品ハ多少ノ漏泄破損ハ免カレサルモノナレハ之ヲ以テ保險者ニ責任ヲ負ハシムルヲ得ス歐米ノ法律ニ於テハ斯ル性質ノ物品ハ通例何割ノ損失ヲ來スヘキヤヲ見テ以テ法律ハ豫メ其損失ノ割合ヲ定メタリ只英法ニ於テハ斯ル規定アラサルナリ

第三、通常ノ使用ニ因リテ生シタル損耗 凡ソ物ハ之ヲ使用スレハ從テ多少ノ損耗ヲ來スモノニシテ而シテ之ヨリ生スル損害ハ保險者ニ於テ賠償ノ責ヲ負フコトナシ何トナレハ是レ則チ通常ノ損耗ニシテ決シテ非常ノモノニアラサレハナリ然レトモ其如何ナル損耗ハ通常ニシテ如何ナル損耗ハ非常ナルヤノ問題ニ

至リテハ實際之レヲ區別スルコト容易ナラス實例ニ於テモ同一ノ事件ニ於テ英國判事ト米國判事トカ各々異リタル見解ヲ與ヘシコトアリ以テ其區別ノ困難ナルヲ知ルヘシ例ヘハ船舶ニ附着セル錨ノ綱カ海中ノ岩礁ニ觸レ切斷セラレタルトキノ如キハ通常ノ損耗ナリヤ非常ノ損耗ナリヤト云フニ蓋シ其何レニ屬スルヤヲ知ルコト難シ唯斯ル場合ニ於テ通常ノ碇泊場ニ於テ起リタルモノナルトキハ通常ノ損耗トシ非常ノ場所ニ於テ起リタルトキハ非常トスルノ外ナシ然レトモ通常ノ碇泊場ニ於テ起リタルモ其原因ニシテ非常ノ事爲即チ非常ノ波浪等ヨリ生セシモノナルトキハ又非常ノ損耗ト見做サ、ルヲ得サルナリ

第四、船長又ハ海員ノ行爲ニ付キ船舶所有者ノ負擔スル責任 船舶所有者カ責任ヲ負擔スル所ノ乗込員ノ行爲ヨリシテ生スル損害ハ保險者之ヲ負擔スルコトナシ元來被保險者ハ自己ノ懈怠又ハ過失ハ之ヲ保險ニ付スルヲ得ス何トナレハ若シ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ヘシトセハ之ヨリ生スル弊害ハ蓋シ尠少ニアラサレハナリ而シテ其ノ船舶所有者ノ責任アル所ノ船長又ハ海員ノ行爲ハ取りモ直サス船舶所有者ノ行爲ナルヲ以テ之ヨリ生スル損害ヲ保險者ニ負擔セシムル

トヲ得サルナリ

第五、航海不耐用又ハ艤裝若シクハ乗組員ノ不十分ヨリ生スル損害 茲ニ所謂航海不耐用トハ船体カ航海ニ適セサルノ謂ニシテ先キニ余ノ講述スル所ノ船舶不適航トハ稍々其意義ヲ異ニセリ即チ航海不耐用ハ其意義狹隘ニシテ艤裝又ハ乗組員ノ欲乏等ヲ包含セサレトモ船舶不適航ハ是等ノコトヲ悉ク包含セリ艤裝ノ不十分トハ船舶ニ必要ナル食料藥品及ヒ石炭等ノ附屬品ノ缺乏セルコトヲ云フ又乗組員ノ不十分トハ船長又ハ海員ノ員數ノ不足ナルカ又ハ員數ハ十分ナルモ不能力ノ者アリシトキノ如キヲ云フ

茲ニ大ニ注意スヘキハ余ハ先キニ船舶ノ適航ナルコトハ一ノ暗黙ノ條件ナリト云ヘリ去レハ若シ航海ニ適セサル船舶ナルトキハ保險契約ハ無効ニ歸スルモノトス乍併商法第九百六十條ヲ見ルトキハ之ヲ以テ保險契約ノ前置條件トハ爲サハルコト是ナリ故ニ新法典ニ於テハ縱令不適航ノ船舶ナリト雖モ保險契約成立ニハ何等ノ影響ヲキモノニシテ只其不適航ヨリ生スル損失ヲ保險者カ負擔スルニ及ハサル迄ナリトス乍併歐米ノ法律ニ於テハ必ス之ヲ以テ保險契約成立ノ條

件トセルコト余ノ先キニ講述シタルカ如シ其當否如何ハ法律上當サニ大ニ研究スヘキ事項ニシテ余ヲ以テ之ヲ見レハ我商法ノ規定タル保險法上ノ一大原則ニ背反スルモノトセサルヲ得ス何トナレハ船舶ニシテ最初ヨリ不適航ノモノナラシカ其航海中沈没又ハ其他ノ危險ニ遭遇スルコトハ豫メ之レヲ想定スルコトヲ得ヘシ然ルニ豫想シ得ヘキ危險ハ保險法上契約ヲ取結フヲ得サレハナリ又船舶不適航ナルトキハ貴重ナル人命及貨物ノ安全ヲ謀ルコトヲ得サルヘケノレハ我商法ノ此規定タル實ニ一見寒心スルノ止ムヲ得サルモノナリ

第六 船舶カ國際公法ニ依リ要スル所ノ書類若シクハ萬國條約ニ依リ定メラレタル書 ヲ具備セサルトキハ交戦ノ際或ハ沒收ノ不幸ニ陥ルコトナシトセス是ヲ以テ船舶ハ必ス其書類ヲ具備セサルヘカラス其書類トハ何ソ國籍ヲ證明スル所ノ書類則チ是ナリ

國籍ヲ證明スル所ノ書類ヲ具備セサル場合ハ航海不耐用ノ場合トハ異ナリ絶對的ニ航海ヲ爲スコト能ハサルニアラス之レ無キモ尙航海ヲ安全ニ爲シ遂ケラルハ、コトナキニアラス即チ交戦ノ爲メニ幸ニシテ沒收セラル、ヲ免ガレタルトキ

ノ如キハ其航海ニ付テハ何等ノ影響ナキモノナリ故ニ此場合ニアリテハ其書類ヲ具備セサルヨリ直接ニ生セシ損失ニ限り保險者ハ其責任ヲ釋免セラル、コトヲ得ヘシ若シ夫レ其他ノ危険ニ依リ損失ヲ招クニ至ルコトアラシカ保險者ハ決シテ賠償ノ責ヲ免カル、ヘキモノコアラサルナリ

保險料ノ増減

第三款 保險料ノ増減

保險料ハ契約上ノ航海期間ヲ延長シタルトキハ其割合ニ應シテ之ヲ増加セサルヘカラサルコトハ第九百六十二條ノ規定スル所ナリ凡ソ保險契約ニハ三種アリテ第一、航期保險、第二、時期保險、第三、混同保險ナルコトハ曩キニ講述セリ此内第一、第二ノ場合ニ於テハ更ニ航海期間ヲ延長スルハ別箇ノ契約ナレハ之ヲ承諾スルモ承諾セサルモ結約者ノ勝手ナルヘキモノナレハ割合ニ應シテ保險料ヲ増加セサル可カラサルハ理ナカルヘシ然リト雖モ我商法ニ於テハ文面上判然タラス之ヲ總テノ場合ニ適用スルモノ、如シ乍併余ハ決シテ之ヲ増加スルノ理由ヲ知ル能ハサルナリ例セハ甲港ヨリ乙港ニ至ル迄ノ航海ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ若シ乙港ヲ經テ丙港ニ迄進ムトキハ此期間ノ保險料ハ前ノ割合ニ應シテ計算ス

トハ商法ノ定ムル所ナリト雖モ若シ其乙丙兩港間ノ危険ハ甲乙兩港間ノ危険ヨリ多キトキハ保險者ハ從テ多クノ損失ヲ免カレサルヘク若シ之ニ反ズルトキハ却テ利益アルニ至ルヘシ故ニ此航期保險ノ場合ニハ之ヲ適用セサルヲ可トス時期保險ニ於テモ亦然リ毎月ノ危険ハ一定スルモノニアラスシテ夏時ハ冬時ヨリ危険少キコト殆ント爭フヘカラサルノ事實ナリ然ルニ之レニモ拘ラス法律ニ於テ一定セントスルハ又甚タ奇怪タラサルヲ得サルナリ

混同保險ニ對シテハ少シク理由アルモノ、如キモ亦甚タ不可ナル點ナキニアラサルナリ即チ甲港ヨリ乙港ニ達スル迄ノ航海チ一ヶ月間保險ニ付シタルトキハ是レ混同保險ナリト雖モ此場合ニ若シ乙港ヲ經テ丙港迄航行センカ航期保險ノ場合ニ於テ述ヘタル不都合ヲ生セン又一ヶ月チ二ヶ月トセンカ時期保險ノ場合ノ不都合ヲ免カレサルナリ故ニ此法律ノ精神ハ甲港ヨリ乙港迄ノ保險料ノ割合ヲ定メテ其航海ハ何月ヲ要スヘキヤノ日限ヲ示シタルモノト解セサルヘカラス去レハ甲港ヨリ乙港ニ至ル迄ノ間豫定ノ日限ヲ延長シタルトキハ其前ノ割合ニ應シテ延長ノ日時ノ保險料ヲ定ムルニアリトス然レトモ其季節ニ依リ危険ニ差

異ヲ生スルヲ以テ要スルニ此條文ハ實ニ多少ノ不都合ヲ免カレサルモノニシテ穩當ナラサルナリ

第九百六十二條後段然レトモ其期間ヲ短縮スル場合ニ在テハ之ヲ減スルコトヲ得ストノ規定ハ前段ノ不條理ナルニモ似ス甚タ正當ノ規定ト謂ツヘシ既ニ甲港ヨリ乙港迄ノ航海ヲ保險ニ付シ其期間ヲ一ヶ月トシタルトキハ縱令其航海ハ一ヶ月ヲ要セカリシト雖モ勿論保險料ヲ減少スヘキニアラサルナリ然リト雖モ若シ我商法ニ於テハ其日限ヲ以テ保險料ノ割合ヲ定メタルモノトスルトキハ却テ期間短縮ノ度ニ應シテ之レヲ減少セサルヘカラス兎ニ角第九百六十二條ハ前段ノ延長ノ場合ト後段ノ短縮ノ場合トノ理由相抵觸シテ貫徹セサルモノト云フヘシ

委棄

第三節 委棄

委棄トハ被保險物ノ損害カ極メテ大ナル場合即チ全損若シクハ全損ニ至ラスト雖モ之ヲ回復スルニハ莫大ノ入費ヲ要スル場合ニ當リ被保險者カ保險金ノ全額ヲ得ルノ條件ヲ以テ被保險物並ニ之ニ付着スル總テノ請求權及利得ヲ保險者ニ

委付スルコトヲ云フ

抑被保險物全損ニ至リタルトキハ保險者ハ保險金ノ全額ヲ支拂ハサルヘカラス保險法上此場合ヲ稱シテ實際上ノ全損ト云フ又被保險物ノ損害カ全部ニ至ラサルトキト雖モ之ヲ回復セント欲セハ莫大ナル入費ヲ投セサルヘカラサル如キ場合ニ立至ルトキハ之ヲ稱シテ解釋上ノ全損ト云フ以上實際上ノ全損ナルト解釋上ノ全損ナルトキハ之ヲ問ハス何レノ場合ニ於テモ被保險者ハ被保險物ヲ保險者ニ委付シテ以テ保險金ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ而シテ此委棄ノ權利タルヤ被保險者ニ專屬スルモノナレハ被保險者ハ此權利ヲ行フモ或ハ行ハスシテ其損失ニ對スル賠償ヲ得ントスルモ其隨意ニシテ毫モ不可ナキモノトス併シ乍ラ一旦委棄ノ通知ヲ出シ保險者ノ承諾ヲ得タル以上ハ後日ニ至リ其通知ヲ取消スコトヲ得ス尤モ此場合ト雖モ双方ノ合意ヲ以テ之ヲ爲スハ勿論法律ノ問フ所ニアラサルナリ

委棄ヲ爲シ得ヘキ場合

第一款 委棄ヲ爲シ得ヘキ場合

被保險者カ被保險物ノ委棄ヲ爲スコトヲ得ル場合ハ前述ノ如ク被保險物ノ損害



カ實際上若シクハ解釋上ノ全損トナリタルトキ是レナリ即チ商法第九百六十五條ノ場合トス以下是ヲ詳論セム

第一 船舶カ沈没シ破碎シ又ハ踪跡ヲ失ヒ又ハ使用ニ耐ヘサルトキ

此場合ハ何時ト雖モ委棄ヲ申込ムコトヲ得ルニアラス其沈没破碎ハ保險シタル危險ニ依テ生シタルモノナラサルヘカラス又踪跡ヲ失ヒタルハ保險シタル線路ヲ出帆シタル後ニ起生シタルモノナラサルヘカラス

沈没トハ船舶カ全ク海底ニ沈ミタルトキヲ云フモノナレハ其船舶タル毫モ損所ヲ生セサルコトモアラソ併シ乍ラ保險法上此場合ヲ以テ全損ト見做スモノトス何トナレハ船舶ニシテ一旦沈没ノ不幸ニ陥落スルトキハ之ヲ水上ニ引キ上クルニハ非常ノ入費ト幾多ノ日子トヲ要スルハ通例ナレハナリ  
破碎ニハ種々ノ程度アルモノナレトモ爰ニ所謂破碎トハ船舶ヲ組成セル諸材ノ片々ニ分離挫折セラレ全ク船舶タル名稱ヲ失ヒタルトキヲ云フ是等沈没破碎ハ法文ニ依レハ只單ニ船舶ニノミ適用セラル、モノ、如シト雖モ荷物ニ對シテモ亦等シク適用セラル、モノトス

踪跡ヲ失フトハ船舶カ其居所ヲ分明ニセスシテ永ク通信ヲ絶ナタルトキヲ云フ此場合ニ於テモ亦之ヲ以テ保險法上全損ト見做スモノナリ而シテ其失踪ヲ認定スルニハ幾干ノ日時ヲ經過スヘキヤト云フニ此事ハ商法第九百六十六條ノ規定スル所ニシテ今該條ニ從ヘハ失踪ヲ認定スルニハ左ノ二條件ヲ要スルモノトス

一、船舶カ到達港ニ達セサルコト

二、船舶發航ノ際又ハ最後ノ通信アリタル時ヨリ沿岸航海ニ在テハ六ヶ月否ラサルモノハ一ケ年ヲ經過シタルコト

若シ此條件ヲ具備シタルヲ以テ被保險者カ保險者ニ對シ委棄ノ申込ヲ爲シタル場合ニ當リ其後該船舶カ再ヒ發見セラル、コトアリト雖モ其委棄ニハ毫モ影響ヲ及ホサ、ルモノトス佛國ニ於テハ失踪ヲ認定スルノ期限ヲ遠航ト近航トノ二箇ニ分テ上ナニケ年ト下ナニケ年トセリ併シ乍ラ此規定ハ佛國古來ノモノナレハ今日トハ稍々異ナルモノアラソ今日ニ在テハ船舶航行ノ速力モ大ニ増加シタルヲ以テ失踪ノ推測モ亦從テ永時ヲ要セサルニ至レリ

又全條第二項ニ於テ有期ノ保險ノ場合ニ在テハ前項ノ期限滿了後ハ其船舶ハ保

險期間ニ喪失シタルモノト推定ストアリテ有期保險中ニ喪失セルモノトシテ保險者ニ其責任ヲ負擔セシメタリ乍併此事タル一應ノ推定ニ過キサルヲ以テ保險者ニ於テ反證ヲ舉グルニ於テハ其推測ハ乍チ打破セラルヘシ元來船舶ノ踪跡ヲ失フ如キハ實際甚々稀有ノ事柄ニシテ若シ又斯ル事爲ノ生シタルトキハ其保險期間内ニ喪失シタルヤ否ヲ證明スルハ保險者ニアリテモ被保險者ニアリテモ等シシ難事ニ屬スルモノナレハ法律ヲ以テ強テ其責ヲ保險者ニ歸セシムルハ甚々苛酷ナルカ如シト雖モ此場合ニ於テハ保險者ヲ保護スルヨリハ寧ロ被保險者ヲ保護スルヲ以テ可ナリトノ立法者ノ認定ヨリ生シタル規定ニシテ他ニ理由アルニアラス

使用ニ耐ヘサル船舶トハ是ヲ修繕セントスルモ過當ノ費用ヲ要スルカ又ハ實際修繕スルコト能ハスシテ航海ノ用ニ立タサルトキチ云フ乍併其玆ニ至リタルハ保險者カ保險シタル危險ヨリシテ生シタルモノナラサルヘカラス故ニ年數ノ經過ニ依リ自然不耐用ニ至ルト雖モ決シテ委棄ノ條件トナルヘキモリニアラス又此場合ハ沈沒破碎等ト異リ一目シテ分明ナルモノニアラサルハ多クハ鑑定人ヲ

シテ之ヲ鑑定セシムルモノトス此場合モ亦貨物ニ適用スルヲ得ヘクシテ其貨物ノ場合ニ於テハ品質ニ變化ヲ生シ其用ヲ爲サ、ルニ立至リタル如キトキチ云フ第九百六十八條ニ積荷ニ關スル規定アリト雖モ本條ハ積荷自身カ使用ニ耐エサル場合ニ立至リタルトキノ規定ニアラス使用ニ耐エサル船舶ニ積込マレタル物ニ關スル規定ナリ而シテ其積荷ハ他ノ船舶ヲ以テ到達港ニ送達スルコト能ハサル場合ニ限り委棄ヲ申込ムコトヲ得ヘシ若シ又船長カ他船ヲ以テ運送シタルトキハ保險者ハ凡テノ海損及ヒ運送賃ノ増額ト積荷ノ救助積換倉入及ヒ其他ノ事由ヨリ生シタル凡テノ費用ヲ負擔セサルヘカラス

第九百六十七條モ亦此場合ニ關スル規定ニシテ同條ニ依レハ坐礁膠沙ニ罹リタル船舶ハ之ヲ引卸シ修繕ヲ加ヘテ航海ヲ續行スルコトヲ得ヘキトキニ當リ保險者カ其必要ノ費用ヲ前貸スルニ於テハ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得サルナリ抑々坐礁膠沙ハ沈沒破碎トハ異ルヲ以テ此一事アルノミニテハ直ニ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ許サ、ルナリ乍併坐礁膠沙ヨリ生スル費用及ヒ海損ノ爲メニ生スル請求權ハ被保險者ニ於テ之ヲ失フモノニアラサルハ全條末文ノ示ス所ナリト雖モ

此事タル實ニ當然ニシテ條文在ツテ始メテ生スルモノニアラサレハ要スルニ此規定ハ無用ノモノト云フヲ得ヘシ

第二 船舶カ掠奪セラレ又ハ國ノ處分ニ因リテ抑留セラレタルトキ  
此場合ハ先キニ講述セル如ク特約アルヲ要スルモノニシテ即チ特別ノ場合ナリ  
此場合ヲ以テ全損ト見做スノ制限ハ第九百七十四條ノ規定スル所ニシテ全條ニ  
曰ク掠奪セラレ又ハ國ノ處分ニ因リテ抑留セラレタル場合ニ在テハ被保險者ハ  
此事實ヲ保險者ニ通知シタル後六ヶ月内ニ判決又ハ沒收ノ言渡ナキトキハ始メ  
テ委乘ヲ申込ムコトヲ得掠奪ノ場合ニ在テハ被保險者ハ已ムヲ得サルトキニ限  
リ豫メ通知ヲ爲サス且保險者ニ委任ナシト雖モ贖戻ヲ爲スコトヲ得然レトモ保  
險者ハ其贖戻ヲ自己ノ計算ニテ引受クルト否トヲ撰擇スル權利ヲ有スト故ニ掠  
奪又ハ抑留ヲ保險者ニ通知シ此通知ヨリ六ヶ月内ニ判決又ハ沒收ノ言渡ナキト  
キニ限り始メテ委乘ノ申込ヲ爲スコトヲ得ヘシ元來掠奪又ハ抑留ノ有効ナルヤ  
否ヤハ掠奪裁判所ノ判決又ハ沒收ノ言渡ニ依リテ定マルモノナレハ其判決又ハ  
沒收ノ言渡ノ永キ間決セサルトキニ想像シ法律ハ此期限ヲ六ヶ月トシ其期限ヲ

經過スルトキハ再ヒ被保險者ノ手ニ歸ラサルモノト見做シ以テ委乘ノ申込ヲ爲  
スコトヲ許容セリ若シ又六ヶ月内ニ判決又ハ沒收ノ言渡アリタルトキハ此場合  
ニ於テハ六ヶ月内ト雖モ尙委乘ノ申込ヲ爲シ得ルヤ否ヤハ一ノ問題ニシテ法文  
ニ明示セサレトモ余ヲ以テ是ヲ見レハ此場合ニ被保險者ハ尙委乘ヲ申込ムコト  
ヲ得ヘシト信ス何トナレハ其判決又ハ沒收ノ言渡アリタルトキハ既ニ萬國公法  
上有効ナル掠奪又ハ抑留トナルヲ以テ保險者ハ明ニ全部ヲ損失シタルモノナレ  
ハナリ

又本條未文ノ掠奪ノ場合ニ在テハ被保險者ハ已ムヲ得サルトキニ限り豫メ通知  
ヲ爲サス且保險者ノ委任ナシト雖モ贖戻ヲ爲スコトヲ得トノ規定ハ此ノ如キ場  
合ニ際シテハ最モ急速ヲ要スルモノナルヲ以テ例外トシテ此規定ヲ爲シタルモ  
ノナリ元來一旦被保險者ニ於テ船舶又ハ貨物ヲ委乘シタルトキハ其所有權ハ保  
險者ニ移轉スルモノナレハ其委任ナシシテ之ヲ贖戻スコトヲ得スト雖モ之ヲ保  
險者ニ通知シテ委任ヲ得ントセハ遂ニ其目的ヲ達スルコトヲ得サルヘシ又其贖  
戻ハ保險者ニ利益ノモノナレハ其委任ナキニ於テモ損害ヲ及ホスコト殆ント之

レ無キヲ以テ法律ハ遂ニ此例外ヲ規定シタル所以ナリ

第三 喪失又ハ毀損カ價額ノ四分ノ三ヲ超エタルトキ

此場合ハ即解釋上ノ全損ニシテ其喪失又ハ毀損ニシテ價額ノ四分ノ三ヲ超エタルトキノ如キハ最早被保險者ハ其目的ヲ達スルコトヲ得サルヘシ其結果全損ノ場合ト毫モ差異ナキモノナレハナリ而シテ其喪失又ハ毀損タルヤ或ハ數量ニ關スルコトアリ又ハ物質ニ關スルコトアリテ其何レノ場合ニ於テモ被保險者ハ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ヘシ而シテ爰ニハ四分ノ三ヲ超エタルトキトアルヲ以テ喪失又ハ毀損カ價額ノ四分ノ三ナルトキニテハ未ダ以テ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ス其委棄ヲ申込ムニハ必ス喪失又ハ毀損ノ四分ノ三以上ニ涉リタルトキナラサルヘカラス又此場合ノ價額トハ何レノ地ノ價額ヲ指スモノナリヤト云フニ船舶ニ於テハ發航ノ時貨物ニ於テハ積入地ノ價額ニ依テ定ムルモノトス終リニ一言スヘキハ如何ナル場合ニ於テモ委棄ハ單ニ其一分又ハ條件附ニテ之ヲ爲スコトヲ得ス必スヤ全部ヲ無條件ニテ爲サ、ルヘカラス又一旦委棄ヲ爲シタルトキハ後日ニ至リ之ヲ取消スコトヲ得ストノコト是ナリ

委棄ノ申  
込承諾及  
ヒ其期間

第一款 委棄ノ申込承諾及ヒ其期間

法文第九百六十九條ハ則チ此場合ニ關スル規定ニシテ全條ヲ見レハ被保險者ハ災害ノ通知ヲ得タル後又ハ第九百六十六條ニ定メタル期間ノ滿了後三日内ニ委棄ノ理由タル事實ヲ保險者ニ通知シ且六ヶ月内ニ其委棄ヲ申込ム義務アリ前項ノ期間ヲ怠リタルトキハ被保險者ハ保險契約ヨリ生スル通常ノ請求權ノミチ主張スルコトヲ得トアリ以テ委棄ノ申込ノ期間ヲ定メタリ而シテ船舶カ踪跡ヲ失フタルトキハ發航ノ時最後ノ通信アリタル時ヨリ一ケ年ヲ經過シタルトキ又沿岸航海ニ在テハ六ヶ月ヲ經過シタルトキハ三日内ニ其事實ヲ保險者ニ通知シ且夫レヨリシテ六ヶ月内ニ委棄ヲ申込ムノ義務アルモノトス此委棄スルト否トハ被保險者ノ自由ナリト雖モ若シ之ヲ爲サントスルニハ被保險者ハ必ス本條ヲ遵守スルヲ要ス

第九百七十一條ニ於テ被保險者カ詐欺ノ委棄申込ヲ爲シタルトキハ保險上ノ權利ヲ失却スル旨ヲ規定セリ例セハ全損ノ事實アラサルニ全損ナリト云フカ如キ通知ヲ爲シタル場合ニシテ斯ル場合ニ在テハ單ニ委棄ノ効力ナキノミナラス被

保險者ノ有スル保險上ノ權利迄併セテ失フモノトス

委棄ノ効  
果

第三款 委棄ノ効果

委棄ハ被保險者ニ於テ被保險物上ニ有スル權利義務ヲ悉皆保險者ニ讓渡ス所爲ナルヲ以テ茲ニ委棄アルニ於テハ被保險者ノ被保險物上ニ有スル利益損失共舉ケテ保險者ニ移轉スルモノトス而シテ若シ最初被保險物ノ全價額ニ付キ保險契約ヲ締結シタルモノナルトキハ被保險物ノ所有權ハ全然保險者ニ移轉シ又全價額ニ至ラサルモノナルトキハ其價額ノ割合ニ應シテ權利移轉ノ効果ヲ生スルモノトス以上何レノ場合ニ於テモ其委棄ハ必ス無條件ニテ爲サレタルモノナラサルヘカラス

委棄ノ効力ハ何時ニ始マルモノナリヤト云フニ被保險者カ委棄ノ申込ヲ爲シタルトキニ始マリ保險者ノ其申込ヲ承諾シタルトキニ確定スルモノニシテ若シ保險者カ其委棄ノ申込ヲ拒絕シタルトキハ其申込ハ有効ナリトノ判決ニ因リテ確定スルモノトス故ニ一旦被保險者ニ於テ委棄ノ申込ヲ爲シタル以上ハ後日船舶カ救助セラレ又ハ歸航スルコトアルモ委棄ノ効力ハ爲メニ毫末モ變更セラル、

モノニアラサルナリ乍併若シ此場合ニ被保險者カ委棄ヲ申込タルニ止マリ保險者ノ承諾ヲ得ル前ナルトキハ被保險者ハ其申込ヲ取消スコトヲ得ヘシ何トナレハ其委棄ハ承諾前ナルヲ以テ未タ確定シタルモノニアラサルナリ反之若シ既ニ保險者ノ承諾シタル場合ニ在テハ被保險者ノ隨意ニ之ヲ取消スコトヲ許サス況ンヤ判決ニ依テ委棄ノ確定シタル場合ニ於テオヤ

今法文第九百七十二條ヲ見レハ其第一項ニ於テ委棄シタル物ニ付テノ被保險者ノ權利ハ其委棄ノ承諾又ハ有効ナリトノ判決ニ依リテ保險者ニ移ルトアリテ被保險者ノ權利ハ委棄ノ承諾若シクハ判決アルニアラスンハ決シテ保險者ニ移轉セサルモノ、如シ若シ果シテ物件ノ所有權ハ承諾若シクハ判決ニ依テ始メテ移轉スルモノトセハ第九百七十五條ノ規定ト抵觸スルモノト云ハサルヲ得ス即チ全條ニハ一旦申込ミタル委棄ノ効力ハ後日ニ至リ船舶ノ救助又ハ歸航ニ因リテ變スルコト無シト規定シテ以テ申込ノ効力ヲ明示セルヲ以テ兩條ノ間多少抵觸スルノ感ナキ能ハサルナリ故ニ第九百七十二條ハ之ヲ解シテ委棄ノ確定スル場合ヲ指示セルモノトセサルヘカラス而シテ其所有權ノ移轉スルハ委棄ノ申込ヲ

爲シタル時ニシテ此移轉ハ承諾又ハ判決ニ依リテ確定スルモノトス  
 委棄ニ依テ生スル所有權ノ移轉ハ最初損失ヲ蒙リタル時ニ溯ルモノトス即チ或  
 ル危険ニ遭遇シ損失ヲ招キタル當時ノ現狀ニテ保險者ニ其權利ヲ移轉スルモノ  
 トス例セハ五月十五日ニ或ル危険ニ遭遇シ全月三十日ニ委棄ノ通知ヲ爲シタリ  
 トセハ其効力ハ五月十五日即チ遭難ノ時ニ遡リ其當時ニ於テ被保險者カ被保險  
 物上ニ有スル權利義務ハ舉ケテ保險者ニ移轉スルモノトス乍併船舶ノ委棄ニ付  
 テハ救助セラレタル運送貨物ノ運送賃全額ヲ包含スルモノナルヲ以テ遭難前ニ  
 迄遡ルモノ、如シ之レ必竟運送賃ハ分割シ得ストノ原則ニ從ヒ英佛ノ主義ニ依  
 リ航海ヲ全フシタル後ニアラサレハ運送賃ヲ請求スルコトヲ得ストナクテ以テ  
 遂ニ此例外チ生シタルモノ、如シ(第九百七十二條第二項)  
 又保險者ハ委棄ニ依テ物件ノ所有權ヲ得タルトキハ單ニ權利ノミヲ讓受ケタル  
 モノニアラス其物件ニ附着スル凡テノ義務ヲモ併セテ讓受ケタルモノトス又保  
 險者ハ別段ノ契約ヲ締結スルニアラサレハ委棄ノ申込ヲ受ケタル後三ヶ月内ニ  
 被保險者ニ對シ保險金額ヲ拂渡サ、ルヘカラサル義務アリ何故ニ法律ハ保險者

ニ對シ三ヶ月ノ期間ヲ與ヘタルセト云フニ委棄ノ効果モ亦賣買ノ効果ト全シク  
 金錢ヲ支拂フテ或ル物件ヲ取得スルニアルヲ以テ賣買ノ場合ニ於テ買主カ其目  
 的物ヲ調査スルカ如ク委棄ノ場合ニ於テモ保險者ニ與フルニ其被保險物ヲ調査  
 スルノ機會ヲ以テセサルヘカラス是レ即チ三ヶ月内ニ被保險額ヲ拂渡セハ可ナ  
 ルモノトシテ保險者ニ猶豫ヲ與ヘシ所以ナリ又被保險者ハ保險者ニ對シ委棄ノ  
 辨明ニ供スル證書類ヲ交付セサルヘカラス即チ船舶ヲ廢物ト認メタル鑑定書其  
 他船長ノ報告書等ハ之ヲ保險者ニ交付セサルヘカラス加之ラス委棄ノ物件ニ係ル  
 所ノ他ノ保險或ハ冒險貸借又ハ登記ヲ經タル債權及ヒ其他ノ債權等アルトキハ  
 之ヲ保險者ニ通知セサルヘカラス若シ被保險者ニシテ以上ノ義務ヲ怠ルトキハ  
 縱令委棄ノ申込後三箇月以上ニ涉ルト雖モ保險者ハ猶其被保險額ヲ拂渡スノ義  
 務ナキモノトス元來保險者ニ於テ被保險物ヲ讓受ケントセハ其權利義務如何ヲ  
 明ニセサルヘカラス然ルニ之ヲ知ラズニハ被保險者ヲ除テ又他ニ問フヘキ者ア  
 ラサレハ法律ハ被保險者ニ負ハスニ此義務ヲ以テセリ是レ第九百七十條ノ規定  
 スル所ニシテ其第三項ニ右ニ掲ケタル證書ノ趣旨ニ對シテハ反對證據ヲ舉グル

コトヲ得トアリテ即チ委棄ノ辨明ニ供スル證書ニ對シテ反對ヲ許容スト云フコトナリト雖モ之レ勿論ノコトニシテ條文ヲ待テ始メテ生スルモノニアラス換言スレハ此第三項ハ無用ノ冗文ニ過キサレナリ

被保險者ハ委棄ノ申込ヲ爲シタル後ニ於テモ被保險物ヲ救助シ又ハ取戻シ又ハ一層大ナル損害ヲ妨禦スル爲メ成ル可ク注意スルノ義務アルモノトス即チ此義務タル特別ノ義務ニシテ原則ヨリスレハ既ニ委棄シタル以上ハ最早自己ニ關係ナキモノナレハ其物件ニ對シ何等ノ義務ナカルヘシト雖モ公益上一ノ特例トシテ此義務ヲ負ハセタリ詳言スレハ被保險者ハ通例被保險物ノ取戻シ又ハ救助スルニ便利ノ地位ニ立ツモノナルモ之レニ反シテ保險者ハ多クハ遠隔ノ地ニ在ルモノナルヲ以テ被保險者ヲシテ此義務ニ充タラシメタリ然リト雖モ被保險者ハ直接ニハ保險者ノ利益ノ爲メニ働クモノナルヲ以テ之ニ對スル費用ハ保險者ヲシテ支拂ハシムルコトヲ得ヘシ乍併被保險者ノ義務トシテ爲スモノナレハ自己ノ勞力ニ對スル報酬ハ之ヲ請求スルヲ得ス又其支出シタル費用ニシテ救助サレタル物件ノ價額ヨリ大ナルトキハ其價額ニ超過シタル部分ハ之ヲ請求スルコト

ヲ得ス又此義務ハ何時迄モ繼續スルモノニアフス既ニ保險者自ラ以上ノ所置ヲ爲シ得ヘキ地位ニ至リタルトキハ被保險者ノ此義務ハ最早消滅スルモノトス若シ保險者カ其地位ニ至ラスト雖モ通常至リ得ヘキ時又ハ委棄ノ申込ヲ爲シ相當ノ時間ヲ經過シタルトキモ等シシ保險者ノ義務ハ消滅スルモノナリ

## 第二章 火災及ヒ震災ノ保險

### 第一節 契約

火災保險契約トハ或ル保險料ヲ受ケ或ル期間内ニ火災ヨリ生スル格段ナル財産上ノ損害ヲ賠償スル所ノ契約ヲ云フ

我カ商法第六百六十條ノ規定ヲ見ルニ動産ナルト不動産ナルトト問ハス其賃借人用益者又ハ受託者其他多少ノ利害ヲ有シ之ヲ占有又ハ保管スル者ハ自己ノ利益ノ爲メニ保險契約ヲ取結ヒ得ルハ勿論所有者ノ利益ノ爲メニモ尙ホ保險契約ヲ取結ヒ得ヘシ若シ其兩者間何レノ利益ノ爲メニ保險契約ヲ取結ヒシヤ疑ハシキトキハ自己ノ爲メニ取結ヒタルモノト見做ス又自己ノ利益ノ爲メ保險ニ付シタルトキハ先ツ自己ノ損害ニ充テン爲メ次ニ所有者ニ對スル自己ノ責任ニ充テ

火災及ヒ  
震災ノ保  
險契約

ンカ爲メ保險シタルモノト見做スヲ以テ被保險者ノ債權者ハ其部分ニ對シテ請求權ヲ有セサルモノトセリ故ニ自己ノ利益ノ爲メニ保險契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テ縱令被保險額ハ自己ノ損害ヲ償フテ猶餘裕アルトキト雖モ被保險者ノ債權者ハ之ヲ請求スルヲ得ス必ス先ツ自ラ所有者ニ對シテ負フ所ノ損害賠償ニ充テサルヘカラス

保險ノ目的物動産ナルトキハ各個ニ付テ保險契約ヲ取結フコトヲ得ヘク又之ヲ包括シテ取結フコトヲ得ヘシ若シ包括シテ保險ニ付シタルトキハ其保險期間中包括ノ部分ヲ増減シ又ハ他物ヲ得テ之ニ換フルコトアルモ保險契約ハ毫モ影響ヲ及ホサルモノトス(第六百六十二條第一項)

茲ニ所謂保險ニ影響セストハ絶對的ニ影響スルコトナシトノ事ニアラスシテ多少影響スヘキハ勿論トス即チ若シ代價五百圓ノ物品ヲ賣却シ百圓ノ物品ヲ差加フルトキハ之ヲ以テ何等ノ影響モ無シト云フコトヲ得ス故ニ此場合ニ於ケル影響ナシトハ保險契約ハ爲メニ消滅スルコトナシトノ意ニ解セサルヘカラス  
家屋内ニ備ヘ在ル所ノ一切ノ動産ヲ保險ニ付シタルトキハ其中高貴ノ物件ハ特

約アルニ非レハ之ヲ包含セサルモノトス即チ此場合ニ於ケル包括物ハ單ニ普通價額ヲ有スル物品ニノミ止マルモノトス是レ則チ特別ノ價額アルモノハ特約ヲ要ストノ原則ヨリ生スル結果ナリトス例セハ金銀貨、寶玉、證書、有價證券、著述ノ原稿等ノ如シ(第六百六十二條二項)

動産ノ保險ハ保險證券ニ記載シタル住居其他ノ場所ニ關シテノミ其効力ヲ有スルモノトス(第六百六十三條)故ニ一ノ家屋内ニ備ヘ在ル物品ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ之ヲ他所ニ移ストキハ保險契約ハ茲ニ消滅スルモノトス何トナレハ場所ノ異動ハ危險ニ變更ヲ生スルモノナレハナリ乍併單ニ一時ノ目的ニテ被保險物ヲ他所ニ移スコトアルモ保險契約ハ依然トシテ存在スルモノトス

第六百六十三條中保險證券ニ記載シタル云々ノ規定アリト雖モ保險契約ハ必スシモ證券ヲ以テ締結スヘキモノニアラス證券ナキ場合ト雖モ猶保險契約ハ成立スヘキモノナレハ此文章ハ甚ダ當チ得サルナリ故ニ「保險證券ニ記載シタル」ナル語ハ契約ナル文字ニ解セサルヘカラス

危險

第二節 危險

商法(保險)



火災保險ノ危険トハ何ソ曰ク火災是ナリ而シテ此火災ナル語ノ意義ハ極メテ浩汎ナルモノニシテ其原因ノ如何ヲ論セス凡テノ火災ヲ包含スルモノトス殊ニ我保險法ニ在テハ雷電ノ危険火藥若シクハ機關ヲ破裂ノ危険及ヒ機關ニ原因スル破裂ノ危険震災ノ危険ハ皆火災中ニ包含セラル、チ以テ特約ナキ場合ニ於テハ火災保險ノ保險者ハ之ヨリ生スル損害ハ其責ヲ免カル、チ得サルナリ(第六百六十六條)

此規則ハ我カ保險法上二面ノ効力ヲ有スルモノトス

第一 震災、雷電、火藥又ハ機關ノ破裂ノ危険及ヒ火藥又ハ機關ノ破裂ニ原因ス

ル危険ニ付キ締結シタル保險ニ付テハ火災保險ノ規則ヲ適用スルモノトス

第二 若シ火災保險ニ於テ何等ノ特約モ無ク之ヲ締結シタルトキハ第一ノ危

險ハ當然火災危険中ニ包含セラル、モノトス

元來理論上ヨリスレハ第一ノ場合ニ於ケル危険ハ火災危険中ニ包含セラルヘキ者ニアラスト雖モ我カ立法者ハ之ヲ以テ火災危険中ニ含蓄スルモノトセリ此ノ如キ規定ハ歐洲ニ於テモ只和、白兩國ニ於テ見ルノミ其他ノ邦國ニハ見サル所ナ

リ且夫レ此規定ハ實際上果シテ必要ナルヤ否ヤハ大ニ疑ハシキコトニシテ容易ニ斷言スルヲ得ス凡ソ普通人カ同一視スルノ傾向アル物ニシテ性質上同視ス可ラサル物ナルトキハ法律ハ明ニ之ヲ規定シテ同視スト斷言スルノ必要アリト雖モ機關ノ破裂ヲ以テ火災ト同視スル如キハ何人モ蓋シ同一視セサル可シ

### 第三節 損害並ニ賠償

損害並ニ賠償

保險者ハ火災又ハ火災ト同視スヘキ危険ヨリ直接ニ生シタル損害ヲ賠償スル義務アルハ勿論火災ノ起リタル爲メニ消防又ハ救濟ノ處分又ハ竊盜其他類似ノ事由ニ因リ生シタル損害ヲ並セテ賠償セサルヘカラス而シテ其火災ハ被保險物所在ノ場所ニ起ルト其近傍ニ起ルトヲ問ハサルモノトス但賠償額ハ被保險額ヲ超過ス可カラサルハ論ヲ俟タス(第六百六十五條)

抑モ現ニ生シ又ハ將ニ生セントスル危険ノ止ムヲ得サル防止ニ依リ生スル費用並ニ損害ハ保險者ノ固ヨリ負擔スヘキモノナルコトハ一般ノ規則ナルモ竊盜又ハ之ニ類似ノ危険ヨリ生スル損害ハ假令火災防止ノ際ニ生スルモ一般ニ之ヲ論スレハ固ヨリ保險者ノ負擔スヘキ限ニアラス只之ヲ負擔セサルヲ得サルハ火災

保險ニ止マルモノトス然レトモ斯ノ如キ特別ノ規定ハ必要ナルヤ否ヤ第六百三十四條ノ場合ニ於テ生シタル疑問及ヒ批評ハ均シク茲ニ適用スルヲ得可シ又第六百六十五條ニ於テハ火災カ被保險者ノ方ニ起リタルト云々ノ語アリ是レ恐クハ被保險物ノ誤謬ナラン何トナレハ被保險者ノ所在ト被保險物ノ現在スル所トハ通常同一ナルヘシト雖モ其之ヲ異ニスルコトナシト云フヘカラス若シ此場合ニ於テ被保險者ノ方ニ火災起ルモ隔離セル所ノ被保險物ニハ何等ノ危険ナカルヘシ即チ火災ヨリ生スル危険ハ毫モ生スルコトナカルヘケレハナリ又同一ノ理由ニ依リ同條末段ニ所謂被保險者ニ加ヘタル損害云々ハ被保險物上ニ生スル損害云々ト見ルヘキナリ

凡ソ被保險物ノ性質固有ノ瑕疵ヨリ生スル損害ハ被保險者ノ負擔スヘキ限ニアラサルハ一般ノ原則ニシテ第六百三十五條ニモ明示スル所ナリ乍併自ラ燃失スル性質ヲ備フル物或ハ自ラ爆發スル性質ヲ有スル物ニ付テハ被保險者ニ於テ相當ナル豫防方法ヲ施シタルトキハ之ヨリ生スル危険ハ又被保險者ノ負擔スヘキモノトス何トナレバ此場合ニ在テハ自ラ燃ヘ又ハ爆發シタルモノト云フヲ得サレハ

ナリ乍併豫防ニシテ相當ナラサルトキハ被保險者ヲシテ損害賠償ノ責ヲ免カレシムルニ至ルモノトス(第六百六十四條)

不動産ノ保險ニ在テハ法律命令其他ノ成規又ハ契約ニ依リテ被保險者ニ毀滅シ若クハ破損シタル物ノ再築若クハ修繕ヲ爲ス義務アルトキハ被保險者ハ被保險者若クハ其權利承繼人ノ此義務ヲ履行スヘキ期間ヲ定メコトヲ裁判所ニ申立テ又其再築若クハ修繕ノ實施ヲ監視シ及ヒ其工事ノ捗ル割合ニ應シテ被保險額ヲ支拂フコトヲ得トハ第六百六十一條第一項ノ規定スル所ナリ抑々保險ハ補償ノ目的ヲ達スル爲メニ設ケラレタルモノタルハ既ニ屢々論述シタル所ナリ故ニ被保險者カ是等再築又ハ修繕ノ義務ヲ負フトキト雖モ被保險者ハ被保險者ヲシテ危険ノ起ラサリシ以前ノ現狀ニ回復セシムレハ足ルヲ以テ其工事ノ捗ル割合ニ應シテ被保險額ヲ支拂ヘハ可ナルモノトス從テ被保險者ハ其工事ヲ監督スルノ權利ヲ有ス而シテ此規定ハ單ニ不動産ノ保險ニ關スルモノニシテ動産ニハ之ヲ適用セサルナリ蓋シ動産ニ在テハ法律命令等ノ結果ニ依リ之ヲ再築又ハ修繕ヲ爲ス義務ハ殆ント無カルヘキヲ以テナリ其本條ヲ以テ不動産ノミニ適用シタル所以

ノモノハ蓋シ之レカ爲メナリ  
又保險者ハ契約ニ依リ被保險額ノ割合ニ應シ自費ヲ以テ再築若クハ修繕ヲ爲シ  
又ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得トハ全條第二項ノ規定スル所ナリト  
雖モ此規定ノ必要ハ之ヲ見出スコトヲ得サルナリ法律上又ハ道德上ニ背反セサ  
ル限リ契約ノ有効ナルハ勿論ニシテ特更ニ本項ノ在ルヲ須タサルナリ

### 第三章 土地ノ產物ノ保險

#### 土地ノ產物ノ保險

土地ノ產物ノ保險ノ目的物ハ五穀菓實煙草ノ如キ土地ノ菓物ト天蠶養蠶等ノ如  
キ他ノ天產物ニ限ルモノトス  
此場合ニ於テ保險ニ付シ得ヘキ危險ハ非常ノ天災ニシテ人力ト注意ニテハ到底  
拒シコト能ハサルモノタルヲ要ス故チ以テ本章ニ論スル所ノ土地ノ產物ノ保險  
ニ在テハ其目的物並ニ危險ハ頗ル狹隘ナリトス  
以上ノ如クナルヲ以テ土地ノ產物ノ保險ハ土地ノ果實其他ノ天產物ノ不生熟又  
ハ發育セサルコト等ニ付キ一般ノ危險ヲ保險ニ付スルコトヲ許サス必スヤ其危  
險ハ非常ナルモノナラサルヘカラス例セハ強雨洪水旱魃暴風雨等ノ如ク斯ル危

險ヲ保險ニ付スルハ農民ノ爲メ極メテ必要ニシテ之カ爲メ農民ヲシテ怠慢ニ陷  
ラシムル弊患アラサルナリ之レニ反シ(第一)氣候ノ通常ノ變化ヨリ生スル損害(第  
二)土地ノ性質ヨリ生スル損害(第三)農民ノ怠慢不熟練又ハ耕耘ノ宜カラサルヨリ  
生スル損害等ニ至リテハ之ヲ保險ニ付スルコトハ法律ノ許サ、ル所ナリ何トナ  
レハ斯ル損害ハ或ハ人力ト注意トニ依リ豫メ之ヲ防禦スルヲ得ルコトアリ或ハ  
其危險ハ通常ニシテ到底免カレサルモノニ屬シ或ハ被保險物固有ノ性質ヨリ生  
スル損害ナレハナリ(第六百六十七條)  
又此保險ハ他ノ保險ト異ナリ一般ノ名目アラサルヲ以テ保險ニ付シタル危險ハ  
之ヲ逐一其證券ニ明記セサルヘカラス  
天產物ノ保險ハ何時ニ至リテ之ヲ締結スルコトヲ得ルヤト云フニ其目的物ヲ害  
スルモノハ非常ノ天災ヨリ外ニ之レアラサリシ場合ニ至リ始メテ締結スルヲ得  
ヘシ例セハ土地ノ果實ニ在テハ既ニ種蒔又ハ植附シタルヨリ收穫迄ノ期ニ於テ  
スルモノトス何トナレハ種蒔又ハ植附ノ前ニ在テハ保險ハ單ニ非常ノ天災ノミ  
ト云フヲ得サレハナリ

保險期間ハ一ケ年以内ナリトス故ニ期間一ケ年以上ニ渡ル保險契約ヲ取結フト  
 雖モ其効力ハ單ニ一ケ年ニ止マルモノトス乍併一ケ年以内ナレハ契約ヲ以テ之  
 ナ短縮スルハ隨意ナリトス(第六百六十八條)何故ニ法律ハ之ヲ一ケ年以内ト規定  
 シタルヤハ蓋シ理由ノ存スルモノニシテ本邦ノ收穫物ハ率ネ一ケ年ニシテ結了  
 スルモノナリ然ルニ若シ三ケ年間ノ保險契約ヲ結フト雖モ其ノ種蒔又ハ植附ヨ  
 リ收穫ニ至ル迄ハ一ケ年ヲ過キサルヲ以テ其契約ハ實際收穫ノ時ニ於テ結了シ  
 タルモノナレハナリ何トナレハ保險ハ未來ニ植附又ハ種蒔スルモノニ對シテハ  
 之ヲ取結フトコトヲ許サ、ルヲ以テ到底一ノ種蒔又ハ植附ヨリ收穫ニ至ル迄ニ止  
 マルモノニシテ他ニ來ル所ノ種蒔又ハ植附ヨリ收穫迄ニハ其効チ及ホスヘカ  
 サルヲ以テナリ乍併以上ノ規定ハ或ル場合ニ在テハ甚ダシキ不都合ヲ生スルコ  
 トアルヘシ何トナレハ或ル果實ハ一年間ニ收穫スルコト能ハサルヲ以テナリ即  
 チ彼ノ支那地方ニ輸出スル所ノ藥種ノ人參ノ如キハ種蒔ヨリ收穫ニ至ル迄ノ年  
 間ハ三年或ハ四年ヲ要スルモノナレハナリ故ニ本法ニ於テ保險期間ヲ一ケ年ト  
 規定シタルハ立法上其宜シキヲ得タルモノニアラサルナリ

第六百六十九條ニ曰ク損害ノ生シタル場合ニ在テハ保險シタル產物カ其損害ナ  
 シ成熟シタル現狀ニ於テ有シタルヘキ價額ト其災害ノ後ニ有スル價額トノ間ノ  
 差額ヲ被保險額ノ割合ニ應シテ被保險者ニ償フ但被保險額カ成熟シタル現狀ニ  
 於テ有シタル可キ價額ヲ超過セサルトキニ限ルト是レ損害ノ生シタル場合ニ當  
 リ其計算法ヲ示シタルモノニシテ之カ理由ハ總則ニ於テ講シタル所ト同一ナレ  
 ハ爰ニ之ヲ贅セス

又第六百七十條ニ於テ保險者ハ損害ノ額カ其損害ノ生スルニ非レハ產物ノ有シ  
 タルヘキ價額ノ少クトモ四分ノ一ニ滿タサルトキハ其責ニ任セスト規定セリ此  
 規定ハ如何ナル理由ニ依リ生シタルヤト云フニ元來天產物ハ非常ノ危險ニ付テ  
 ノミ保險ニ付スヘキモノニシテ通常ノ凶作等ノ爲メニ取結フヘキモノニアラサ  
 ルハ既ニ講述シタル如クナルヲ以テ實際上損害ノ四分一以下ノ如キ場合ニ在テ  
 ハ果シテ非常ノ天災ヨリ生シタル損害ナルヤ否ヲ識別スルハ蓋シ難事ト云ハサ  
 ルヘカラス故ニ其困難ヲ避ケン爲メ立法上之レカ限界ヲ定メ價額四分ノ一以上  
 ナ損害スルトキヲ以テ非常ノ天災ト認定シ豫メ其爭論ヲ防遏シタルナリ

第五章 運送保險

運送保險トハ陸上及ヒ國內水上ノ運送中ニ於テ生スル危険ニ對シ運送物ヲ保險スル契約ヲ云フ故ニ本章ニ論述スル所ノ規定ハ單ニ陸上及ヒ國內水上ノ運送ニ限り之ヲ適用スルモノニシテ彼ノ海上運送ニ關スル規定ノ如キハ決シテ之ヲ本章ニ適用スルモノニアラサルナリ

何人カ運送保險ノ被保險者トナルコトヲ得ルヤト云フニ運送物ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者即チ所有主ハ勿論運送物ノ到達地ニ安着スルコトニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ハ縱令其物品ノ所有主ニアラスト雖モ等シク被保險者ト爲ルコトヲ得ヘシ故ニ運送品ノ差出人カ其ノ物品引渡ニ付キ自ラ責任ヲ負フトキ又ハ荷物受取人カ其荷物ヲ受取リタル後賣却シテ手数料ヲ得ヘキモノナルトキ又ハ前拂金ヲ爲シ運送品ニ付キ差押權ヲ有スル者ノ如キハ皆其運送品ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルモノトス乍併單ニ荷物ヲ受取ルノミノ權利又ハ義務ヲ有スル者ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス又運送人ハ商法第四百九十三條ニ依リ運送品ヲ引受ケタルトキハ其運送品ノ消失毀損及ヒ引渡ノ遲滯ニ付キ責任アルモノナレハ之

カ被保險者トナルコトヲ得ヘシ要スルニ運送品ノ到達地ニ安着スルコトニ付キ利益ヲ有スル者ハ何人ト雖モ保險契約ヲ締結スルコトヲ得ヘシ以上ハ第六百七十一條ノ明定スル所ナレトモ此事タル保險法ノ通則ト毫モ異ナルナキヲ以テ敢テ本條ヲ設クルノ必要アラサルナリ

運送保險ノ危険ハ運送中ニ於テ運送品上ニ及ホス所ノ總テノ危険ヲ包含スルモノトス故ニ非常ノ天變ハ勿論運送人其他ノ者ノ民事上ノ犯罪又ハ強盜盜敵ノ威力ノ危険等ハ皆悉ク包含スルモノトス彼ノ海上保險ニ在テハ戰爭其他國ノ處分ニ出ツル危険ハ特約ナクハ通常ノ危険中ニハ含蓄セサルヲ以テ原則ト爲スト雖モ運送保險ニ在テハ之レト正反對ニシテ是等ノ危険ハ總テ通常危険中ニ包含スルモノト爲スヲ以テ保險者ニ於テ之ヨリ生スル損害ノ責ヲ免カレント欲セハ豫メ特約ヲ以テ之ヲ取除キ置カサルヘカラス

運送ノ期間ハ特約ナクハ運送人ニ運送物ノ交付ヲ始ムルトキヨリ受取人ニ其引渡ヲ終ルトキマテトス是レ第六百七十二條第二項ノ規定スル所ニシテ海上保險ノ危険ノ始終ニ關スル講義ハ又此場合ニモ準用スルヲ得ヘキヲ以テ茲ニ詳論

セサルヘシ

第六百七十四條ニ於テ舉證ニ關スル規定アリト雖モ之レ第六百七十二條ヨリ自然ニ生スル結果ニシテ要スルニ不用ノ條文ナルヲ以テ爰ニ講述セス第六百七十三條保險ノ移轉ニ關スル規定モ亦一ノ冗文ニ過キサリナリ是等ハ諸君ニ於テ條文ヲ一讀セハ自ラ了解セラルヘキヲ以テ茲ニ詳論スルノ要ナキモノト信ス又第六百七十五條ノ規定ハ曩キニ講述シタル所ノ海上保險ノ講義ヲ準用スルヲ得ヘケレハ之ヲ畧ス

終リニ保險證券ニ付キ一言セントス運送保險ノ證券ニハ通則第六百四十六條ニ列記セラレタル條件ノ外猶左ノ條件ヲ記載スルヲ要ス

- 第一、運送ノ方法
- 第二、運送物ノ種類
- 第三、運送取扱人及ヒ運送人ノ氏名
- 第四、運送ノ線路及ヒ發送地到達地及ヒ立寄地
- 第五、特約アリタルトキハ運送ノ期間

以上列記シタル所ノ諸件ハ危險ニ重大ナル關係ヲ及ホスモノナルヲ以テ之ヲ保險證券ニ記載スヘキモノトセリ

### 生命保險

ニ性質並ニ取結

## 第五章 生命保險

### 第一節 生命保險ノ性質並ニ取結

生命保險ハ人ノ生命ノ亡失又ハ病傷ニ付キ取結フ契約ニシテ保險者ハ或ハ一時ニ其損害ヲ賠償シ或ハ年金ヲ以テ之ヲ支拂フコトアリ故ニ生命保險ナルモノハ之ヲ廣義ニ解スルトキハ病傷保險年金保險モ亦其内ニ包含セラル、モノトス然リト雖モ我商法ノ規定ニ從ヒ個々ノ名稱ニ區分スルトキハ生命保險トハ單ニ人ノ死亡ヲ保險スルモノヲ云ヒ病傷保險トハ疾病又ハ病傷ニ對シテ保險スルモノヲ云ヒ年金保險トハ保險者カ一定ノ金額ヲ受取リ被保險者ニ對シ又ハ其死亡ノ後ハ保險ニ與リタル人ニ終身間又ハ或ル期間ノ滿了ニ至ル迄年金ヲ支拂フ義務ヲ負フモノヲ云フ

年金保險ハ通常ノ保險トハ相反スルモノニシテ年金保險ハ被保險者ニ於テ一時ニ多額ノ金圓ヲ支拂ヒ其内幾部分宛チ年々受取ル所ノ契約ナリ例セハ一時ニ金

三千圓ヲ保險者ニ支拂ヒ毎年八十圓宛ヲ保險者ヨリ受取ルトキノ如キ是ナリ乍併單ニ利息ヲ受取ルトハ大ニ異ナルモノニシテ單純ノ利息トハ同一視スルヲ得ス若シ夫レ年金保險ニ依テ得ル所ノ年金カ單ニ利息ニ相當スルモノトセンカ誰レカ之ヲ締結スルノ愚ヲ爲サシヤ其之ヲ爲ス所以ノモノハ普通利息ヲ收得スルヨリハ過多ノ年金ヲ受クルヲ得ルニ在リ然リ而シテ年金保險ハ如何ナル點ニ於テ保險タルノ性質ヲ有スルヤト云フニ人ノ死亡又ハ或ル期間ノ滿了ニ依リ一方ニ於テ不相當ナル利得ヲ受ケ一方ハ不相當ニ損失ヲ招クノ點ニ在テ存スルモノトス

抑々生命保險ノ基因スル所ハ人類ノ生命又ハ健康ハ價值アルモノトスルニ在リ即チ是等生命健康ハ金錢上ノ價值アルモノニシテ若シ人ニシテ死亡又ハ病傷ノ不幸ニ陥ルコトアラシカ爲メニ勞力又ハ技藝信用等ニ依リ金錢ヲ取得スルコト能ハサルニ至ラム故ニ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許容セリ

生命保險ハ殊ニ他人ノ庇蔭ニ依リ生活スル者ニ對シテハ最も必要ナリトス例セハ妻子タル者ノ如キ一朝其夫又ハ父ニシテ死亡又ハ病傷ニ陥ルコトアラシカ妻

子ハ爲メニ路頭ニ彷徨スルノ慘況ヲ呈スルニ至ラム故ニ人類ノ智力ノ發達スルニ從ヒ此不幸ヲ救済スルノ方法ヲ考察シ遂ニ生命保險ナル方法ヲ發見セリ然ルニ今生命保險ノ歴史ヲ案スルニ最初英國ニ起リ尋テ米國ニ行ハレ其歐洲大陸ニ行ハレシハ實ニ近世ニ在リトス何故ニ此利益アル生命保險業ノ歐洲大陸ニ久シク行ハレサリシヤハ甚々怪訝ニ堪エサル如シト雖モ蓋シ是レカ原因ナキニアラサルナリ其原因トハ何ソ曰ク架空ノ道德論是ナリ即チ自由民ノ生命ハ金錢ニ見積ルヲ得ス自由民ノ生命ハ價值ノ上ニ位ストノ格言ニ基因スルモノニシテ此格言ハ早ク已ニ羅馬ニ於テ行ハレタリ之ヲ以テ歐洲大陸ニ於テハ生命ヲ以テ價值アルモノトナシ之ヲ保險ニ付スルコトヲ卑ムコト甚々シク現ニ佛國ルイ第十四世ハ法律ヲ發布シテ生命保險ヲ嚴禁セリ乍併此ノ如キ架空論ハ最早今日ノ實際ニハ存在スルコトヲ得ス今日ニ於テハ各國共ニ生命保險ノ必要ヲ感シ專ラ行ハルコト、ナレリ尤モ佛國ノ如キハ之ヲ採用スルニ至リタルハ實ニ輓近ノコトナリ

凡ソ人ハ自己ノ生命又ハ健康ニ付テハ明ニ金錢上ノ利益ヲ有スルモノナルヲ以

テ自己ノ生命又ハ健康ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルハ勿論他人ノ生命又ハ健康ニ付テモ之ニ金錢上ノ利益ヲ有スルトキハ又保險ニ付スルコトヲ得ヘシ例セハ子ハ親ノ生命又ハ健康ニ付キ妻ハ夫ノ生命又ハ健康ニ付キ保險契約ヲ取結フコトヲ得ルカ如シ

配偶者兄弟姉妹尊屬親及ヒ卑屬親ノ生命若クハ健康ニ付テハ法律上金錢上ノ利益ヲ有スルモノト爲スヲ以テ是等ノ者ノ生命又ハ健康ヲ保險ニ付スルニ就テハ別ニ證明ヲ要セサルモノトス何トナレハ斯ル關係ヲ有スル者ノ間ニハ相互ニ養育ノ義務ヲ負フノミナラス其結合タル極メテ密ニシテ甲ノ生活上ノ利益ハ乙ノ利益ト見做スコトヲ得ヘケレハナリ(第六百七十八條第二項)

他人ノ生命又ハ健康ヲ保險ニ付スル場合ニ於テモ其人ノ承諾又ハ了知ハ之ヲ必要トセサルナリ只其契約取結ノ當時ニ於テ其人ニ付キ金錢上ノ利益ヲ有スルヲ以テ足レリトス故ニ其損失ノ生スル當時利害ノ關係アルコトヲ要セサルモノナリ是レ他ノ保險ト異ル所ニシテ他ノ保險ニ在テハ契約取結ノ當時被保險物ニ對シ利益ノ關係アルヲ要スルハ勿論尙其損害ノ發生スル當時ニ於テモ利害ノ關係

ノ存スルヲ必要トス之ニ反シテ生命保險ニ在テハ損害發生ノ當時ニ其人ノ生命又ハ健康ニ付キ利益ノ關係アルコトヲ要セサルコト前述ノ如シ歐米ノ法律ニ於テハ従前ハ生命保險ニ於テモ他ノ保險ト同シク損害發生ノ當時ニ於テ利害ノ關係存スルヲ必要ト爲シタリト雖モ今日ニ在テハ皆之ヲ改メ我新法典ト同一ノ規定ヲ爲セリ是レ其生命保險ハ他ノ保險ト異リ單ニ補償ノ主義ニノミ原因セサルニ基因セル結果ニシテ生命保險ナルモノハ一方ニ於テハ積立金ノ性質ヲ有スルモノナルヲ以テ損失ノ當時利益ノ關係アルヲ問ハサルコト、ナレリ乍併補償ノ性質モ又全ク帶ヒサルモノニ非サルヲ以テ契約締結ノ當時ニハ必ス生命又ハ健康ニ付キ利害ノ關係ヲ有スルヲ必要トセリ故ニ契約締結ノ當時ニ於テ全ク利益ヲ有セサル人ノ生命又ハ健康ヲ保險ニ付シタルトキハ其契約ハ無効トス然レトモ自ラ毫モ利益ヲ有セサルモ被保險者ノ爲メ若クハ被保險者ノ生命又ハ健康ニ付テ利益ヲ有スル第三者ノ爲メニ保險契約ヲ取結フコトヲ得ル場合アリ即契約上ノ義務ノ存スル場合はナリ此場合ハ要スルニ他ノ代理人トシテ保險契約ヲ取結フニ過キサレハ其利益ハ總テ其本人ニ歸スヘキモノナリ故ニ此場合ハ



真箇ノ例外ノ場合ト視ル可ラス(第六百八十一條)

凡ソ保險額支拂期限ハ被保險者ノ死亡又ハ疾病ノ時若クハ其他ノ保險シタル事變ノ生シタル時ヲ以テ之ヲ定ムルヲ通常トスレトモ尙他ノ方法ヲ以テモ支拂期限ヲ定ムルコトヲ得可シ實際屢々行ハル、所ノモノハ若干年齒ニ達シタルトキ若クハ若干期限ノ經過シタルトキ(例へハ勤務年限保險額ヲ支拂フ可シトスルモノ是ナリ)故ニ如此保險ノ結果ハ官ノ恩給ニ類スヘシ  
又保險額ニ付テハ一時ノ資本ヲ以テシ或ハ年金ヲ以テスルコトヲ約スルヲ得ヘシ而シテ其年金ニハ通例或ハ終身或ハ若干年限或ハ本人及其寡婦ノ終身等ノ區別アリ是レ寡婦儲金所、孤兒儲金所、恩給儲金所等ニ於テ往々視ル所ニシテ之ヲ年金保險ト謂フナリ(第六百八十五條)  
年金受取ノ權利ハ被保險者ニ屬スト同一ノ範圍及條件ニテ第六百四十一條ノ規定ニ從ヒ被保險者ヨリ之ヲ他人ニ轉付スルコトヲ得トハ第六百八十七條ノ規定スル所ナルモ總則ニ於テ已ニ之レカ規定アルヲ以テ本條ハ其ノ必要ヲ見サルカ如シ

尙數節ヲ設ケ生命保險ノ事ヲ詳述スルノ豫定ナリシモ本學年講義ノ日モ本日ヲ以テ終リヲ告ケ之ヲ詳述スルノ餘日ナキノミナラス之ニ關スル商法ノ規定ハ已ニ詳密ニシテ且明瞭ナレハ別ニ講論スルノ必要ヲ見サルカ如シ因テ余ハ敢テ之ヲ學生諸君各自ノ研究ニ委ネ茲ニ本學年ノ講壇ヲ辭退セント欲ス

商法(第一編第十一章) 保險(完結)

商法(保險)

14
544

54  
10



東京法律學院  
北五條講義錄  
二年級

保險法

馬場愿治

14

544

M

035442-000-2

14-544二

保險法

馬場 愿治/述

M25?

BBO-0642

